

# 地方史情報 122

2014年12月

民俗学のこれまでとこれから

福田 アジオ

民俗学の存在感が急速になくなってきていると感じるのは私だけであろうか。「落日の中の日本民俗学」ではないが、一九九〇年代以降の四半世紀は民俗学衰退の過程のように見受けられる。民俗学に関連する書籍の発刊も少なくなり、また日本の社会や文化を議論するシンポジウムや講演会でも、民俗学関係者が報告したり討論する姿は、ほとんど見かけなくなってきた。一九八〇年代までの様相に比較すると寂しい限りである。

民俗学も一九世紀に生まれた歴史的な存在であり、永遠不滅のものではない。しかし、現時点では民俗学が果たすべき役割は決して少なくない。三・一一の大震災と東京電力福島第一原子力発電所のメルトダウンは、日本社会のさまざまな矛盾や問題を露呈させた。民俗学が社会に積極的に働きかける機会となったが、その動きは弱い。改めて民俗学の存在意義を確認し、その独自性を基礎に積極的に社会に関わることが目指されねばならない。そのためにも、前提となる二〇世紀の民俗学を反省的に整理し、検討し、今後の民俗学を展望することが必要である。

今までも文章で、野の学問としての民俗学の復活、あるいは野の学問としてのアカデミック民俗学の形成を主張してきたが、十分に説得的な内容にはなっていなかった。その点では、口頭での発表のほうが率直に、あるいは単純に今までの民俗学を反省し、これからの民俗学の方向を述べるが多かった。講演会、シンポジウム、研究会など様々な機会に口頭で報告することを依頼され、その際には身の程もわきまえず、民俗学のあり方についての見解を表明してきた。しかし、それらの多くは当日配布のレジメだけを残し、話の内容そのものはその場で消えてしまい、さらに聴いて下さった人びとの記憶からも消えてしまった。口頭報告の運命である。そのなかで、報告を活字化して印刷するという好運を与えて下さる機会があった。その多くが、主催団体の機関誌に記録として残すためであった。

本書は、今世紀に入ってから活字化する機会を得た口頭報告のうち、民俗学の意義や今後のあり方を展望したものを選んで、『民俗学のこれまでとこれから』としたものである。(後略)

(福田アジオ『民俗学のこれまでとこれから』、2014.11、「あとがき」より)

# 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

## 北海道・東北

- ◆アイヌ語地名研究 アイヌ語地名研究会  
〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目  
1-1 TEL011-299-6834 年5000円
- ◇51 2014.6 B5 10p  
日本地名研究所の役員会・研究大会に参加して (藤村)  
過年度の「新聞の切抜き」を見つけて 地図業界に「合併特需」(北海道新聞2006年3月27日付)  
寄贈図書類の内容紹介 『私たち』6号／『谷川健一先生追悼神は細部に宿り給う』／『秋月第一町内会 創立45周年記念誌』
- ◆屯田 北海道屯田倶楽部  
〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11  
TEL011-761-8014 年2000円 1985年創刊  
www.2ocn.ne.jp/~history/
- ◇55 2014.4 B5 80p 1000円  
巻頭言 子孫たちの足跡 後藤 良二  
子思孫尊 音楽を通して心の響きを伝える 美唄出身のバイオリニストは屯田兵四世 杉田知子さん 中神 哲二  
創設時の兵器から見た屯田兵の軍事的役割 江口 憲人  
屯田兵のデザイン考 「たこ足」直播機(秩父別町郷土館所蔵)  
七寸五分にチャレンジャーの魂 北海道移民史を探る旅(1) 幕末以前一蝦夷地を目指した人々 北国 諒星

- 一節抜粋 歴史春秋社『会津人群像』北へ向かった会津人の足跡をたどる、仙北富志和著『原始林は「拓かれて」残された。』挑戦と挫折の歴史の根底を探る  
東西南北 北鎮記念館で「歴史展」開幕／高校生が屯田兵など研究発表／兵村ゆかりの地を探訪／開町120年盛大に祝う／屯田太鼓保存会が記念公演／泥炭地に挑んだ屯田兵の歴史  
兵村今昔 我野幌の「よほる村」って？／3人の桐野氏の関係は？  
古地図の散歩道 「石狩原野植民地撰定図」(北大図書館北方資料室所蔵) 明治21(1888)年・北海道廳  
天賦の富が眠る荒漠の原野 梶田 博昭  
図説 北海道屯田兵制度(5) 移住者戸数の推移／1個大隊における扶助1年分の概算経費  
表紙から 『府縣長官銘々傳』明治14年刊、編者・伊藤橋塘、図画・立際廣重  
開拓の歴史を映す屯田兵像 武石 詔吾  
屯田兵ルーツ情報 納内・宮内氏 公有財産問題の処理に奔走  
講演録 北海道開拓の礎(上)一囚人兵、囚人労働、タコ部屋 河野 民雄  
「屯田双書」第1弾を刊行 『屯田兵公有財産をめぐって』河野民雄著  
「屯田フロンティア双書」

後藤 良二

- ◆北海道れきけん 北海道歴史研究会  
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12  
田中貢方 TEL011-667-2137  
homepage3.nifty.com/tm3053/
- ◇80 2014.4 A4 8p  
平成25年度の行事実績報告 (田中)  
撤回されなかった小作料改訂 橋本とおる  
「私の本棚」より 『日本の自殺』グループ一九八四年著 田中 貢
- ◆文化情報 北海道文化財保護協会  
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目  
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111  
hokkaido-bunkazai.jp
- ◇343 2014.5 B4 4p  
サッポロビールと文化財活動—サッポロビール博物館の施設と資料 小野寺哲也  
平成26年度通常総会終了後の文化財めぐりについて  
三団体による「北海道文化遺産活用活性化計画—文化遺産を活かした地域活性化事業」を実施  
北海道郷土史家 永田富智さんを偲ぶ 舟山 廣治  
文化財等の指定について  
世界文化遺産への登録をめざして(19) 北海道教育庁文化・博物館課  
東日本大震災から3年 細川 健裕  
岩内の今日を築いた会津藩の人々 坂井 弘治
- 読者の声  
「イザベラ・バードの北海道展示会」 山田 大隆  
三木露風の世界を合唱劇に 前田 治  
北海道文化財保護協会の情報交

流広場への展示企画について  
書籍の紹介 「北海道を考える」  
を読んで (N・U)

- ◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会  
〒033-0022青森県三沢市宇園沢219-211  
小比類巻満方 TEL0176-54-2583  
2005年創刊
- ◇10 2014.3 B5 220p 1000円  
《創立十周年記念特集号 市民の証言》  
口絵 メ切舞とその名人／岡三沢  
神楽のルーツを訪ねて(目名編)  
／野々宮本家と神楽御縁日 山本 優  
巻頭言 新堂 一郎  
市民の証言  
戦前戦後の頃のこと 吉田 良  
父、川上林作のこと 原 理子  
三沢市文化協会設立の発端 小西 一夫  
郵便局昇格運動のことなど 山田 敏夫  
十勝沖地震のとき 浅野 哲朗  
終戦戦後のこと 川守田エン  
サハリンから満州、そして三沢  
補へ 奥山 明子  
防空壕 小比類巻満  
明日を見据えて 山崎 文男  
発行人として20年 中新 三良  
私が三沢に嫁いできた頃 富田トミノ  
『思い出ポツポツ』抄 桑嶋 きん  
戦後の三沢(短歌) 石橋 澄子  
天ヶ森・砂森の集団移転 赤沼 晃  
「首宿・竜胆・稲」 皆川 勝信  
三沢の文化財(2) 国道338号線沿  
いと小川原湖周辺の文化財  
小比類巻みつる  
まほろしの本土決戦 米田 清蔵  
思い出の記(5) 「米内山木・若き日の体験記」(1) 満蒙開拓青少年義勇軍応募から関東軍召集

兵となった足跡 馬場 操  
 三沢の方言 動作にかかわる方言  
 「た行」 馬場操／地名方言研究会  
 三沢のむかし話 小比類巻みつる  
 アルフレッド・ルセーの手紙 谷  
 地頭から知人宛に差し出した英  
 国人通訳の便り 藤田 光彦  
 古文書「北奥路程記」を読む  
 及川光男／古文書を読む会  
 薬師町のこと 中里 豊子  
 高遊外について 皆川 勝信  
 木崎野誌要略 新堂 一郎  
 「三沢のむかしを語る会」(その3)  
 開催要項  
 開会行事ご挨拶  
 記録「三沢のむかしを語る会」  
 むかしの子供の遊び・家の手  
 伝い  
 開会行事ご挨拶  
 感想文「三沢のむかしを語る会」  
 に参加して  
 川守田エン／坂本和子／藤田  
 光彦／一戸実／李沢健一／沼  
 田石／米田清蔵／及川光男  
 会報(第91号～第100号)



\*平成16年に20名の出席で産声をあげた三沢郷土史研究会が10周年を迎え、併せて会誌も

毎年発行し10号となった。同じ青森県内で先頃50年の歴史を刻んだ「下北の歴史と文化を語る会」と同会誌『うそり』が幕を下ろしたばかりであることもあり感慨深い。10年は必ずしも長い年月ではないが、この間に、例会とは別に、グループ研究会として「古文書を読む会」と「方言・地名研究会」を立ち上げ、研究成果は会誌の他に、不定期で『随想・ななかまど』、単行本『むかしのくらし・上北農漁村文化風俗イラスト集』、『三沢市文芸史要覧』、『小中学校を中心とした三沢の学校教育史年表』として刊行。さらに、郷土史講演会や「昔の三沢を語る会」、八戸地域歴史団体連絡協議会交流会の開催など、その活動は目覚ましいものがある。10周年記念の会誌特集号の「市民の証言」では多くが太平洋戦争前後の思い出を綴っている。それ以外の会員寄稿にも、終戦間際のまぼろしの本土決戦や満蒙開拓青少年義勇軍にまつわる回想記が収録され、市民レベルで体験と記憶を継承していくことの大切さを感じさせてくれる。巻頭言で会長の新堂一郎氏が、「あまり気張らずに気楽に平凡に愚直なまでに郷土のあれこれに関心を持つ、関心を持ったなら調べてみよう、庶民の歩みに光をあてるようにしよう、他がやっていないようなことをも工夫してやっぺいこう、必要に応じて世間に発表しよう」というように夢を広げたと記している。まさに郷土史研究の原点であると得心させられた。

◆史の杜 東北大学東北アジア研究センター  
 上廣歴史資料科学研究部門ニューズレター  
 〒980-8576仙台市青葉区川内41 TEL022-79  
 5-3196 2013年創刊 uehiro-tohoku.net  
 ◇2 2014.4 A4 8p  
 東北アジア研究センターと上廣歴  
 史資料科学研究部門 岡 洋樹

歴史資料保全活動  
 歴史資料調査と活動の発信—白  
 石市・利府町・大崎市 荒武賢一朗  
 宮城資料ネットとの連携活動  
 —地域での資料保全 高橋 陽一  
 宮城資料ネットとの連携活動  
 —古文書の修復 友田 昌宏  
 講演会  
 公開講演会 よみがえる村田の  
 歴史—江戸時代からのメッセ  
 ージ 高橋 陽一  
 講座：地域の歴史を学ぶ◎鬼首  
 荒武賢一朗  
 講座：地域の歴史を学ぶ◎岩出  
 山II 友田 昌宏  
 上廣歴史文化フォーラム 旅  
 人はなぜ行くのか—東北を見  
 つめた人々 高橋 陽一  
 古文書講座  
 ドイツ・ハデルベルグ大学「古  
 文書ワークショップ」 荒武賢一朗  
 ワークショップを開催して  
 ユーディット・アロカイ  
 「あらぶる古文書会」・「白石古  
 文書サークル」の活動 荒武賢一朗  
 競馬より面白い 小野 祥二  
 東北大学片平まつり展示「古文  
 書を読んで歴史を知る」 高橋 陽一  
 さらになる向上を目指して—上廣  
 歴史資料科学研究部門古文書  
 講座・学生向け古文書講座の  
 開催 高橋 陽一  
 「古文書を読む会」感想 山下 真里  
 ◆秋田歴研協会誌  
 秋田県歴史研究者・研究団体協議会  
 〒010-0951秋田市山王7-5-10 秋田文化出  
 版内 TEL018-864-3322 1996年創刊

akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html  
 ◇55 2014.5 B5 24p  
 特集 秋田歴研協第20回大会 記  
 念講演 松田解子と近現代史 高橋 秀晴  
 用語解説  
 「十二大将」と「下騎馬」 半田 和彦  
 歴史情報  
 七つ森(金照寺山七つ森)に星場  
 はなかった 松淵眞洲雄  
 菅江真澄が見た五城目の盆踊  
 (打小身)について(追考) 麻生 正秋  
 新刊紹介  
 佐藤晃之輔著『秋田・羽州街道  
 の一里塚』 秋田文化出版編集部  
 笹尾哲雄著『近世・秋田人物列  
 伝—秋田を彩った四十九人—』 秋田文化出版編集部  
 文獻情報／催しもの情報  
 ◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会  
 〒011-0909秋田市寺内児桜1-5-55  
 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333  
 1981年創刊  
 w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html  
 ◇82 2014.5 B5 71p  
 巻頭言 国民文化祭応援『菅江真  
 澄研究』第82号の発刊にあたっ  
 て 田口 昌樹  
 国民文化祭の概要  
 落人の村—菅江真澄の記録に見る  
 九戸の乱の落人たち 田口 昌樹  
 芭蕉と真澄 石田 冲秋  
 日記にみる菅江真澄の執筆態度 金児 絳征  
 青森県下北郡佐井の渋田家に伝わ  
 る菅江真澄文書を読んで 清水川 修  
 菅江真澄と飯縄信仰 木本 桂春  
 『ひなの一ふし』にみる民謡の源

流と変遷(3) 菊地 利雄  
 秋田県史跡になった菅江真澄のお墓 小笹 鉄文  
 真澄の一枚(14) 源頼政の古跡『粉本稿』より(大館市立中央図書館提供) 菊地 利雄  
 真澄短信  
 図書紹介 『水の面影』現代語訳、『菅江真澄の文芸生活』、『青森県史 民俗編 資料 津軽』

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報  
 〒999-2232山形県南陽市三間通361-8 須崎寛二方 TEL0238-43-5299  
 ◇200 2014.4 B5 10p  
 南陽古文書研究会始末 須崎 寛二  
 宮内熊野大社史おぼえ書(13) 須崎 寛二  
 総会の報告  
 ◇201 2014.6 B5 10p  
 借金取立ての“嚴重なご催促”とは 須崎 寛二  
 肝煎が年貢を立て替えていた? 須崎 寛二  
 会報200号によせて 板垣 昭次  
 南陽の歴史を語る会 高橋 啓一  
 学習会に参加して  
 217回以後の学習会の記録  
 宮内熊野神社の中心氏子は桐町だったか—熊野大社史覚え書 須崎 寛二

◆まんだら 東北文化友の会会報  
 東北芸術工科大学東北文化研究センター  
 〒990-9530山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-2168 年10000円 1999年創刊  
 gs.tuad.ac.jp/tobunken/  
 ◇55 2014.5 B5 24p  
 インタビュー 田中望・浅野友理子 糧の世界を歩き、絵画する特集 東北文化の学び舎—学生に

とって歴産・東文研とは?  
 フィールドの風  
 赤い大地—アフリカ・ケニア 蛭原 一平  
 フィールドワークの現場から  
 考古資料検討会 塚野 聡史

◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会  
 〒963-8876福島県郡山市麓山1-8-3  
 郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306  
 1965年創刊  
 ◇44 2014.3 B5 96p  
 郡山市の中世城館(10) 55黒鹿毛城、56小屋館、57鹿島館、58成山館 広長 秀典  
 郡山市における明治以後の都市域の変容 高橋 康彦  
 荒井宝光寺境内の安養寺碑 高橋 明  
 守山藩の学問について—二代藩主松平頼寛と徂徠学の展開 大河 峯夫  
 福島県最初の母子ホームの創設者 アイリン・アンダーソン宣教師の生涯と業績 庄司 一幸  
 資料考察 近世郡山宿の支配機構について 橋本 今祐  
 二本松城下の史跡を訪ねる(報告) 渡部 芳雄

◆福島の民俗 福島県民俗学会  
 〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25  
 福島県立博物館内 1973年創刊  
 www.geocities.jp/fukushima-folklore/  
 ◇42 2014.3 A5 117p  
 会津歌舞伎史  
 —基礎的調査研究の概要 渡部 康人  
 二本松神社例大祭 本町踊屋台の写真発見—提灯祭り踊屋台・山車の考察 喜古 康浩  
 会津の観音講と観音巡礼—女性の

暮らしと産育祈願の民俗 内山 大介  
 桜枝岐の「石ぐら」について 佐々木長生  
 伝統文化再構築・再興のヒントを探る—富岡町・ふるさとの追憶 遠藤 祝穂  
 資料紹介 和田文夫著作目録 合原香須美  
 「べんけい」の来た道—福島県南相馬市菅浜の郷土料理をめぐって 川崎 悠  
 じゃんがら念仏踊り雑感 菅野 拓  
 「シンポジウム 棚倉藩と都々古別神社」報告 藤田 直一  
 書評・書誌紹介  
 東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復建造物研究室『馬場都々古別神社建造物調査報告書』 藤田 直一  
 福島県棚倉町伝統文化活性化実行委員会『都々古別三社「御杵廻し」調査報告書』 岩崎 真幸  
 阿部浩一・福島大学うつくしまふくしま未来支援センター編『ふくしま再生と歴史・文化遺産』 岩崎 真幸

関 東

◆史 境 歴史人類学会  
 〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1  
 筑波大学人文社会系内  
 TEL029-853-4047 1980年創刊  
 ◇67 2014.3 A5 97p 2000円  
 講演 近代思想のなかの自由民権運動 和田 守  
 大戦間期の内閣制度改革構想と政策形成モデル—松井春生の資源政策論を手がかりとして 下重 直樹  
 節句人形の保管と処分に関する民俗学的考察(上)—静岡県のテン

ジンサンを事例として 尾曲 香織  
 書評 小山聡子著『親鸞の信仰と呪術—病気治療と臨終行儀—』末木文美士

◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会  
 〒304-0056茨城県下妻市長塚乙77  
 TEL0296-43-3418 1976年創刊  
 ◇39 2014.5 A5 151p  
 茨城県議会議長就任にあたって 飯塚 秋男  
 活力あふれる学校づくりを目指して 平塚 昌利  
 ふるさと博物館入館者増への取り組み 柳橋 正晴  
 公民館まつりを開催して 坂井 寿夫  
 下妻市伝統芸能保存連合会について 大塚 武彦  
 上高地の四季(1)  
 —わが青春のふるさと 外山 崇行  
 南北朝を歩く 角田 惟也  
 母校の歴史を訪ねて(6)—古写真にみえる母校の面影(2) 中島 成行  
 感動幾たび  
 —雨情の童謡と関わって 國府田 晋  
 三経系多賀谷家に伝わる家伝について 佐久間秀樹  
 へび喰わされた 鈴木 賢一  
 おもかげ仏 寺田 陽子  
 角田鵬齋の書について 柳 操  
 加太万葉故地を訪ねて 大木 昇  
 見学会「与 勇輝展」 神田 光子  
 達成感と感性 鈴木 幸子  
 活動のあと(平成25年度) 各 団 体  
 研修視察記「国立歴史民俗博物館・宗吾霊堂」 粉川 孝  
 一年のあしあと 寺田 陽子

◆常総中世史研究 茨城大学中世史研究会  
 〒310-8512茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学人文学部 高橋修研究室  
TEL029-228-8120 2013年創刊  
◇2 2014.3 A5 105p 500円  
特集 伊達政宗の「密書」—その後  
中世東国における熊野午玉宝印  
の版本に関する一考察—伊達  
政宗の「密書」の起請文料紙  
をめぐって 泉田 邦彦  
伊達政宗起請文の光学的調査と  
記録 梅田由子／三井猛  
額田小野崎氏の系譜に関する一  
考察 高橋 裕文  
考古資料からみた中世常陸・下総  
の道 比毛 君男  
大掾浄永発給文書に関する一考察  
—観応の擾乱期の常陸 中根 正人  
調査報告 那珂市域における中世  
城郭遺跡の分布状況  
五十嵐雄大／山川千博

◆長塚節の文学 長塚節研究会  
〒300-2707茨城県常総市本石下4639  
TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊  
◇20 2014.4 A5 63p 1000円  
節と宝水—関館古城址をめぐって  
桐原 光明  
大地の文学 安田 暁男  
節・左千夫逸文 雑魚寝後日譚 橋本 俊明  
鷗外の「手作り」による森類への  
チョコレート箱の時間割表—肖  
像写真の西欧女性の考察(前) 松野 高久  
創作児童小説  
思い出をあづかる銀行 岩渕 憲弥  
節宛の子規書簡(子規全集から) 河合 宏  
長塚節の没後百年に想う 飯塚 知子  
明治四十五年十二月二十四日—長  
塚節の「漱石山房」訪問 松野 高久  
嫁ぬすみ 久保より江

節没後百年に関し  
◆史談 安蘇史談会  
〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229  
大高八三郎方 TEL0283-24-3232  
年2000円 1985年創刊  
◇30 2014.5 A4 251p  
口絵写真説明 国指定重要文化財  
「鑄銅梅竹文透釣燈籠」 (京谷)  
巻頭言  
安蘇史談会発足の頃 京谷 博次  
安蘇史談会設立30周年を祝う 岡部 正英  
郷土史研究の宝庫 田沼 清  
史料「文久二年亥二月御上洛用掛  
供奉御役人附」紹介 青山 守  
史料「青山儀兵衛旅日記」紹介(2)  
青山 守  
伊勢参宮諸色覚帳 京谷 博次  
安蘇郡の鷹場—天明三卯年安蘇郡  
舟津川村御鷹場御法度御請證文  
等から農民の負担を考える 海老原脩治  
佐野乾山の謎と不思議 清水 喜三  
田沼家墓所の変遷 関根 徳男  
鷹の巣山(大小山)と阿夫利神社 京谷 博次  
小栗上野介、国定忠治の史蹟を訪  
ねて 松中 清子  
民謡の宝庫・佐渡の相川音頭に思  
う 篠崎 澄子  
史料紹介 高瀬家文書所収の古河  
公方足利政氏文書について 鴨志田智啓  
大芦一族はどこから来たか 大芦 義男  
藤原秀郷公ゆかりの神社 大森千哥子  
戦乱を生き抜いた皆川氏 石崎 英雄  
寺野東遺跡について(3) 海老原脩治  
須永元とその時代 大川 圭吾  
『宮島清次郎氏』について 永島 正夫  
佐野常民の唐澤山神社創建への道  
程後編(1) 佐賀藩士の活躍と栃

木県の誕生 大高八三郎  
赤見町市場の鎮守  
—消えた石垣への随想 川田 春樹  
「軍馬碑」調査報告 小松原圭一  
ななめ読み田中正造“昔話” 京谷 博次  
田中正造没後百年・未来への大行  
進に参加して 黒田 哲哉  
かつ子さんと正造さん(1) 田中  
正造翁の書簡に見る正造翁と夫  
人カツさん 廣木 雅子  
正造百回忌、七十五回忌に思う 篠崎 澄子  
特集 安蘇史談会活動等の概要  
安蘇史談会の歴史  
公開講座「安蘇の風土と歴史」  
の講座名と講師一覧  
例会における会員発表の研究テ  
ーマ一覧  
分野別題名別索引一覧  
平成25年度「安蘇史談会日誌」

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報  
〒320-0865宇都宮市陸町2-2  
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313  
年4000円 1991年創刊  
◇91 2014.4 A4 4p  
《特集 博学連携を考える》  
栃木県立文書館の授業支援事業 月井 剛  
学校教育に生きる博物館活動を目  
指して 小川 聖  
学校と博物館の連携を通して 金井 忠夫  
県立博物館の学校教育支援  
—これまでの実践から 加藤 正人

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会  
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26  
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346  
1993年創刊  
◇42 2014.5 AB 36p

《長野原町地域特集》  
歴史を掘る 横壁中村遺跡出土の  
—対の耳飾り 藤巻 幸男  
歴史の重み 高田 邦昭  
第21回 石川薫記念地域文化賞  
功労賞 布川了／研究賞 宮崎  
俊弥／奨励賞 佐藤喜久一郎・  
中小坂鉄山研究会  
発掘情報  
上原Ⅲ遺跡の鍛冶工房跡 富田 孝彦  
図録 ぐんまの文化財 長野原町  
の文化財—防空監視哨聴音壕跡  
について 白石 光男  
ぐんまの歴史入門講座  
第150講 長野原町出土の荇引金  
具について 富田 孝彦  
第151講  
羽尾城と羽尾氏について 唐澤 定市  
第152講  
天明泥流災害と長野原町 藤巻 幸男  
第153講  
群馬の政治家 野口茂四郎 篠原 正洋  
第154講 長野原町の石造文化財  
石造文化財の見方(31) 秋池 武  
古文書解説入門講座(29)—古文書  
から歴史を読む 村の掟—村議  
定からみる幕末の与喜屋村 阿久津 聡  
地域づくりと文化遺産  
北軽井沢の文化散策 白石 光男  
ぐんまのくらしと民俗  
堀之内のお茶講 篠原 敏子  
ぐんまの地方豪族  
羽尾一族の悲劇 久保田順一  
ぐんまの川と生活  
吾妻川の三河岸 田村 正勝  
ぐんまの人物誌  
川原湯温泉を訪れた文人たち 豊田 拓司  
ぐんまの郷土芸能

王城山のだんご相撲 市村 勝美  
ぐんまの地名 犬塚 小林 清  
研究・学習サークル活動紹介  
長野原町大津老人クラブ 小林 清  
ぐんまの自然と風土  
応桑用水池のコハクチョウ 加邊 敬子

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会  
〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2  
宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊  
blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/

◇318 2014.4 A5 96p

《特集 近藤義雄先生追悼》

追悼の辞 宮崎 俊弥  
弔 辞 千々和 到  
弔 辞 松島 榮治  
追悼文

近藤義雄先生を偲んで 秋池 武  
近藤義雄先生を偲ぶ 石原 征明  
近藤義雄先生と群馬県下の民俗  
調査 井田 安雄

温和な、そして強い実行力の近  
藤さん 一倉 喜好  
追想 近藤義雄先生

慈願のみなもと 今井 英雄  
近藤先生を想う 今井 幹夫  
群馬県史編さん事業の開始のこ  
ろ 丑木 幸男

近藤先生と私の「女堀研究」 梅澤 重昭  
近藤先生と「諸業高名録」の思  
い出 岡田 昭二

近藤義雄先生の思い出 唐澤 定市  
近藤先生から学んだこと 久保田順一  
近藤先生を偲んで 澤口 宏

近藤先生を偲んで 渋谷 浩  
近藤先生と本会 田中 康雄  
黄泉路に旅立たれた近藤義雄先  
生へ 南雲 榮治

近藤先生との思い出 能登 健  
近藤課長の講話 樋口 良夫  
「正之さんの息子」から近藤義  
雄先生へ 前澤 和之

近藤義雄さんを偲ぶ 峰岸 純夫  
近藤義雄先生と「新編高崎市史」  
森田 秀策

高野山へ 山本 世紀  
近藤義雄先生に学んだこと 山本 隆志  
近藤先生略歴

放光寺と車評(群馬県) 栗原 和彦  
高山社にみる蚕種統一の取り組み  
—「蚕種・又昔」選定とその普  
及伝播を中心として 関口 覺

動向 片品村誌の編纂について 藤井 茂樹  
文化財レポート  
榛東村金継古墳群—榛東村54・  
55号墳の発掘調査から 飯田 陽一

県指定重要文化財  
旧上毛モリスン事務所 岡屋 紀子  
新刊紹介

土生田純之・高崎市編『多胡碑  
が語る日本古代と渡来人』 深澤 敦仁  
宇治郷毅著『石坂荘作の教育事  
業—日本統治期台湾における  
地方私学教育の精華—』 宮下 明美

口絵 千網谷戸遺跡出土注口土器  
—群馬県立歴史博物館蔵品資料  
(119) 新井 仁

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会  
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1  
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊  
www16.plala.or.jp/kuzira226/

◇234 2014.5 A5 56p  
馬庭念流に集団入門した沼田城  
真田信之の家臣 赤見 初夫

山崎一『群馬県城館址調査の手引  
き』(4) 茂木渉・翻刻／飯森康広・割付  
高山彦九郎日記による歴史散歩  
(41) 『江戸日記』(7)／高山彦  
九郎日記による歴史散歩(42)

『北行日記』(1) 正田 喜久  
前橋公園周辺をめぐる歴史散歩 井野 修二  
歴史散歩の報告(事務局企画)  
ラオス・伊豆大島 山崎 正  
渋川太織 小山 宏

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会  
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4  
板橋春夫方 1980年創刊

◇35 2014.5 A5 105p  
小特集 群馬歴史民俗研究会  
第100回例会記念講演会  
「第100回記念例会」の記念講演  
会を開催して 藤井 茂樹

講演Ⅰ  
群歴民の足跡を振り返って 板橋 春夫  
講演Ⅱ  
群歴民と諸研究団体の動向 佐藤 孝之

「物部」の地域的展開について 関口 功一  
上野国における荘園形成—鳥羽院  
政期の御願寺領荘園を中心に 久保田順一  
中世館林地域の景観から二つの合  
戦を見直す 飯森 康広

獅子舞の継承に関する一考察—群  
馬県における獅子舞の担い手の  
視点から 鈴木 英恵

カンカチと風呂敷ササラー三匹獅  
子舞にみる芸態習得のあり方 板橋 春夫  
書評 関口功一著『古代上毛野の  
地勢と信仰』 時枝 務

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会  
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4  
板橋春夫方 1979年創刊

◇137 2014.3 B5 4p  
帰属意識覚書—琉球の華人・華僑  
移民を例として 関口 知識  
土葬のはなし 板橋 春夫

◆古志賀谷 越谷市郷土研究会会報  
〒343-0041埼玉県越谷市千間台西2-17-16  
1972年創刊

◇17 2014.3 B5 99p  
巻頭言 研究している「トキ」で  
はないのかも— 宮川 進  
聞き書き

町村合併と越谷町の大呉服店  
「万寿屋」の話 会田礼三氏  
戦前から見てきた越ヶ谷小学校  
と越ヶ谷町関連の雑談 染谷  
隼生氏

越ヶ谷御殿 加藤 幸一  
恩間村の国学者渡辺荒陽に関する  
原資料 加藤 幸一  
越谷市内の高低測量几号 秦野 秀明  
越谷型青面金剛像庚申塔 秦野 秀明  
名物鬼焼 白石 克  
透関山の旗本矢場貞満の墓 山本 泰秀

越谷コラム(1)  
越谷七不思議の選定  
江戸時代の名物・間久里の鰻 宮川 進  
越谷の六地藏石幢 松本 裕志  
西方村旧記に見られる疱瘡・麻疹  
の薬 田部井 明  
越谷コラム(2) 越谷駅東口  
再開発で大きく変貌  
増林に残る庚申塔 尾川 芳男  
とうかんぼうの狐火 鈴木 康央  
瓦曾根溜井からの写真撮影場所の  
特定について 鈴木 恒雄  
越谷町で起きた怪奇現象 原田 民自  
越ヶ谷・越谷と表記ある書物一覧

原田 民自  
越谷コラム(3) 塗師市呉服店  
絵葉書と冬物売出し広告  
さようなら 越ヶ谷二丁目横断歩  
道橋 架橋43年の今昔 増岡 武司  
日光道中ぶらぶら歩き(4)  
吉野通りを歩く 和泉 守  
文化財パトロール 平成24年度  
大袋地区北部/平成25年度 大  
沢・越ヶ谷地区  
史跡めぐりの記録  
第422回～第446回

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会  
〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方  
TEL049-281-4983 年4000円 1929年創刊

◇317 (61-1) 2014.5 A5 46p  
秩父事件で戦死した窪田巡査(1)  
一武州旧八王子千人同心の末裔  
か 村田 嘉行  
「長享番付」の検証(2)  
一伝承された原縁起 千嶋 壽  
鉢形北條家の貫高と着到 大野 鴻風  
元荒川以北の同型板碑 四方田 悟  
表紙写真解説  
密教系弥陀信仰板碑  
口絵写真解説 武州松山古城図  
(山田吉令模写) 大圖 口承  
受贈図書紹介  
岩槻史林、郷土志木  
例会報告 第649回 栃木県足利  
市見学/第650回 研究発表会

◆日本の石仏  
日本石仏協会(発売:青娥書房)  
〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29  
TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊  
www3.ocn.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutu1.html

◇150 2014.6 A5 64p 2000円  
口絵 特集 石に刻まれた「僧・  
聖・行者」/誌上写真展14日本  
石仏協会写真展より  
巻頭随想 「日本の石仏」150冊の  
重さは会員の総力 坂口 和子  
《特集 石に刻まれた「僧・聖・行者」》  
特集 石に刻まれた「僧・聖・行者」  
僧・聖・行者 編集部  
調査報告  
鴨川市の水陸塔と虫供養 石田 年子  
石仏入門(5) 大日如来 門間 勇  
名号塔の知識(17)  
南四国の名号塔 岡村 庄造  
「石」を知る(39) 小松 光衛  
石仏写真と私(39) 生命ある限り、  
愛を以て… ゲスト 田中義行  
さん 杉本 康希  
あ・ら・か・る・とー私の石仏案内  
飯嶋吉六の庚申塔 神奈川県横  
須賀市浦賀2丁目 常福寺 内山 孝男  
威容を誇る千庚申塔 栃木県足  
利市猿田町9-3 徳蔵寺 中森 勝之  
会員の広場  
災害の記憶を後世に 井戸 寛  
「七俱胝仏母菩薩」 門間 勇  
長岡市にもあった妙哲尼名号塔  
近江 礼子  
印鑰神社の狛犬 中野 高通  
見えないものを見る 宮内 七生  
川勝政太郎氏設計の現代の石灯  
籠 黄瀬 三朗  
日本石仏協会主催 第101回石仏見  
学会報告 東京都荒川区の石仏  
巡り 吉田 信吉

◆富士山文化研究会会報  
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1

中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年6000円  
◇37・38 2014.3 B5 16p  
見学会報告 丸山教(10月5日)/  
富士吉田市立歴史民俗博物館/  
川口市見学会(1/4)  
富士山世界遺産登録記念「川口の  
富士山信仰の足跡をたどる一木  
曾呂の富士塚一」  
オークションのお身抜き  
元会員 藤井宏康氏の蔵書  
付録 『駒込霊跡 大智山海蔵寺  
教祖身祿術由緒傳記』(22頁)  
明治43年6月25日/中山豊隆編  
輯・海蔵寺身祿殿発行

◆昔風と当世風 古々路の会  
〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410  
津山方 TEL048-976-9387 1973年創刊

◇98 2014.4 B5 164p  
《東京都西多摩郡檜原村北秋川溪谷  
合同調査特集》  
「広い部屋」をめぐる動線と秩序 森 隆男  
東京都西多摩郡檜原村北秋川溪谷  
合同調査を終えて むらき数子  
西多摩郡檜原村の養蚕信仰と小正  
月行事 関 廣好  
檜原村の道一都道・林道・登山道  
下境 芳典  
炭焼きとお茶づくり一檜原村藤倉  
地区・樋里地区 神 かほり  
北秋川溪谷の住まいと養蚕 坪郷 英彦  
檜原村の民家 椿原 佳恵  
檜原村で訪れた家 宮崎 勝弘  
檜原村北秋川雑感と芝居 北河 直子  
檜原村の獅子舞 白井 正子  
檜原村の食から 丸山 久子  
暮らしの知恵に学ぶ  
一檜原村の調査に参加して 西尾 嘉美

檜原の自然と食一共生のかたち 茶谷まりえ  
檜原村における水道と電気 谷川 隼也  
石積み技術と住民の居住  
一東京都西多摩郡檜原村中里 津山 正幹  
遠藤家の御祝儀控帳と鍛冶屋の話  
一檜原村笹久保の事例から 佐志原圭子  
近現代の出産と胎衣の変遷一東京  
都西多摩郡檜原村の事例を中心  
に 望月 彩花  
東京都西多摩郡檜原村  
一湯久保で暮らす むらき数子  
東京都檜原村の民具(抄) 五十嵐 稔  
田中斉さん追悼  
追悼 田中斉さん 五十嵐 稔  
田中斉さんの死を悼む 森岡 弘典  
調査者から教育者への道半ば 今野 大輔  
田中斉さんとの思い出 谷川 隼也  
よき兄貴 田中斉さんを偲ぶ 北河 直子  
田中先生は今どこにいらっしゃるのか? 下境 芳典  
事務局総務・田中斉さんを悼む 津山 正幹  
田中斉さんの業績  
ニュースから(1)～(15)  
明治の小学校(7) 教科書に絡む  
三大事件一その2 教科書贈賄  
事件 古川 修文

◆我孫子市史研究センター会報  
〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17  
岡本方 TEL04-7149-6404  
www.geocities.jp/abikosisiken/  
◇146 2014.4 A4 12p  
新四国相馬霊場の大師宿 近江 礼子  
『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪  
ねる』余話(10) 布佐下稲荷 原田 慶子  
『新四国相馬霊場八十八ヶ所を訪  
ねる』余話(11) 富士講 原田 慶子

井上基家文書の研究  
 質地証文(4)  
 土地はだれのものか 清水 紀夫  
 質地証文(5) 寄合について 清水 紀夫  
 質地証文(6) 村金融について 清水 紀夫  
 井上家文書研究講座 4月の活動 長谷川 一  
 歴史探訪部会4月の活動 長谷川秀也  
 H26年度第1回(通算第13回) 古文  
 書解説講座 予告  
 合同部会4月の活動(4/5、4/19) 中澤 雅夫  
 歴史部会3月の活動と今後の予定 関口 一郎

◇147 2014.5 A4 10p  
 桜と看板建築の歴史の里「石岡探  
 訪」 荒井 茂男  
 バス探訪のご案内  
 歴史探訪「坂東を訪ねる」  
 歴史探訪部会 相馬霊場の札所参  
 りその4 新木～湖北 中川 健治  
 井上家文書研究講座  
 5月度の報告 長谷川 一  
 井上基家文書の研究  
 質地証文(7) 補足事項 清水 紀夫  
 質地証文(8) (1)理由について 清水 紀夫

古文書火曜部会5月の活動から 後藤 美鈴  
 合同部会5月の活動(5/17土) 中澤 雅夫  
 歴史部会『字誌』3～5月の活動記  
 録 関口 一郎

◇148 2014.6 A4 8p  
 歴史探訪部会「坂東をたずねる」  
 長谷川秀也  
 歴史探訪部会 7月 座学の御案内  
 演題「北総のえみし」  
 事務局便り  
 本の寄贈を受けました  
 古文書日曜部会レポート 山崎 章藏  
 井上基家文書の研究 質地証文(9)

(2) 質入地について 清水 紀夫  
 歴史部会5月の活動(2014/5/25) 飯白 和子  
 合同部会6月の活動(6/21土) 中澤 雅夫  
 古文書火曜部会6月の活動から 川名なほ子  
 創立40周年記念誌『市史研40年の  
 あゆみ』(仮称) 小論文申し込  
 み順調 40周年記念誌編集委員会

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報  
 〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6  
 野村忠男方 TEL043-487-1033  
 年2000円 2012年創刊

◇7 2014.4 A4 6+4p  
 地名に学ぶ(6)  
 地名「佐倉」の由来 野村 忠男  
 特集 古河公方の地を訪ねる  
 古河公方の地を訪ねる 伊藤 清  
 古河研修バス旅行感想文  
 浦澤次義/黒岩のみ子/石原芳子  
 古河探訪一佐倉と古河 田中 征志  
 忘れられてしまったこと  
 臼井無線送信所のビーコン 武藤 敏子  
 別刷(4頁)  
 佐倉地名研究会27年の歩み

◆千葉史学 千葉歴史学会  
 〒263-0022千葉県市稲毛区弥生町1-33 千葉  
 大学文学部内 TEL043-251-1111 年4000円  
 1982年創刊 chibareki.blog.fc2.com

◇64 2014.5 A5 104p  
 巻頭随想  
 西上総高柳いまむかし(続々) 三浦 茂一  
 歴史随想  
 原氏の蛇太刀 外山 信司  
 千葉県最初の編纂事業 堀野 周平  
 千葉鉄道開通百二十年によせて  
 矢嶋 毅之  
 近世後期関東在方町における町組

織の運営と機能—下総国香取郡  
 佐原村新橋本町を事例に 酒井 一輔  
 「水害の分配」はいかにして可能  
 になったのか—利根川下流村落  
 社会における水利慣行の形成過  
 程 金子 祥之  
 中世女盲の稼業について 横田 光雄  
 新刊紹介  
 服部一隆著『班田収受法の復元  
 的研究』 長谷川 暁  
 渡辺尚志著『近世百姓の底力—  
 村からみた江戸時代—』 岡本 翔吾  
 神谷大介著『幕末期軍事技術の  
 基盤形成—砲術・海軍・地域  
 —』 松本キエ子  
 参加記 市立市川考古博物館企画  
 展「速報展 北下遺跡」見学会  
 と講演会に参加して 石渡 芳樹  
 見学会  
 国立歴史民俗博物館企画展示  
 「中世の古文書—機能と形—」  
 を見学して 細田 大樹  
 芝山町立芝山古墳・はにわ博物  
 館企画展「しばやま鉄道もの  
 がたり」 高木晋一郎  
 国立歴史民俗博物館第4展示室  
 リニューアル展示見学記 横山 陽子  
 動向 実教出版『高校日本史A』  
 『高校日本史B』執筆者の見解  
 彙報 千葉歴史・自然資料救済ネ  
 ットワーク第3回総会

◆東京湾学会誌 東京湾の水土  
 〒270-0198千葉県流山市駒木474 江戸川  
 大学メディアコミュニケーション学部 高  
 橋克研究室 年5000円 1998年創刊

◇17 (3-5) 2013.3 B5 24p  
 東京湾学会誌「東京湾の水土」 沼田 眞

東京湾学探訪会  
 東京湾学会会長として 佐藤 毅  
 江戸前から東京湾への文化的変質  
 佐藤 毅  
 千葉県の里山の農業とくらし 川名 興  
 東京湾だより 實形 裕介  
 委員会から  
 総務委員会 實形 裕介  
 研修委員会  
 編集委員会 高橋 覚

◆西上総文化会報  
 〒292-0833千葉県木更津市貝淵1-11-4  
 TEL0438-25-2003

◇74 2014.3 B5 119p  
 巻頭言 会報74号発刊にあたって  
 藤浪 弘美  
 西上総地域における戊辰戦争の記  
 録 三浦 茂一  
 下鳥田の熊野神社 考 諏訪 貞夫  
 飯野藩士の処分(罰)について(1) 八田 英之  
 江戸時代の将軍の鹿狩と西上の村  
 村 筑紫 敏夫  
 私の「軍師官兵衛」考 橘田 昭雄  
 評伝・鈴木一平 上杉 義隆  
 終戦と二つのいのち 大網 整一  
 狸査知 三大狸伝説 関 狸亭  
 矢那の領主旗本興津氏 村田 峯生  
 回想 銃後の少女だった頃 大網 克子  
 百歳を迎えて 八田 英夫  
 移動研修レポート  
 茨城日立市方面を訪ねて  
 移動研修Ⅰ 橘田 昭雄  
 奥浜名湖及び湖西地方の名刹を  
 訪ねて 移動研修Ⅱ 鬼形むつ子  
 いすみ市の史跡文化財を訪ねて  
 移動研修Ⅲ 千葉 幸子  
 例会とその内容

- 第607回例会 西上総文化会定期  
総会と懇親会
- 第608回例会 移動研修Ⅰ  
茨城日立市方面を訪ねて
- 第609回例会 研修発表Ⅰ 宮家の  
誕生と変遷について 藤浪  
弘美/「木更津のあゆみ」を編  
集して 橘田昭雄
- 第610回例会 移動研修Ⅱ  
西遠州・奥浜名湖の名刹・名  
庭園を訪ねて
- 第611回例会  
第65回西上総文化展
- 第612回例会 祝賀と忘年の会
- 第613回例会 研究発表Ⅱ  
江戸時代の将軍の鹿狩と西上  
の村々 筑紫敏夫
- 第614回例会 移動研修Ⅲ  
いすみ市内史跡巡り
- ◆房総石造文化財研究会会報  
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3  
石田年子方 TEL04-7196-3375  
年3000円 1980年創刊
- ◇121 2014.4 B5 10p  
房総の石造仁王像について 小西 則子  
木更津の石造物(3) 稲木 章宏  
石工とその系譜(2) 稲木 章宏  
石仏探訪(11) 災害史と石仏一長  
柄町の雨乞い塔 石田 年子  
会員寄稿 匠瑳市の閻魔大王坐像  
について 渡邊 昌之
- ◆房総の郷土史  
千葉県郷土史研究連絡協議会  
〒260-0855千葉市中央区市場町11-1  
千葉県立中央図書館内 TEL043-222-0116  
年5000円 1974年創刊

- ◇42 2014.3 A5 93p  
口絵写真 外房・天津漁港 片岡 伸  
郷土研アルバム 総会・史跡探訪  
会・研究発表大会・文化講座・  
古文書講座 事務局  
巻頭言 先人の箴言 秋葉 輝夫  
農民芸能と五大院安念 外山日出男  
一紙文書「護国寺桂昌院寄進状」  
の真偽と史料の性格について 横山 鈴子  
嶺岡牧の野馬土手 日暮 晃一  
房総における寛政五年「村明細帳」  
塚田村の移り変わり 筑紫 敏夫  
一千葉県で一番小さい村 武井 順一  
活動報告  
土気城跡の現状について 杉田 秀一  
郷土史フォーラム 平成25年度郷  
土史フォーラムの紙上開催 松井 安俊  
総会記念講演  
八木重吉と千葉県・柏 中谷 順子  
研究発表大会特別講演 主として  
19世紀以降、日本史上における  
事件の周期的動向に関する試論 川村 優  
研究発表大会研究講演要旨  
出羽三山信仰と房総 菅根 幸裕  
研究発表大会報告要旨  
房総の民謡、童謡風土の背景 松井 安俊  
史跡探訪会 史跡探訪一よみがえ  
る天平の薨・上総国分尼寺など 菰田 達夫  
地方史情報 房総の窓―「地方史  
研究」から(2013年2月～12月) 井上 隆男
- ◆あしなか  
〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17  
サトービル TEL03-5663-6748  
年5000円 1939年創刊

- www8.ocn.ne.jp/~sanmin/  
◇300 2014.4 B5 52p  
《続・石仏と民俗伝承》  
表紙解説 常泉寺「藏王大権現」  
絵札(狭山市北入曾) 編集室  
善光寺信仰の石仏―新潟県長岡市  
山崎 進  
般若心経碑と空居上人  
一群馬県下仁田町 時枝 務  
山中に残された異形の明王像  
一上州安蘇・足尾山城 鷲頭 隆  
妙見菩薩と鎮宅霊符尊 沖本 博  
資料 『あしなか』の七十五年一  
誌面に見るその歩み(1) 「創刊  
の辞にかへて」  
風化のすすむ磨崖仏  
一横浜市釜利谷郷白山道奥 大喜 紀明  
相模大江山麓の信州高遠石工 杉崎満寿雄  
山梨の日輪形丸石道祖神 井上 明生  
山里だより(19)  
ジガとヒグラシー―丹波美山町 西浦 左門  
“鳥獸蟲草木供養塔”を  
一奥多摩の里山から 内嶋 捷恵  
土佐の穴地蔵―土佐市谷地・岩屋  
地蔵の信仰 岩田 英彬  
「石屋がいちばん」と「笠地蔵」  
一宮崎県の昔話と石 矢口 裕康  
民俗資料ノート 石橋供養塔の語  
るもの・その1―埼玉県西部地域  
の分布(1) あしなか編集室  
特別寄稿 父と『あしなか』のこ  
と―三百輯発刊記念に寄せて 滝沢 禮子  
旅の草ぐさ(14) これ、「無縁車」  
一北国の旅人・菅江真澄の日記  
から 杉崎満寿雄  
付録 『あしなか』のあゆみ(発行  
一覧)

- ◆足立区立郷土博物館だより  
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
TEL03-3620-9393 1996年創刊  
www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/  
chiikibunka/hakubutsukan/  
◇66 2014.4 A4 4p  
平成26年度の展示のお知らせ 特  
別展 物流のひみつ―モノを運  
ぶ歴史と文化/企画展 明治と  
いう夢―祈りと戦いの足立/ミ  
ニ展示 記憶になったお化け煙  
突―解体50年/出前展示 千住  
歴史大全  
博物館からのお知らせ 郷土芸能  
鑑賞会/春季区民教養講座「地  
域史学習をどうすすめるか―足  
立区荒川の歴史を中心に」金澤  
利明氏  
博物館の浮世絵展 歌川派と歌舞  
伎―勇壮なる役者絵の世界
- ◆足立史談  
足立区教育委員会足立史談編集局  
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
◇554 2014.4 A4 4p  
配りものの手ぬぐい 郷土博物館  
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想  
い出(17) 鳥の分教場での学習 小川誠一郎  
千住在榎戸六丁石工安五郎 齊藤 文孝  
収蔵資料の紹介 旧梅島陸橋を描  
いた版画 小泉癸巳男「千住・  
末廣町風景」 郷土博物館  
◇555 2014.5 A4 4p  
森鷗外撰文 大正記念道碑  
千住中居町公園に移設 郷土博物館  
江戸六阿弥陀巡拝路(1) 本間 孝夫

縁故疎開ですごした北鹿浜町の想  
い出(18) 戦後の分教場での学  
習 小川誠一郎  
◇556 2014.6 A4 4p  
まちの写真館 柳下写真館の歴史  
郷土博物館  
江戸六阿弥陀巡拝路(2) 本間 孝夫  
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想  
い出(19) 鹿浜の子どもの生活  
小川誠一郎

◆足立史談会だより  
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
◇313 2014.4 A4 8p  
合衆国首府「ワシントンの桜」(19)  
昭和26年・東京都公園協会 病  
虫害のため、寄贈のサクラ こ  
とごとく焼却される(5)  
史談カルタ  
「お」御成橋は国土安穩寺  
足立区の文化財 平成2年版「足  
立区の文化財」による 有形文  
化財(歴史資料) 花畑大鷲神社  
算額 1面、他  
王子飛鳥山を歩く  
おめでとう・潤徳学園創立90年  
おかげさまで90年 第6号／第7  
号／第8号／第9号  
探訪の在り方について(投稿) 清水 繁  
◇314 2014.5 A4 8p  
足立区登録文化財 森鷗外撰文  
「大正記念道碑」移設披露  
合衆国首府「ワシントンの桜」(20)  
昭和26年・東京都公園協会 東  
京市、再び桜の寄贈を決定し、  
その培養に着手(1)  
大正記念道碑移設記念講演会 講

演・森鷗外記念会会長 山崎一  
穎先生 鷗外の柔軟な思考に学  
ぶ 堀川 和夫  
大正記念道碑移設完成除幕式／大  
正記念道移設完成 経過報告と  
講演会  
二週にわたる講演を聞いて 日下部政利  
千住大橋界隈を歩く 鈴木 道夫  
歴史と潤いのあるまちづくりをめ  
ざして 森鷗外撰文「大正記念  
道碑」移設について 相川謹之助  
史談会総会報告  
「彼岸」と「此岸」  
彼岸の行事は日本人だけ 赤田 直繁  
◇315 2014.6 A4 8p  
大正記念道碑移設披露次第／移設  
完成経過報告・記念講演会  
合衆国首府「ワシントンの桜」(21)  
昭和26年・東京都公園協会 東  
京市、再び桜の寄贈を決定し、  
その培養に着手(2)／影の人 三  
好学「さくら」博士と船津翁  
足立区の文化財 平成2年版「足  
立区の文化財」による 有形文  
化財(歴史資料) 五榜の掲示  
1札、他  
5月探訪報告  
5月探訪から 伊藤 博  
おめでとう・潤徳学園創立90年  
第10号／第11号  
学徒勤労動員 吉岡 和子  
大正記念道碑の思い出  
墓石に見えて怖かった記念碑 赤田 直重

◆板橋史談 板橋史談会  
〒174-0075東京都板橋区桜川12-27-3  
大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682 1966年創刊  
◇280 2014.5 B5 24p

表紙写真解説「石神井川のこい  
のぼり」板橋(仲宿) 井上 富夫  
向原の昔(7) 畑、農村のころ 三原寿太郎  
「勤労動員」の思い出 吉田 隆光  
史談会のあゆみ(1月～3月) 各 部

◆奥武蔵 奥武蔵研究会  
〒350-1301埼玉県狭山市青柳63  
新佐山ハイツ4-504 藤本一美方  
◇397 2014.5 B5 19p  
「奥武蔵」の研究・山行の手引き 藤本 一美  
秩父事件・金屋戦争の銃弾の痕 町田 尚夫  
奥武蔵・秩父の獅子舞(52)  
一古里兵執神社の舞 関口 洋介  
わが町の獅子舞―赤塚諏訪神社・  
歓喜の舞い 小泉 重光  
山行報告  
続編・奥武蔵中世の城跡を歩く  
(10) 太田金山城(番外) 飯塚 孝雄  
秩父古道鎌倉道を歩く 成川 茂雄  
続編・奥武蔵中世の城跡を歩く  
(11) 高取山城と越生三山 小泉 重光  
塙保己一と児玉の文化財めぐり  
成川 茂雄

◆北区史を考える会会報  
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10  
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊  
◇112 2014.5 B5 14p  
七軒町と四本木稲荷 高木 基雄  
第375回 月例研究会  
歴史に見る震災 国立歴史民俗  
博物館企画展を見学して 大澤 栄美  
第374回 月例研究会  
鎌倉初期豊島氏の歴史的位置  
『吾妻鏡』史料を読み直す 伊藤 一美  
寄稿 名將たらざれば名医たれ 豊島 信夫  
第376回 史跡見学会  
「鎌倉の古道を歩く」参加記 榎本 龍治

北区の「銀座」商店街 林 健一  
北王子支線の運行終了 林 健一

◆儀礼文化ニュース  
一般社団法人儀礼文化学会  
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7  
TEL03-3355-4188  
◇194 2014.6 A4 8p  
催事スケッチ 津和野の鷺舞  
夏の邪を祓い、健康を願う 渡辺 良正  
これからの催し物ご案内  
第34回儀礼文化学会春季大会開催  
会長式辞 中島精太郎  
理事長挨拶 倉林 正次  
第3回定時社員総会開催  
各議案を審議、可決  
催し「雅楽に親しむ」実演：一  
般社団法人伶楽舎 楽器の“体  
験教室”で盛況に 松尾 恒一  
催し「雅楽に親しむ」実演：一  
般社団法人伶楽舎 「歓宴」和  
やかに広がる渾身の輪 佐々木幸子  
新企画 会員を訪ねる 北海道神  
宮(札幌市中央区宮ヶ丘)、鳥取  
神社(釧路市鳥取大通四丁目)、  
上川神社(旭川市神楽岡公園) 管野 逸一  
新入会員の声  
レポート  
平成26年度第1回儀礼文化セミ  
ナー 茶道「遠州流茶道を学  
ぶ」 塩澤以知子  
第4回儀礼文化セミナー(平成25  
年度) 古典遊技「投扇興の  
あそび」 門脇悠美子  
第8回儀礼文化セミナー(平成25  
年度) 道教「道教の儀礼―  
新安儀礼を中心に―」講師  
：浅野春二 佐々木 寛

第9回儀礼文化セミナー(平成25年度) 儀礼文化論「『物合わせ』を考える」 講師:倉林正次 佐々木 寛

◆記録と史料

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会  
〒730-0052広島市中区千田町3-7-47  
広島県立文書館 TEL082-245-8444  
1990年創刊 www.jsai.jp  
◇24 2014.3 B5 110p 1200円  
特集 公文書管理条例のいま  
特集にあたって 広報・広聴委員会  
宇土市文書管理条例とその後に  
ついて 山本 雄二  
ニセコ町文書管理条例の理念と  
実務 稲見 唯睦  
草津市市政情報の管理に関する  
条例の制定について 門田 忍  
小布施町の公文書管理条例と公  
文書館 山岸 正男  
公文書管理条例と自治体アーカ  
イブズ機関一条例等にもみる地  
域資料へのスタンス 太田 富康  
アーキビストの眼  
慶應義塾史資料 第1巻『塾員塾  
生資料集成』を刊行して 西澤 直子  
佐賀県公文書館への歩み—1人  
の地域史研究者の願いが実現  
するまで 片倉日龍雄  
公文書館機能普及セミナー2013  
in 北海道 自治体アーカイ  
ブズのすすめ 小川正人/平塚理子  
アーカイブズネットワーク  
—南から北から  
重要文化財になった「東京大学  
史関係資料」 小川智瑞恵  
神戸アーカイブ写真館について

横山 民夫  
デジタルデータを活用した自治  
体史—品川区史の試み 寺門 雄一  
秋田県公文書館20周年記念事業  
について 戸嶋 明  
中国・四国地区文書館等職員連  
絡会議の取り組み 徳野 隆  
京都府立総合資料館創立50周年  
記念事業 福島 幸宏  
福島県双葉町役場が保有する東  
日本大震災関係資料の保全に  
ついて 白井 哲哉  
書評と紹介  
平井孝典著『公文書管理と情報  
アクセス—国立大学法人小樽  
商科大学の「緑丘アーカイブ  
ズ」—』 清水 善仁  
菅真城著『大学アーカイブズの  
世界』 椿田 卓士  
滋賀県県政史料室編『公文書で  
たどる近代滋賀のあゆみ』 橋本 唯子  
地方史研究協議会編『地方史活  
動の再構築—新たな実践のか  
たち—』 山脇 智佳  
企業史料協議会編『企業アーカ  
イブズの理論と実践』 清水ふさ子  
資料ふぁいる 公文書館専門職員  
実態アンケート調査集計結果  
〈最終版〉 調査・研究委員会

◆史学研究集録

国学院大学大学院史学専攻大学院会  
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28  
TEL03-5466-0142  
◇39 2014.3 A5 84p  
白雉四年の第二次遣唐使選定をめぐって 西村健太郎  
平安後期における下級官人の任用

形態 渡辺美紗子  
〈悲しみの人〉画像の類型について 長谷川久美  
既刊目録(1号~38号)

◆史叢 日本大学史学会

〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40  
日本大学文理学部史学研究室内  
TEL03-3329-1151  
◇90 2014.3 A5 72p  
大会講演  
歴史は、こうしてつくられる 井上 章一  
中央政界の足尾鉍毒事件における  
認識をめぐって—第十六議会前  
から第十八議会後まで 笠原 亮介  
近代東京における雇人口入業につ  
いて 町田 祐一  
資料紹介 太平洋戦争末期の陸軍  
幼年学校—小野重典氏談話要旨 古川 隆久

◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要

〒195-0063東京都町田市野津田町897  
TEL042-734-4508 1987年創刊  
◇27 2014.3 A5 122p  
《特集 私にとっての自由民権研究》  
自由民権運動研究への私の関心 阿部 恒久  
戦後第一世代の生の証 安在 邦夫  
私の自由民権研究 河西 英通  
私にとっての自由民権研究 公文 豪  
「自由民権」と自分史 高島 千代  
わたしにとっての自由民権研究  
—「公共圏」論の観点から 中嶋 久人  
〈研究〉〈顕彰〉〈市民〉と〈私〉の  
あいだ 松崎 稔  
自由民権運動研究への想い 真辺 美佐  
私の自由民権研究 矢嶋 毅之  
根源から考えるために 山田 博雄

地域から見た自由民権健忘の可  
能性 横山 真一  
書評  
石堂昭彦『近代日本のマスメ  
ディアと階層認識』 奥 武則  
前田勉『江戸の読書会—会談の  
思想史—』 中村 春作  
新刊紹介  
小川原正道『明治の政治家と信  
仰』 友田 昌宏  
大日方純夫『自由民権期の社会』 杉山 弘

民権ネットワーク

青森県 河西 英通  
福島県 安在 邦夫  
埼玉県 鈴木 義治  
千葉県 矢嶋 毅之  
東京都 福井 淳  
多摩地区 松崎 稔  
神奈川県 野崎 昭雄  
新潟県 横山 真一  
長野県 青木 隆幸  
静岡県 加藤 善夫  
高知県 徳平 晶  
熊本県 廣島 正  
鹿児島県 久米 雅章  
旧幕臣 樋口 雄彦  
田中正造 赤上 剛  
文学 西田谷 洋

自由民権運動関係文献情報(27)

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9  
新村康敏方 1973年創刊  
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/  
◇245 2014.5 A4 10p 400円  
中野宝仙寺と阿佐谷(続) 菅野 郁雄  
第507回例会記 平成25年11月23日

江戸と周辺農村との人的交流—  
武士と農民の婚姻関係を中心に  
講師：森安彦先生 小島 智  
平成26年 新春七福神めぐり 伊東 勝  
第17回まちづくり博覧会  
縄文土器作り体験 伊東 勝

◆城郭だより 日本城郭史学会会報  
〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私  
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊

◇85 2014.4 A4 6p

浜松城に天守門が復元

—天守曲輪虎口に櫓門を再現

3月22日の見学会より

上野大胡城の遺構

最近の城郭ニュースから 京都山

科の石切丁場／和歌山城二の丸

庭園出土／唐津城天守台下に旧

石垣／引田城二の丸の発掘調査

最近の注目される城郭関係図書から

『新修福岡市史』特別編『福

岡城 築城から現代まで』、板

橋区立郷土資料館特別展解説

『板橋と馬』、小和田哲男著『戦

国史を歩んだ道』、福岡での如

水の活躍を案内『黒田官兵衛』

各地の城郭研究会活動から／日本

城郭史学会活動から／好評頒布

中の報告書・出版物

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066東京都世田谷区成城6-1-20

TEL03-3482-1181 1977年創刊

◇37 2014.3 A5 96p

トーマズムとしての血液型人間

分類 小山 由

高度経済成長期以降の佐久地方に

おける養鯉業の展開 段 杰

文化という言葉の効能について 木下 聖三  
ハンプルク大学民俗学／文化人類  
学研究所における民俗学教育に  
ついて 及川 祥平

◆新西郊文化 新西郊文化研究会

〒167-0021東京都杉並区井草2-22-14

セジュール井草II301 2011年創刊

◇3 2014.3 A4 30p 500円

井草遺跡(旧称：井草遺跡E地点)

における旧石器時代資料の解析

宮下 数史

杉並区内における勝坂・阿玉台式

前半期の遺跡の様相 中野 拓大

遺跡の範囲—考古学的遺跡と埋蔵

文化財としての遺跡の範囲 新里 康

杉並区の縄文時代石製品

—未報告資料を含めて 中島 将太

鳥見役の野扶持受取証文 大橋 毅顕

資料紹介 妙法寺の梵鐘 高野 和弘

自然科学分析の応用(1) 発掘調

査におけるハンドポーリングの

有用性 田中 義文

杉並の考古学史(2)—若き考古学

愛好家たちが活動を開始した 小田 静夫

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9

新村康敏方 1973年創刊

www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇244 2014.3 A4 10p 400円

第503回例会記 近衛文麿と日中

戦争—荻窪が政治の中心だった

頃 真板 道夫

旧近衛邸余談 原田 弘

旧近衛邸余談 その二 新村 康敏

史跡見学会 鬼子母神から雑司が

谷霊園・護国寺を訪ねて 服部 建人

首都江戸と甲州道中 横山 直子  
本の紹介 『つながる 杉並の社  
会教育・市民活動』すぎなみ社  
社会教育の会編 エイデル研究所  
発行 林 美紀子

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9 北村国男

方 TEL03-3844-2008 1987年創刊

ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/

◇55 2014.4 A4 20p

はじめに

隅田川はきれいになったのか 佐藤 武

隅田川市民サミット「神田川上水

300年のおもしろ話」—知れば知

るほど興味深い江戸の水道

講師：大松駿一氏 神尾 久雄

平成25年度交流会事業 シラウオ

の棲む青森県・小川原湖を訪

ねる旅

小川原湖・シラウオ旅行 谷本 光生

生きたシラウオの姿を求め青森

・小川原湖への旅 池田 悦子

隅田川水系文化展

隅田川水系文化展のご報告 篠田 裕

隅田川水系文化展のスナップ／

隅田川水系文化展のギャラリー

—の内容／俳句(撰者 岡部

恒雄)

交流コーナー

紫川を愛する会「武良前 むら

さき通信」第114号、2013年11

月号 衛藤 修一

第10回四万十町展 場所：隅田

川公園リバーサイドギャラリー

—平成25年11月23～24日 片田 宏一

佐藤武レポート 足輪のユリカモ

メ隅田川に帰ってくる 佐藤 武

会員便り 第五回プチ隅田川クリ  
ーン大作戦、柳澤弘道屏風展、  
第30回稚魚放流会 小木曾淑子  
故 糸井理事長を偲ぶ

隅田川市民交流実行委員会糸井

理事長を悼む—白魚の回遊す

る川を夢見た 葉山 隆

糸井守さんの遺稿“ワンドを創

ろう”を紹介する 猪狩 達夫

神田川・日本橋川の環境整備—

多自然高親水型“ワンド”を

創ろう！ 糸井 守

当会会員より

お別れの言葉 小野 勝海

釣り糸井さんを偲ぶ 片田 宏一

忘れられぬ糸井スタイル 北村 国男

お別れのことはば 後藤 安子

糸井理事長の思い出 小堀 郁恵

痛む足杖でかばいて三番瀬

理事長最後のりりしき姿 鈴木 俊一

糸井さん、どうしてますか？

篠田 裕

糸井さんとマツムシ 竹川 光一

理事長を偲んで 沼尻 重男

寡黙な人 渡辺 早苗

糸井理事長の思い出

活動記録 平成25年度下期

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1

大島方 年2000円 1957年創刊

www1.ocn.ne.jp/~oinari/

◇226 2014.3 B5 33p

仁吉の勝々石—墓標を削る習俗 角南聡一郎

民俗学から見る縄文文化の一端

(下)—土偶・岩偶・上野原人・

他 下野 敏見

殿部田のショウガツさん 大島 建彦

交通機関の発達と巡礼形態の変容  
—四国霊場・観音霊場の出開帳

村上 昭彦  
近畿地方の天狗像—その全体像 高橋 成

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報

〒730-0052広島市中区千田町3-7-47  
広島県立文書館 TEL082-245-8444  
www.jsai.jp

◇95 2014.3 B5 64p

《第39回 東京大会特集号》

大会テーマ「地域社会とともに歩  
むアーカイブズ—公文書管理法  
時代の資料保存—」

開会行事

会長あいさつ 八津川和義  
開催地あいさつ 福井 憲彦  
来賓あいさつ 齋藤 敦  
総 会 長澤 洋

自由論題報告

小平市史編さんの経過と多摩地  
域の新しい市史編さんについ  
て 蛭田 廣一  
宮内省図書寮・宮内庁書陵部に  
おける公文書管理の過去と現  
在 宮間 純一  
歴史資料の保存と利用の基盤と  
してのデジタルアーカイブ  
杉本 重雄

大会テーマ研究会

大会趣旨説明 白井 哲哉  
報告Ⅰ 新庁舎移転に向けた豊  
島区の文書管理への取り組み  
—システム共通基盤を介した  
現用文書の一元化 高橋 邦夫  
報告Ⅱ 文書館における公文書  
管理と資料保存 太田 富康  
ポスターセッション

自治体専門職員(アーキビスト)

は今 全史料協大会・研修委員会  
多機能を備えたハイブリット図

書館 奈良県立図書情報館  
学習院大学大学院アーカイブズ

学専攻の紹介

学習院大学大学院アーカイブズ学専攻  
企業アーカイブズの意義と価値

をいかに伝えるか—創立30周  
年(2011年)以降の企業史料協

議会(BAA)の活動 松崎 裕子  
浮かび上がる市民のネットワー

ク—立教大学共生社会研究セ  
ンター所蔵資料から 平野 泉

文書館子供体験事業 埼玉県立文書館  
自宅保管資料の保存について

—一つの実践から 野村 晃子  
日本におけるマイクロフィルム

保存の現状と課題  
東京大学経済学部資料室

京都府立総合資料館の現在と未  
来 京都府立総合資料館

研修会

東京都公文書館を視察して 澁谷 悠子  
板橋区公文書館を視察して 小林 一郎

アーカイブズと歴史資料 中野目 徹  
公文書の保存とその課題

—公文書に求められるもの 佐藤 勝巳  
福島県国見町における資料の保

全に向けた取り組み 大栗 行貴  
文書館専門職(アーキビスト) 辻川 敦

大会参加記 大川絢/奥田夕子  
第39回全史料協全国(東京)大会を

終えて 白井 哲哉

◆全日本郷土芸能協会会報

〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク  
ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290

年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp

◇75 2014.4 A4 24p

鹿島の祭頭祭 茨城県鹿嶋市・神  
栖市 国選択無形民俗文化財

平成26年度定時社員総会のお知ら  
せ/平成25年度文化庁事業『鹿

島みろく調査報告書』完成/地  
域伝統芸能活用センター 平成

26年度の地域伝統芸能表彰団体  
決定/全国民俗芸能保存信仰市

町村連盟第38回定期総会  
昭憲皇太后百年祭—郷土芸能奉納

東日本大震災・郷土芸能復興支援  
プロジェクト事業 民俗芸能で

広がる子どもの世界 第16回全  
国こども民俗芸能大会 第2回

伝統文化継承フォーラム  
新刊紹介 『舞台の上の文化 ま

つり・民俗芸能・博物館』著者:  
橋本裕之

震災復興獅子舞と獅子博物館の最  
近の活動 高橋 裕一

第10回全国獅子舞シンポジウム  
IN 白岡

私の少年の頃 菅野 芳治  
かながわ伝統芸能祭 地芝居2014

開催報告/第23回全国地芝居サ  
ミット in 神戸—北区農村歌舞

伎上演会/第24回全国地芝居サ  
ミット in 魚沼(新潟県)—魚沼

の文化・観光・食の創造と発信  
/第16回全国子供歌舞伎フェス

ティバル in 小松  
地芝居探訪(50) 新城歌舞伎/東

濃歌舞伎大会/ぐんま「伝統歌  
舞伎公演」/南山大学歌舞伎公

演/小鹿野歌舞伎(十六様奉納  
公演) 松浦 鳥夫

地芝居見聞(14) 土佐絵金歌舞伎

—新春 土佐の農村歌舞伎合同  
公演 北河 直子

人形芝居観覧記 西畑人形芝居—  
新春 土佐の農村歌舞伎合同公

演 北河 直子  
地芝居あれこれ(14)

小原歌舞伎のいま 蒲池 卓巳  
関東の雪に翻弄された雪国の一

日 太田喜一郎  
山口清文氏に埼玉県から「文化と

もしび賞」/「のぞきからくり」  
瑞浪市の有形文化財指定に

空白の沖縄芸能史(4)  
嗚呼!我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄

会員紹介 福江神楽保存会 片山 貴史

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101  
光田憲雄 TEL03-3307-2146

www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇262 2014.4 A4 2p 100円  
深川江戸資料館主催「江戸の春—

物売りと大道芸」大盛会裡に終  
了/アンケート結果

初夏から秋へ 思いつくま  
ま 〇263 2014.4 A4 2p 100円

『熙代勝覧』が載せる生業(5)  
◇264 2014.5 A4 2p 100円

江戸のおもしろ生業 亀の甲歯医  
者/心太売り/玉子売り/とっ

かえべえ/あんげらこんげら糖  
売り/雪駄治し/古傘買い/針

売り 〇265 2014.6 A4 2p 100円  
『東都歳時記』が載す変な生業

親孝行/猿曳(猿廻し)/願人/  
玉屋/不明

『熙代勝覧』が載せる生業(6)  
読売／水売り／屋台の茶店

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1  
梶原方 1991年創刊  
tamatischen.web.fc2.com

◇110 2014.5 B5 12p

第84回例会報告

第84回例会参加記 東久留米の旧

村 柳窪村を歩く 小幡 有

資料紹介 多摩の標語印 近辻 喜一

地域史情報室

バルテノン多摩歴史ミュージア

ム企画展 調布玉川惣画図の

旅 第二期

公益財団法人多摩市文化振興財

団・宮内公文書館共催展示

みゆきのあと—明治天皇と多

摩

多摩地域史研究会 第23回大会

多摩の木材利用

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686東京都国立市中1-9-52

TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

www.tamashin.or.jp

◇154 2014.5 A5 114p

《特集 生物と自然環境》

地質が決める土地利用とケヤキの

分布 小泉 武栄

九年間の鳥類相調査から見た井の

頭公園とその周辺自然環境 高野 丈

動物の道としての玉川上水 辻村 千尋

都市・府中に残る自然環境と、そ

こに来る野鳥 中村 武史

狭山丘陵の春のハエから見る自然

環境 笹井 剛博

草花丘陵のサンショウウオ 川上 洋一

原っぱの自然学—丘陵の草原植物

の現状を中心に 内野 秀重

洋風建築への誘い(43)

野川段丘・国立天文台 伊藤 龍也

建物随想記(38) 国立天文台

三鷹 子午儀資料館 酒井 哲

多摩の食文化誌(15)

稗飯を食べていた時代 増田 昭子

多摩のみほとけ(17) 日野市坂下

地藏堂 銅像地藏菩薩坐像 齊藤 経生

本の紹介

くちたち郷土文化館編『谷保の

歌が聞こえる—歌と共にみる

村の暮らし—』 畠山 豊

川崎市教育委員会編『かわさき

の文化財入門(上)(下)』 田中 宣一

武蔵村山市立歴史民俗資料館編

『横中馬獅子舞 当地伝承260

周年記念』 安斎 順子

情報 多摩の博物館だより

◆中央史学 中央史学会

〒192-0393東京都八王子市東中野742-1

中央大学文学部 日本史学研究室内

TEL042-674-3790

c-faculty.chuo-u.ac.jp/~s-sato/shigaku/

◇37 2014.3 A5 306p

公開講演 中世前期東山道と東海

道の政治史 木村 茂光

年未詳五月十四日付源頼朝袖判御

教書案について—鳥津庄と日宋

貿易 石井 正敏

中世後期の「頼母子」に関する一

試論 熱田 順

越後享祿・天文の乱と長尾氏・中

条氏 田嶋 敏

近世後期における旗本家の財政資

金運用と知行所村の社会経済構

造—1400石旗本高家長沢氏の地

頭所貸付金政策を事例に 山崎 和真

幕末期薩摩藩の写真技術導入 川崎 華菜

文久期江戸城登城と国事周旋—鳥

取藩主池田慶徳の動向を中心に 篠崎 佑太

明治初年の日本・ハワイ条約交渉

と条約改正問題 鈴木 祥

占領期皇室財産処理の基礎的考察

奥平 晋

昭和前半期までの堅穴住居跡土

の調査方法—「酒詰仲男調査・

日録」を読み解く 小林 謙一

史料紹介 丹波国山国荘鳥居家文

書の中世文書一名職・田地関係

文書 丹波国山国荘調査団 大貫

茂紀／高島良太／柳澤誠

調査だより 2012年度神奈川県相

模原市大日野原遺跡の発掘調査

小澤政彦／小林謙一

書評

中澤寛将著『北東アジアの中世

考古学の研究—靺鞨・渤海・

女真』 永田 悠記

刑部芳則著『明治国家の服制と

華族』 清水 善仁

鳥海靖著『逆賊と元勳の明治』橋上 武史

新刊紹介

石井正敏著『NHKさかのほり

日本史外交篇[8] 鎌倉「武家

外交」の誕生—なぜモンゴル

帝国に強硬姿勢を貫いたのか』

近藤 剛

佐藤孝之著『近世山村地域史の

研究』 北村 厚介

尚友倶楽部・華族史料研究会編

『四條男爵家の維新と近代』 宮間 純一

佐藤元英著『御前会議と対外政

略3』 田中 悠介

博物館・資料館紹介

高知県立坂本龍馬記念館 亀尾 美香

◆伝え 日本口承文芸学会

〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25

白百合女子大学 間宮史子研究室

TEL03-3326-5144 年4000円 1987年創刊

ko-sho.org

◇54 2014.3 B5 6p

津波の語りを聞きながら 川島 秀一

第65回日本口承文芸学会

例会報告 斧原 孝守

特集 現在の語りの一側面

大人が学ぶ昔語り 米屋 陽一

「語り手養成」の今 大島 廣志

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403

多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火

止4-8-43 柚須絃一方 FAX048-479-7490

tias3.web.fc2.com

◇105 2014.3 A4 6p

2014年総会と関連行事の開催

新刊紹介

『明治産業近代化のパイオニア

平野富二伝 考察と補遺』

古谷昌二著 玉井 幹司

『みまさか鉄道ものがたり』

小西伸彦著 平井 東幸

文献紹介 『がんばろう日本！

知的財産権活用企業事例集

2012』 特許庁総務部企画調査

課・普及支援課 多田 統一

報告 見学会「東京理科大学 近

代科学資料館」 多田 統一

産業遺産を訪ねて(1) 奈良・大和

の三光丸クスリ資料館 平井 東幸  
報告 講演会「ダイセル90年のあ  
ゆみ」 長野 恭彦  
報告 「第一回研究大会」/第10回  
理事会の議事概要  
博物館シリーズ(15)

日本で最大の屈折天体望遠鏡 小野田良智  
エコプロダクツ2013を見学して 多田 統一  
茨城県稲敷市の赤煉瓦建築物(1)  
「横利根閘門」 八木 司郎

◇106 2014.5 A4 6p

八王子郷土資料館と鉄道遺産の見  
学会/行事予定

新刊紹介

『今すぐ行きたい!産業遺産』  
小野崎敏監修 平井 東幸  
『熊本の近代遺産(下) 県北・県  
南・天草』熊本産業遺産研究  
会・熊本まちなみトラスト編  
多田 統一

報告 見学会「八王子市郷土資料  
館と鉄道遺産」 平井 東幸  
戦後国産機の先駆けだった復元機  
を公開 袖須 紘一  
報告 研究会「日本銀行の支店建  
物 その保存と活用」 平井 東幸  
第1回理事会の議事概要/第2回理  
事会の議事概要

博物館シリーズ(16) 日本現存最  
古のスチームハンマー 小野田良智  
「地理の日」写真展を見学して 多田 統一  
茨城県稲敷市の赤煉瓦建築物(2)  
「横利根閘門」(2) 八木 司郎

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31  
吉越正博方 TEL03-3996-4454  
1956年創刊

◇350 2014.3 A4 4p

東京市養育院と彼のひとびと(後  
篇9)一児玉花外・島崎こま子・  
長谷川利行・物集高量 日向康三郎  
豊島氏関係史料を読む(17) 尾崎  
大膳家の相続問題と宮城四郎兵  
衛尉(2) 伊藤 一美  
昭和史雑感 昭和天皇と将軍達  
(20) 真崎甚三郎(17) 鎌田 茂男

◇351 2014.5 A4 4p

練馬の城を往く(10) 殿山(との  
やま)(練馬区豊玉南三丁目) 八巻 孝夫  
東京市養育院と彼のひとびと(後  
篇10)一児玉花外・島崎こま子・  
長谷川利行・物集高量 日向康三郎

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4  
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264  
年2500円 1987年創刊

◇106 2014.5 B5 4p

第107回例会  
アメダスからみた練馬の気候 谷治 正孝  
日本の地名を縄文語で解釈する  
第98回例会 II各論一名は体を  
表す 井上 政行

◆ねりまの文化財

練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文  
化係  
〒176-0012東京都練馬区豊玉北6-12-1  
TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇91 2014.4 A4 6p

平成25年度新規の登録文化財 丸  
山遺跡出土の片口土器/草摺引  
図絵馬/森田家資料/アニメー  
ション撮影台/文明十七年の月  
待板碑/文亀元年の月待板碑

練馬区指定文化財一覧/練馬区登

録文化財一覧  
庚申塔を移設しました

◆ぶい&ぶい 無為無為 日本史史料研究会  
〒171-0041東京都練馬区石神井町5-4-16  
日本史史料研究会石神井公園研究センター  
内 2008年創刊 www.l3.plala.or.jp/t-ikoma/

◇26 2014.3 A5 20p

戦国末期朝廷の政務運営一穀倉院  
別当領相論裁定・炭座公事相論  
裁定をめぐって 神田 裕理  
『家忠日記』の存在しない一日ー  
文禄三年五月十六日条をめぐっ  
て 大罵 聖子

◇27 2014.5 A5 28p

柳原宮考一大覚寺統の土御門宮家  
赤坂 恒明  
金沢実村母子の流刑についてー永  
井晋氏の批判にこたえる 坂井 法暉

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1  
早稲田大学文学部 大日方研究室内  
1962年創刊

◇87 2014.5 B5 100p 1500円

《特集 総力戦と食ー近代日本における「食」  
の実態とポリティクス》  
特集にあたって 民衆史研究会委員会  
食をめぐる関係の動員 岩崎 正弥  
ー米食共同体と民衆  
戦時期における〈料理〉と〈栄養〉  
の相克ーラジオの婦人・家庭向  
け番組を中心に 村瀬 敬子  
総力戦下の外米輸入  
ー受容から脱却へ 大豆生田稔  
歴史学的課題としての食  
ーコメントにかえて 藤原 辰史

シンポジウム討要旨

環有明海地域における海辺寺院の  
存立ー肥前国藤津荘故地にみる  
竹崎島と観世音寺の関係から 貴田 潔  
書 評

西川広平著『中世後期の開発・  
環境と地域社会』 高木 徳郎  
映画から、何をどう読み取るか  
ー御園生涼子著『映画と国民  
国家1930年代松竹メロドラマ  
映画』を読む 鈴木 一史

新刊紹介 檜皮瑞樹著『仁政イデ  
オロギーとアイヌ統治』 児玉 憲治  
展示会短評 横浜都市発展記念館  
特別展示「港をめぐる二都物語  
ー江戸東京と横浜」 松谷 昇蔵

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会

〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1  
早稲田大学演劇博物館内 TEL03-3203-4141  
年6000円 1985年創刊

◇56 2014.3 A5 109+34p

南九州の神楽における荒神一箇牟  
田神舞の三笠舞と胞衣荒神をめ  
ぐって 井上 隆弘  
特化された楽奏者  
ー花輪ばやしと「芸人」 高久 舞  
石見神楽の誕生 山路 興造  
浅草木馬館史  
ー浅草大衆芸能の一側面(後) 兵頭 美子  
書 評  
亀井好恵著『女相撲民俗誌 越  
境する芸能』 黛 友明  
佐治ゆかり著『近世庄内におけ  
る芸能興行の研究ー鶴岡・酒  
田・黒森』 神田より子  
民俗芸能研究文献目録 平成23年  
伊藤純/西嶋一泰編

◆無形文化遺産研究報告 東京文化財研究所  
〒110-8713東京都台東区上野公園13-43  
東京文化財研究所無形文化遺産部  
TEL03-3823-2241 2007年創刊

◇8 2014.3 A4 270p

染織技法の分業に関する研究序説

菊池 理子

「栄二譜」続考—八世芳村伊十郎

氏所蔵自筆譜をめぐる 星野 厚子  
資料紹介

無形文化遺産部収蔵映像フィル

ムとそのデジタル化 佐野 真規

梅村豊撮影歌舞伎写真(5) 鎌田 紗弓

東京文化財研究所所蔵ニットー

長時間レコード 飯島 満

◆武蔵野 武蔵野文化協会

〒362-0011埼玉県上尾市平塚976-5

加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918  
年4000円 1918年創刊

◇353 (89-1) 2014.5 A5 96p

《特集 武蔵野と富士》

序 「特集・武蔵野と富士」の発刊

にあたって 樋渡 達也

「特集・武蔵野と富士」に寄せて 坂詰 秀一

富士山信仰からみる中世武蔵野び

との想い—鰐口・懸仏から 加藤 功

富士講隆盛以前の江戸における富

士信仰 大谷 正幸

志木市田子山富士塚の保存と史跡

指定 井上 國夫

富士塚築造にみる江戸庶民の富士

山崇拝と創造性—目黒新富士と

胎内洞穴を例に 横山 昭一

人穴碑塔群に見る武蔵富士講の願

い 渡井 一信

近世後期における甲斐市川陣屋役

人の「富士登拝紀行」 根岸 茂夫

明治維新と富士講 城崎 陽子

事例紹介 草加市域における富士

山信仰—ことに、瀬瀬崎村の富

士行について 今井 規雄

富士山へ詣でる道 木暮 中和

国指定重要有形民俗文化財 江古

田と長崎の富士塚について 島田 正人

東京都公立小学校校歌に見る「富

士山」 小川 一義

平成25年度総会報告 事務局

◆明治維新史学会だより

〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒

澤大学第一研究館 文学部歴史学科 小泉

雅弘研究室 2004年創刊 www.ishinshi.jp

◇21 2014.5 B5 12p

2014年度第44回明治維新史学会大

会の案内

〈2014年度明治維新史学会大会報告要旨〉

筑前気吹舎門人の幕末維新

—神職宮崎元胤を中心に 小田 真裕

長崎「海軍」伝習再考—幕府伝習

生の人選とそれをめぐる議論を

中心に 金 蓮玉

アメリカ北太平洋測量艦隊と幕末

日本—ベリ—艦隊との関連で 後藤 敦史

駿遠七藩の房総入封における新拠

点の開発と展開 堀野 周平

明治四年の制度取調 小幡 圭祐

2013年度第明治維新史学会秋期大

会記事

〈2013年度明治維新史学会秋期大会討議要旨〉

野村晋作氏「幕末の御親兵—その

制度と役割—」 藤田 正

山田裕輝氏「文久元・二年におけ

る長州藩士の海外渡航」 岸本 覚

中元崇智氏「板垣退助岐阜遭難事

件再考—新聞・顕彰運動・『自

由党史』—」 宮間 純一

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒154-8525東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒

澤大学第一研究館 文学部歴史学科 小泉

雅弘研究室 2004年創刊 www.ishinshi.jp

◇11 2014.4 B5 75p

万延・文久期の海軍建設—艦船・

人事・経費 金澤 裕之

大名華族の子弟教育

—越前松平康莊の自立への道 熊澤恵里子

公開講演記録 幕末・維新期の民

衆運動史研究の再検討 青木美智男

書 評

刑部芳則著『明治国家の服制と

華族』 浅見 雅男

福岡万里子著『プロイセン東ア

ジア遠征と幕末外交』 後藤 敦史

新刊紹介

箱石大編『戊辰戦争の史料学』 久住 真也

青山忠正著『日本近世の歴史6

明治維新』 三宅 紹宣

佐々木克・藤井譲治・三澤純・

谷川稷編『岩倉具視関係史料』

(全二巻) 中川 壽之

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011東京都文京区千石2-42-7

田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円

1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp

◇37 2014.3 B5 58p 2000円

フランス横浜郵便局の所在地の同

定 松本 純一

戦前の国内航空郵便線路の発着時

刻 行徳 国宏

特別報告 郵政博物館資料センタ

ーの開設について 井上 卓朗

資料紹介 旧刊紹介(11)

『郵便法規の諸問題』 鈴木 克彦

研究ノート

ブライアンのインキ壺・樋畑雪

湖の画・前島密の書簡 藪内 吉彦

中世スイス「州飛脚」の使者に

ついて 星名 定雄

切手導入時期の特別郵便制度—

スイス・チューリッヒの州内

郵便・特別割引制度を見る 吉田 敬

データシート 淀川大洪水 近辻 喜一

近刊紹介 切手画家 木村勝の遺

した資料—戦後切手1946~1961

星名 定雄

近刊紹介 澤まもる 郵趣反古集

近辻 喜一

◆洋学史研究 洋学史研究会

〒116-0014東京都荒川区東日暮里3-12-17

松本英治方 TEL03-3891-6482

年5000円 1984年創刊

◇31 2014.4 A5 126p

《特集 グローウニン事件解決200年》

グローウニン事件と日蘭関係 松本 英治

グローウニン事件とナポレオン情

報—わが国におけるナポレオン

情報の嚆矢 岩下 哲典

高田屋嘉兵衛とエトロフ場所 濱口 裕介

高田屋嘉兵衛とリコルド—『高田

屋嘉兵衛話』にみる智力・胆力

と信頼・友情 片桐 一男

改正増補『英和対訳袖珍辞書』の

手稿をもとにした編纂方法の考

察 三好 彰

書評 西澤美穂子著『和親条約と

日蘭関係』 塚越 俊志

特集 洋学史研究会創立30周年

洋学史研究会の過去と未来を語

る 片桐 一男

◆論集きんせい 近世史研究会  
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学文学部日本史学研究室気付  
TEL03-3812-2111 1978年創刊

◇36 2014.5 B5 68p  
近世後期の上方面における仕法改革  
と支配機構—天保三年の水油仕  
法の改革を巡って 若山 太良  
政治情報と献策—中井竹山の「松  
平定信」像 清水 光明  
近世畿内地主制史研究の成果と課  
題—地主経営論の観点から 萬代 悠  
近世史研究会活動報告

◆小田原史談 小田原史談会  
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18  
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円  
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇237 2014.4 A4 28p  
狭山北条氏と菩提寺 今川 徳子  
キャンパスおだわら学習講座 公  
募型市民企画講座 歴史講座  
「小田原史談会セミナー」第5回  
5月31日(土)  
大河ドラマ『八重の桜』と時代考  
証 門松 秀樹  
小田原の郷土史再発見 老中大久  
保忠増夫人 寿昌院と寿昌梅 石井 啓文  
新会員紹介／会員の方へお願い—  
新規会員募集  
小田原大秘録(巻一から巻三まで  
の読み下し文)第七回巻二の四  
鳥居泰一郎  
相模の豪族・中村氏一族の館跡を  
訪ねて 居原田邦男  
小田原藩浅田兄弟の敵討  
『孝貞義鑑』散策(19) 鈴木 好  
平成26年度「小田原史談会」総会・

講演会のお知らせ／小田原史談  
会 史跡めぐり案内 早川から  
石橋を歩きますせんか  
初詣「深大寺」と「江戸東京たて  
もの園」を巡る 田中 豊

◆小田原地方史研究 小田原地方史研究会  
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21  
井上弘方 TEL0465-22-5862 1969年創刊

◇27 2014.5 B5 88p 950円  
北条氏直期の奉書型式虎印判状に  
ついて 梯 弘人  
元禄地震の掘り起こし—災害史と  
ローカル・ヒストリー 下重 清  
尊徳仕法にみる「分度」再検討—  
文政・天保期の「平均御土台」  
を考える 松尾 公就  
戦時下における提灯行列 井上 弘  
研究ノート 武蔵・相模国におけ  
る石橋供養塔の調査報告Ⅱ—石  
橋供養塔の造立と大山街道の関  
連性について 津田 守一  
書評 早田旅人『近代西相模の報  
徳運動—報徳運動の源流と特質』  
坂井 飛鳥

◆開国史研究 横須賀開国史研究会  
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11  
横須賀市政策推進部文化振興課内  
TEL046-822-9478 年1000円 2001年創刊

◇14 2014.3 A5 122p 800円  
口絵資料紹介・解説 『新工夫絵  
花火』木版多色刷り 個人所蔵  
田中 葉子  
『開国史研究』発刊にあたり 山本 詔一  
開国史講演会  
かわら版のなかのペルリたち 田中 葉子  
第一部 講演 山国会津の侍、

日本の海を守る—幕末会津藩  
海防史 野口 信一  
第二部 対談 野口信一／山本詔一  
史料を読む  
『横須賀繁昌記』を読む(4) 山本 詔一  
レポート  
異国船来航と炊き出しについて  
(2) 山本 慧  
開国の設計図—古賀謹一郎のペ  
リー対策上申書 今津 浩一  
研究会一年の活動 事務局

◆神奈川地域史研究 神奈川地域史研究会  
〒236-8501横浜市金沢区六浦東1-50-1  
関東学院大学経済学部 田中史生研究室  
TEL045-786-7833 年4000円 1984年創刊

◇31 2014.5 B5 61+10p 3000円  
\* 休刊  
2013年度総会研究報告「有光友學  
先生を偲ぶ会」  
総会研究報告要旨  
研究と教育を語る  
有光友學先生の研究と教育 阿部 浩一  
神奈川地域史研究会と有光友學  
氏  
有光先生の思い出 高野 修  
有光先生の思い出 千葉真由美  
甲斐武田氏遺臣志村氏の軌跡—八  
王子千人同心頭、そして加賀藩  
士の家へ 伊藤 一美  
指導書からみた歴史教育 永井 肇  
書評  
小田原近世史研究会編『近世南  
関東地域史論—駿豆相の視点  
から』 千葉真由美  
小田原近世史研究会編『近世南  
関東地域史論—駿豆相の視点  
から』 小酒井大悟

例会記録・例会参加記  
2012年11月～2013年11月  
2013年4月見学会参加記 大磯町  
郷土資料館企画展「大磯の災害  
—かつてこの地で起きたこと—」  
関口 康弘  
『神奈川地域史研究』総目録

◆かながわの民俗芸能  
神奈川県民俗芸能保存協会  
〒252-0312神奈川県相模原市南区相南2-6-  
37 TEL042-745-7478 年2500円  
1969年創刊 www.kanagawa-folklore.info

◇78 2014.3 A4 24p  
会長挨拶 創立50周年に向けての  
現状と課題 石井 一躬  
きらめくふるさと2013かながわ民  
俗芸能祭特集  
良き思い出となった芸能祭参加  
飯島 重一  
2013かながわ民俗芸能祭に参加  
して 三枝木信義  
きらめくふるさと2013かながわ  
民俗芸能祭に参加して 柴田 定満  
かながわ民俗芸能祭に出演させ  
ていただいて 鈴木 宏江  
民俗芸能祭で感じたこと 林 美禰子  
平成25年度神奈川県民俗芸能保存  
協会表彰式 表彰をいただいで  
岩本 章治  
民俗芸能散歩 川崎・鶴見の沖繩  
芸能 大城 康彦  
見学会参加記  
平成25年度の見学会 松岡 敬介  
小論・少考  
一人立ち三頭獅子舞の成り立ち  
を探る 高橋 裕一  
一人立ち三頭獅子舞の源流をた

ずねて 荒井 俊明  
 世附百万遍念仏の類似行事に関  
 して 角田 武頼  
 保存会だより 本牧の「お馬流し」  
 と木造祭礼船の復活 鶴岡 和彦  
 会員だより  
 篠笛のスヌメ（篠笛を育てて郷  
 土芸能を守る） 山田 隆司  
 新箸祝い 永田 泰祐  
 生麦の蛇も蚊もまつり 祖父川精治  
 椎葉村見学記／巡見より 小倉 咲葉  
 1930年代のサーカス 徳山 泰子  
 平成25年度新規入会団体紹介  
 金津流横浜獅子踊自己紹介 吉田 泰久  
 横浜雅楽会について 鈴木 豪  
 厚木市郷土芸能保存会について  
 山口 熱子

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10  
 NPOセンター鎌倉気付  
 メールボックス26  
 ◇10 2014.4 A4 2p  
 図書館と文書館 多和田真理子  
 文書館が欲しい シリーズ3  
 「マイクロバスで行く神奈川県  
 公文書館見学会」に参加して  
 ◇11 2014.5 A4 2p  
 鎌倉市平和都市宣言に出合って 浦野 昭子  
 2013年度事業報告  
 文書館が欲しい シリーズ4  
 文書館と市民  
 ◇12 2014.6 A4 2p  
 びっくり箱から飛び出してくる人  
 たち 本多 順子  
 「パヴロバ資料」市の寄贈方針白  
 紙か？

◆川崎研究 川崎郷土研究会  
 〒228-0023神奈川県座間市立野台3-18-22  
 星野仁方 TEL046-251-6845  
 1956年創刊  
 ◇52 2014.5 A5 78p  
 巻頭言 地域の履歴 星野 仁  
 追悼文  
 故村上直先生の学恩に感謝 鈴木 穆  
 一関東武士の肖像(続) 古野 栄二  
 中原街道の「カギ道」と小杉御殿  
 跡一直角に折れ曲がる歴史をさ  
 かのぼる 村田 文夫  
 二子村の成立と光明寺 鈴木 博  
 慶長二年十二月の「稲毛放鷹」と  
 「疱瘡」の記録異聞—江戸黄門  
 と医者田村安栖軒、家康の使者  
 永井彌右衛門 宮田 豊  
 川崎の地形から見た地名 對馬 醇一  
 六郷用水余聞 長島 保  
 中原街道の家並み(明治・大正・昭  
 和)—下小田中地区 羽田 猛  
 「菅の獅子舞」における天狗信仰  
 —修験道の天狗と民間伝承の天  
 狗 川崎 瑞穂  
 万石通しの主な用途 佐藤 行教  
 事業報告  
 平成25年度事業報告 長澤 敏郎  
 県外巡検報告 窯業を訪ねてパ  
 ートⅡ—常滑焼きを中心とし  
 て 高橋 明香  
 第1回市内巡検  
 安藤家長屋門と中原街道 武山 豊彦  
 第2回市内巡検  
 岡上—川崎の飛地 東原 信行  
 第3回市内巡検 府中—武蔵国府  
 跡・熊野神社古墳 東原 信行  
 第4回市内巡検 蟹ヶ谷古墳群 東原 信行  
 夏期講習会 中世の川崎—中世

川崎の文書を読む 東原 信行  
 会員研究発表 新百合ヶ丘と旧  
 小田急線跡について 星野 仁  
 コラム  
 国宝秋草文壺に魅せられて 藤岡 信夫

◆クロス 常民文化研究会

〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20  
 西海賢二方 年1000円 1979年創刊  
 ◇137 2014.5 B5 6p  
 文化的景観を歩く—葛飾柴又帝釈  
 天参道を寅さんと歩く(4) 西海 賢二  
 ◇138 2014.8 B5 6p  
 戦争体験の語りと戦争遺跡・遺物  
 時枝 務  
 熊・蝶と予兆 西海 賢二

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3  
 横浜開港資料館気付 TEL045-201-2169  
 年2000円  
 ◇64 2014.3 B5 4p  
 研究例会 第91回例会／総会・研  
 究例会 2014年度総会・第92回  
 例会／研究例会 第93回例会  
 情報ネットワーク 展覧会情報／  
 事務局からのお願い  
 シンポジウム「歴史災害を伝える  
 —“災害史”展示の現状と課題」  
 開催要旨  
 ◇65 2014.5 B5 4p  
 総会 2014年度総会／研究例会  
 第92回例会／巡見 山から海へ  
 —上町～汐入、横須賀の過去と  
 現在／次回予告 第93回例会  
 展覧会情報／新刊情報  
 お知らせ 第92回研究例会巡見に  
 ついて

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-  
 19-104 寺田兼方方 1980年復刊  
 ◇135 2014.4 B5 24p  
 私と考古学 鈴木 祝子  
 大和市宗昌寺の遺物(2) 伊藤 郭  
 心の考古学まで(7) 海について 古栗 祐慶  
 さば神社を考える(23) 西村堅一郎  
 「東京都埋蔵文化財センター」を  
 見学して 永野 博美  
 “晩秋のバスツアー”に参加して 加賀谷眞良  
 稲荷台地遺跡群の弥生集落と若尾  
 山遺跡探訪記 原 喜一郎  
 哀悼 磯崎彦四郎氏  
 「第31回藤沢市遺跡調査発表会」  
 を聴いて 西村堅一郎  
 初めて藤沢市遺跡調査発表会を聴  
 いて 矢部 智一  
 平成25年度 湘南考古学同好会  
 活動の記録 梶山 昇  
 13年藤沢市・隣接市町考古学関係  
 主要出版物一覧 伊藤 郭  
 第9回若手研究者を囲む勉強会  
 柄鏡形住居と円形住居—関東に  
 おける波及の差異 川島 裕毅

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会  
 〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21  
 井上弘方 1980年創刊  
 ◇72 2014.3 A5 16p  
 聞き取り 子どもたちに伝えたい  
 私の戦争体験—海軍特別幹部練  
 習生として特攻隊員に 話し  
 手：中江水哉  
 本会代表・飯田耀子が小田原市の  
 2013年度「市民功労賞」受賞  
 読者の感想 第71号の聞き取り

「子どもの頃に見た戦争」を読  
んで 長谷川郁子  
交流報告  
第29回戦災・空襲記録づくり東  
海交流会参加記 矢野 慎一  
交流会に参加して 矢野 暁  
続・地域で戦争を伝えるものを調  
べて(4) 空襲記念碑「青橋の  
機銃掃射痕」の移転 井上 弘  
書籍紹介 東海林次男編『平和を  
考える戦争遺物② ある兵士の  
歩み』  
書籍出版のご案内 『語り伝えよ  
う小田原の戦争体験』  
最近の『戦争と民衆』目次(第66  
号~第71号)

◆治水神・禹王研究 治水神・禹王研究会  
〒258-0026神奈川県足柄上郡開成町延沢  
110 大脇良夫方 2014年創刊 年3000円  
◇1 2014.4 A4 61p 1203円  
巻頭図版 広島「大禹謨」碑  
禹王(文命)遺跡の語る日本と中国  
の文化交流史 大脇 良夫  
京都御所「大禹戎酒防微図」の日  
本伝来の脈絡を垣間見る 王 敏  
治水神・禹王崇拜の広がり 水谷 容子  
2014年 広島禹王サミット開催 福谷 昭二  
報告  
佐東地区まちづくり協議会設立  
25周年記念式典 高橋 恒治  
中国、湖南・湖東・河南禹王遺  
跡の旅 植村 善博  
『呉越歴史と考古論集』における  
岫巖碑の研究 周 曙光  
日本禹王遺跡一覧 事務局  
禹王遺跡レポート  
潮音洞記念碑(山口県) 浅田 京子

加治川治水碑(新潟県) 木谷 幹一  
高須堤防築堤回向碑(茨城県)  
新居郡大町村用水加茂川益之  
口の石ふみ(愛媛県) 木谷 幹一  
大禹謨(秋田県) 植村 善博  
大禹之碑(宮城県) 植村 善博  
幸田露伴文学碑(東京都) 佐久間俊治  
禹王(文命)に関する文献紹介 事務局  
書評 大脇良夫・植村善博編著  
『治水神禹王を訪ねる旅』 関口 康弘  
第5回臼杵禹王サミットについて 菊田 徹

◆日本地名研究所通信  
〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10  
川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106  
1993年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~timeiken/  
◇78 2014.4 B5 6p  
新体制を目指して 谷川 彰英  
第26回熊本地名シンポジウム  
「谷川学」の世界 久野 啓介  
故・谷川健一先生と花礁に遊ぶ会  
—『谷川健一全集』完結のお祝  
いととも開催のご案内  
谷川彰英先生の「地名の魅力を語  
る」を聴く 折戸 義夫  
投稿 木村 尚則  
紙漉橋と泪橋 桐井 聡男  
第33回全国地名研究者大会  
日本列島からの発信

◆年報 首都圏史研究 首都圏形成史研究会  
〒231-0021横浜市中区日本大通3  
横浜開港資料館気付  
TEL045-201-2169 年2000円  
◇3 2014.3 A4 84p  
近世・近代移行期における真岡町  
の町政と在郷商人 中村 崇高

関東大震災後の海軍用地問題—横  
須賀における稲楠土地交換と海  
軍機関学校の舞鶴移転 高村 聡史  
戦後相模原における平和運動の萌  
芽—小林與次右エ門と大山郁夫  
の出会い 沖川 伸夫  
研究ノート 南湖院と女性医師—  
女性を最初に採用した病院につ  
いて 大島 英夫  
書評  
高嶋修一『都市近郊の耕地整理  
と地域社会 東京・世田谷の  
郊外開発』 西谷 直樹  
篠崎尚夫編著『鉄道と地域の社  
会経済史』 佐々木 聡  
鈴木芳行『首都防空網と〈空都〉  
多摩』 栗田 尚也  
横須賀市『新横須賀市史 別編  
軍事』 土田 宏成  
阿部勇・井川克彦・西川武臣編  
『蚕都信州上田の近代』 百瀬 敏夫  
首都圏形成史研究会活動報告  
第84回例会 報告要旨 実業教  
育・試験場と地域社会—戦前  
期埼玉県の事例 岡部 桂史  
第85回例会 報告要旨 昭和初  
期の東京郊外地域社会—風致  
協会の分析から 鈴木 智行  
第86回例会 報告要旨  
近代日本における野菜育種の  
展開—民間種苗業者の果た  
した役割 阿部 希望  
19世紀横浜の植物貿易につ  
いて 平野 正裕

◆扣之帳 扣之帳刊行会  
〒250-0021神奈川県小田原市早川60  
青木良一方 TEL0465-22-8852

年2500円 2003年創刊  
hikaenochou.world.cocacn.jp/mysite/  
◇43 2014.3 A5 100p 500円  
庶民本位に立つ小田原の近代教育  
づくり 金原 左門  
福住延吉さんのこと 岸 達志  
酒匂だより「小犬」 町田紀美子  
備中伊勢氏の御家老の家系「笠原  
晁氏」(その4 早雲画像) 今川 徳子  
わが街、私の松阪 田中 豊  
桜町の百姓金右衛門の隠居 尾上 武  
遊び道具 とく山たかし  
世界の海を行く(下) 本多 博  
風祭妙覚寺の題目塔 青木 良一  
始まりの人(7) 藤原惺窩(下) 茂木 光春

◆三浦一族研究 三浦一族研究会  
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11  
横須賀市政策推進部文化振興課内  
TEL046-822-8116 年1000円 1997年創刊  
www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0130/culture\_info/  
◇18 2014.3 A5 152p 800円  
口絵資料紹介・解説  
『三浦大助百六寿』下(部分) 真鍋 淳哉  
ごあいさつ 吉田雄/小林安雄  
総会記念講演 運慶と東国—浄楽  
寺諸像の日本仏教史上の意義 山本 勉  
相模国金目郷と武士たち—三浦氏  
と平塚市域を考えるうえで 落合 義明  
和田合戦800年記念シンポジウム  
基調講演 和田合戦から「和田  
鎌倉内乱」へ 伊藤 一美  
シンポジウム報告 事務局  
基礎講座「三浦一族 人物編3」  
第1回 三浦光村—武闘派の虚像  
を剥ぐ/第2回 三浦泰村—法治  
合戦の再検討/第3回 佐原光  
盛・盛時・時運—三浦一族の再

生／第4回 和田氏七代一政変を切り抜けた三浦和田氏／第5回三浦一族周辺の女性たち—中世家族史・女性史研究の最前線より 高橋 秀樹

調査報告 西岡虎之助著「豪族三浦氏の発展」の原稿調査に関する報告 真鍋 淳哉

史跡めぐり 平成25年度 第1回～2回 釧持 輝久

会津若松市訪問交流研修報告 会津若松市訪問交流研修に参加して 蒲谷 清

会員コーナー

和田義盛と一族 坏 三次

和田義盛にとっての元暦西海合戦 堀江 和義

北関東にもあった和田氏関連地 矢部 武司

三浦一族研究会 平成25年度史跡めぐりに参加して 佐々木 成

三浦一族関係文献目録(18) 中里 行雄

研究会一年の活動 事務局

#### ◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所  
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊

◇553 (47-1) 2014.4 A5 24p 350円

祭魚洞文庫に見る三陸地方の暮らし—「渡ノ波・流留塩田図解」を一例として 星 洋和

民具短信 ミニチュアの大神人形をつくる 青木 茂治

◇554 (47-2) 2014.5 A5 24p 350円

幟旗ふたたびはためく—映像記録作成による民俗文化財の保護 萩谷 良太

民具短信

比較民具が欠落を補う—風扇車(唐箕)を事例として 織野 英史

私のおしゃもじ考(7)—松尾芭蕉が「おくのほそ道」で詠った「月に輝くおしゃもじ様」その1 加藤 節男

◇555 (47-3) 2014.6 A5 24p 350円

明治の農具図(8)—『兵庫県農具図解』のなりたち 桂 眞幸

民具短信

葛飾区郷土と天文の博物館 常設展「かつしかのくらし」のリニューアル 堀 充宏

海が結ぶ世界—神奈川大学日本常民文化研究所展示室 佐野 賢治

神奈川大学日本常民文化研究所企画展「近藤友一郎和船模型の世界」 昆 政明

書籍紹介 民具は風土を語る—五十嵐稔著『民具探訪見聞記』によせて 佐野 賢治

#### ◆悠久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)  
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31  
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇135 2014.5 A5 122p 680円

《特集 伊勢参詣記》

エッセイ 温かき内院 鳥居 禮

旅日記にみる江戸の旅 金森 敦子

『伊勢参詣(宮)日記』にみえる芸能 岡田 芳幸

関東の伊勢参宮

—伊勢参詣記を中心に 杉山 正司

中世末期、九州からの伊勢参宮

—御師が記した参宮の諸相 久田松和則

『伊勢参宮按内記』にみる伊勢参宮構造の近世化—修験の参宮か

ら御師の参宮へ 千枝 大志

伊勢参詣曼荼羅について

—三井文庫本を中心に 清水 実

口絵解説 伊勢太々神楽講図絵 加藤 健司

八幡宮紹介

八幡竈門神社(大分県別府市)

新刊紹介 『家康公の時計』落合偉洲著／『房総の伊勢信仰』千葉県神社庁「房総の伊勢信仰」企画委員会編

#### ◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町1624-21  
加藤導男方 1984年創刊

◇70 2014.5 B5 59p

平成26年度を迎えて 加藤 導男

平成26年度定期総会開催

平成26年度全国歴史研究会新年会開催

山本五十六の人生を彩った人々 加藤 導男

科学技術立国日本と山川健次郎 堀江 洋之

鎌倉戦乱シリーズ(2) 山崎 宜晴

姫路城と城主たち 長尾 正和

いまふたたびの奈良へ—紅葉の名所正暦寺と静寂の尼僧寺院円照寺への旅 藤盛 詔子

会の日帰り旅行で案内した母の墓碑と子の墓碑 横山 忠弘

東海道五拾参次漫遊雑学記(2) 古谷 多聞

蕨山城址と周辺を巡る 山口 正枝

歴史一口メモ(31) 華族の巻(10) 前部 謙蔵

全国歴史研究会本部

冬季研究発表大会の報告

足利一族の名門吉良氏の興亡録(後) 竹村 紘一

武田信玄 三つの憂愁 高野 賢彦

不比等の出生伝承をめぐって(6) 石川 勝義

推理で楽しむ古代史第5回 景行・成務・仲哀三代は兄弟だった 蛭田 喬樹

平成25年度・秋の歴史散歩 玉縄城史蹟と大船周辺の古社寺を巡る

私と四国遍路(8) 齋藤 宗久

「小山田」歴史散歩下見記 丸山 雅子

追憶の大山街道柏尾道を歩く 加藤 慎一

神奈川歴史研究会 平成26年度《新年特別講演会》の報告

反骨の考古学会の巨星・森浩一先生の死を悼む 竹村 紘一

### 中 部

#### ◆郷土史 燕

燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会  
〒959-1295 新潟県燕市白山町2-7-27  
TEL0256-63-4131 2008年創刊

◇7 2014.3 A5 152p

吉田地区の狛犬を尋ねて(2) 大江 登

良寛の師・大森子陽について(2) 松澤佐五重

地域に根ざし発展してきた医業—富永草野病院三百年の歴史 丸山 幸男

「竹山日記」と竹山亨(とおる)—稀有にして貴重な内容の日記とその記録者の紹介 亀井 功

「竹山日記」と文明開化—蒲原で最も早く鬻ぎを切った男 亀井 功

古代遺跡の動態

—西蒲原地域を事例として 春日 真実

米納津地区、北小脇遺跡の地震跡について 本間 敏則

地藏堂町小川家の商人活動 塚本 智弘

史料紹介 国上地区の資料「国上寺文書」(1) 渋谷 啓阿

#### ◆郷土新潟 新潟郷土史研究会

〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15

伊藤善允方 TEL025-266-3076  
年4000円 1963年創刊  
◇54 2014.3 A5 117p  
居留外国人による新潟での借地を  
たどる(上) 青柳 正俊  
出羽への道(淳足柵・磐舟柵) 鰐淵 好輝  
『奥の細道』芭蕉は築地から新潟  
まで陸路を旅した—私の体験か  
ら 伊藤 善隆  
『双六で辿る北国街道』足跡を残  
した先人たち(1) 齋藤 倫示  
資料紹介  
伊藤家『諸日記帳』(1) 伊藤 雅一  
明治14年「高知新聞」に載せら  
れた新潟のすがたと人々(3) 石橋 正夫  
二枚の古写真 石塚 端夫  
女学校時代の思い出—小川千代  
さん・笹川玲子さんに聞く  
書籍紹介 田子了祐著『越後にお  
ける真宗の展開と蒲原平野』 菅瀬 亮司  
会の活動  
平成25年度春の史跡探訪旅行  
「会津若松鶴ヶ城戊辰戦争史  
跡を訪ねて」 渡辺 等  
第27回「会津と越後を語る会」  
会津若松大会 歴史の街会津  
若松を訪れる 石塚 端夫

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会  
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20  
長岡市立中央図書館文書資料室内  
TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊  
◇51 2014.5 B5 255p  
山古志地域の二つの山城について  
—大谷地城跡と小松倉城跡の概  
要 鳴海 忠夫  
横滝山廃寺と高志君 鰐淵 好輝  
三つ柏の変遷 新田 康則

『越後孝婦伝』をめぐる一考察 小熊よしみ  
悠久山の「柳之井」について 樺澤 幸子  
魚沼にみる近世長岡の関係資料 本山 幸一  
新潟県における諏訪神社の分布状  
況について 鷺尾 謙治  
富島と戊辰戦争  
長岡城奪還戦の一日 山岸 利光  
近代長岡人物誌 稲川 明雄  
明治政府の密偵になった長岡藩士  
櫻井虎太郎 荒川 将  
官立新潟師範学校へ進んだ旧長岡  
藩士族 古田島吉輝  
継之助・甥「牧野環」に関する小  
論 宮本 尊生  
『河井継之助傳』と曾祖父「肥田  
長三郎」(6)—『越佐名譽鑑』を  
めぐって 吉崎こずえ  
横行造を追う—「武士の娘」のバ  
ックステージ 青柳 保子  
田中長嶺の生地における動静 今井 雄介  
坂牧善辰の父善作と坂牧家の経営  
滝沢 繁  
石油鋳業家 清水常作 内山 弘  
本富けん夫人「庄屋の娘」の生涯  
野澤美代子  
関原の種痘医 木村謙哉 林 昇  
中越医療組合組合長・駒形淑太 星 榮一  
絵葉書から見る長岡市公会堂 田邊 幹  
もうひとつの「越路の秋」  
小金井良精の日記から 桜井奈穂子  
検証・長岡空襲(1) 星 貴  
国重文 越後二十村郷牛の角突き  
の習俗 その民俗学的、動物学  
的考察 広井 忠男  
長岡観光会館の概要と設備 長谷川浩一  
小復刻 『長岡郷土史』特集・戊  
辰戦争をめぐる(一)(昭和52  
年)掲載 八十里越路破記一戊

辰戦争長岡藩敗走の道を訪ねて  
巡見報告  
「新島八重と会津」をたずねて 今井 崇  
フェニックス大橋と信濃川・洪  
海川の景観 恩田 孝重  
開催報告  
第4回「長岡郷土史を読む会」に  
出席して 当銀 二良  
平成25年度 古文書解説講座 桜井奈穂子  
長岡市委託事業報告 近代資料の  
調査—「北越新報」記事にみる  
互尊文庫(1) 西 和美

◆まきの木 巻郷土資料館友の会  
〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1  
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊  
◇100 2014.4 B5 40p  
《第100号記念号》  
巻頭言—100号刊行の言葉 小林 新三  
郷土史「まきの木」百号を祝して 大上 喜彦  
「まきの木」百号を祝して 小島 一則  
巻史学会の七先人 亀井 功  
齋藤順作古文書筆写ノート群 亀井 功  
巻菱湖(3)—「宗源禅院」での書画  
会と開塾 磯島 達典  
文明のあけぼの  
—菅井甘露と成田順平 山崎 行夫  
小尾保重とその周辺(1) 山上 健  
鯛車が私におしえてくれたこと 野口 基幸  
良寛行脚 角田浜「長谷川四郎治  
(次郎)方」を訪ねて 江端 完治  
25年秋の視察研修旅行 山賀 誠  
平成25年 巻地区学会の動向／巻  
郷土資料館だより／巻郷土資料  
館 平成25年度事業

◆良寛だより 全国良寛会会報  
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文

化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262  
1978年創刊  
◇144 2014.4 A4 20p  
良寛遺墨解説(102)  
画賛「林暗暁梵響」 加藤 僖一  
新 良寛尊像つれづれ(6) 「良寛  
さん 遊ば」ブロンズ像 峰村  
哲也作 柳本雄司／加藤僖一  
折々の良寛(33)  
「愛語」について 長谷川義明  
平成26年度(第37回)全国良寛会出  
雲崎大会「予告」  
全国良寛会出雲崎大会  
歓迎のことば 廣橋 正房  
平成26年度(第37回)全国良寛会出  
雲崎大会〔参加登録〕総会・交  
流会・宿泊及び見学会のご案内  
良寛記念館 春の企画「語り継ぎ  
たい 良寛のお人柄」 2014年4  
月1日(火)～6月30日(月)  
追悼  
全国良寛会 斎藤信夫名誉会長  
追悼 斎藤信夫名誉会長 長谷川義明  
斎藤信夫名誉会長をしのんで  
加藤 僖一  
斎藤信夫名誉会長を偲ぶ 柳本 雄司  
斎藤信夫名誉会長のご逝去を  
悼む 加治 フミ  
斎藤信夫名誉会長を偲ぶ  
『定本 良寛書蹟大系』刊行  
の頃 反町タカ子  
追憶の中に 吉井 和子  
良寛 春の花のうた 素描 吉田 福恵  
良寛さんを敬慕して五十年に憶う  
川口 壽亭  
東京良寛会三十周年を迎えて 山本 良一  
『宇宙時代の良寛・再説—ホワイ  
トヘッド風神学と共に』に寄せ

て 延原 時行  
 版画でつづる良寛と貞心尼の世界  
 高山久美子作  
 トビックス NST開局45周年特  
 別番組『良寛さんの四季—やす  
 らぎと、やさしさと—』放送さ  
 れる 加藤 僖一  
 新刊紹介 『布留散策の良寛』大  
 沢桂二郎著、『今だからこそ、  
 良寛』樋口強著、DVD『わた  
 しの良寛』第三集、小説『野に  
 生きる良寛』高橋玲司著 柳本 雄司  
 会報・会誌のご紹介 「良寛さま」  
 第81号 岡山県良寛会、「にた  
 がた良寛」第59号 新潟良寛会、  
 「ふるまち良寛てまり庵通信」  
 第9号 加藤 僖一

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315富山県砺波市太田1770  
 尾田武雄方 TEL0763-32-2772  
 年3000円 1993年創刊  
 ◇44 2014.4 A4 6p  
 高岡市中田にある寛明石碑 尾田 武雄  
 越前金津町の太子堂 滝本やすし  
 滑川市笠木の犬岩不動模刻像 平井 一雄  
 第47回例会報告 池田 紀子  
 北陸石仏の会 第48回例会—白山  
 麓の石仏めぐり

◆北陸石仏の会研究紀要

〒939-1315富山県砺波市太田1770  
 尾田武雄方 TEL0763-32-2772  
 年3000円 1996年創刊  
 ◇11 2014.3 B5 60p  
 越前式唐風屋根付墓標について 三井 紀生  
 越中・飛騨の役行者石仏と蔵王権  
 現 平井 一雄

坂井市丸岡町の六十六部の石仏 滝本やすし  
 信州の石仏、石造品を訪ねて 北村 市朗  
 上市町の石仏 文山 純子  
 朝日町月山の庚申塔 川端 典子  
 法道仙人と陰陽道 尾田 武雄

◆北陸の民俗 北陸三県民俗の会年会記録  
 富山民俗の会・加能民俗の会・福井民俗の会  
 〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民  
 俗資料館内 富山民俗の会 1983年創刊

◇31 2014.3 B5 31+6p  
 《第37回北陸三県民俗の会年会記録 2013》  
 共通課題—古文書と民俗  
 古文書と民俗学 佐伯 安一  
 加賀藩史家の記録と口承文芸 藤島 秀隆  
 災害伝承と古文書資料—福井県  
 美浜町くるみ浦の滅亡伝承 外岡慎一郎  
 自由課題

富山県朝日町笹川における稲作  
 と地域住民の関係の変遷 土井 冬樹  
 能登に新しく生成した聖地・西  
 岸 由谷 裕哉  
 日記と民俗 記憶と記録の相関  
 —福井県美浜町菅浜 井上久  
 左衛門の聞き取りと日記 多仁 照廣

北陸三県の民俗研究動向  
 富山県の民俗研究動向 森 俊  
 石川県の民俗研究動向 前田 武輝  
 福井県の民俗研究動向 川波 久志

◆加南地方史研究 加南地方史研究会  
 〒923-0903石川県小松市丸の内公園町  
 小松市立博物館内 TEL0761-22-0714  
 1955年創刊

◇61 2014.3 B5 107p  
 『流聞軒其方狂歌絵日記』の中の  
 小松—既刊資料を検証する 山前 圭佑  
 越前濱住人の加賀への移住について

て 岡田 孝  
 「こまつにゆかりの人物伝」“岡山  
 誠齋”についての資料と補説 岡山 丕彦  
 [資料箱] から  
 「松本松雲堂関係資料」 正和 久住  
 小松の地藏尊などを訪ねて 犬丸 博雄  
 「曾良隨行記」は幕府日程に添っ  
 たもの—日光→伊達→平泉→酒  
 田→金沢→大垣 池端 大二  
 加賀飛脚 多智 守  
 百姓の持ちたる国の郡中御影通史  
 に於ける古文書「能美郡御影書  
 上写」の意義 小枝 俊弘  
 戦争と平和 福田 義光  
 加賀藩の「うどん」 綿抜 豊昭  
 追悼 多大の功績を残した大西勉  
 ・木下健次・関戸信次先生を  
 偲ぶ  
 大西勉先生を偲ぶ 山前 圭佑  
 木下健次先生を偲ぶ 竹下 一郎  
 関戸信次先生を偲ぶ 橋本 正準  
 大西勉さんを偲んで 犬丸 博雄  
 史料紹介  
 北国街道を行く(2)  
 —壬戌の道しるべ 山前 圭佑  
 文献でみる小松市域の城堡館 多智 守  
 最後の遺稿文(補填) 浅田 三郎  
 報 告  
 東日本大震災地石巻市・会津若  
 松市を訪ねた青空教室 橋本 正準  
 会員消息  
 活動報告  
 受贈図書  
 「こまつにゆかりの人物伝」  
 修正表 加南地方史研究会

◆加能民俗 加能民俗の会  
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1

石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236  
 年4000円 1950年創刊  
 ◇157 (12-15) 2014.3 A5 20円  
 私の山田屋小路と遊び 北島美紀子  
 白山市竹松町の民俗行事—田のお  
 歳暮まわりと紙もらい 真山 武志  
 昭和に聞いた年中行事—加賀市に  
 生まれて、現在は白山市に住ん  
 でいます 立花 玲子  
 ピョンピョンなど表現を重ねる野  
 兔の異名—曖昧さただよ野兔  
 の異名・特殊名 天野 武  
 会務報告

◆加能民俗研究 加能民俗の会  
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1  
 石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236  
 年4000円 1972年創刊

◇45 2014.3 A5 128p  
 金沢市の民謡—「船玉節」と「諸江  
 住吉おどり」 真山 武志  
 加賀・能登の建築儀礼と民俗に関  
 する考察(1) 宮本 眞晴  
 盆・暮における親の膳  
 —白山麓西谷小原の場合 天野 武  
 白山奥山人の源流域湧水利用のワ  
 サビ栽培—奥山人の複合生業の  
 一端 橋 禮吉  
 聖地・西岸—城端間を回避する巡  
 礼者について 由谷 裕哉  
 潟湖と樹木—河北潟沿岸の植樹と  
 燃料調達 大門 哲

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所  
 〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145  
 TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp

◇69 2014.4 A4 4p  
 飯田市歴史研究所 平成26年度事

業概要  
新刊案内 『飯田・下伊那の歴史』  
別冊 『描かれた上飯田—明治  
初期の地引絵図をよむ—』  
平成25年度研究助成報告会が開催  
されました 消防組・軍人会史  
料からみる座光寺村の近代

歴史に学び地域を訪ねる会  
史料館整理・管理部

これからも東山道 北村 安裕  
『飯田・上飯田の歴史』をふりかえ  
る会／飯田アカデミア第71講座  
戦国時代とは何だったのか？／  
歴史研究出前講座 地引絵図か  
らみる明治初めの上飯田／定例  
研究会／地域史講座 ガラス乾  
板写真から見える昭和の松尾

#### ◆伊那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048  
TEL0265-22-6017 年5500円  
◇1031 (62-4) 2014.4 A5 70p 700円  
《飯田長姫高校選抜高校野球大会  
全国優勝60周年記念特集》  
口絵 全国優勝の奉獻額 久保田卓男  
選抜高校野球全国優勝60周年を祝  
して 柴田 修身  
甲子園優勝60年回顧 中島 五月  
全国優勝60周年にあたり 斎藤 尚武  
飯田長姫高校の優勝まで  
試合経過  
対談 甲子園の思い出  
光澤毅／久保田卓男／原田望  
センバツ高校野球優勝の思い出 松村 政雄  
思い出の甲子園 久保田卓男  
雨蛙 片桐政夫「球魂」より  
甲子園のラッキーボーイ 小林 弘昌  
甲子園での思い出 滝戸 一市

忘れ得ぬ甲子園 櫻井 常治  
奇跡の優勝チームの端くれの一人  
として 吉川 廣  
甲子園の思い出 福井 重三  
日本一小さな応援団 上原 政起  
長姫高等学校野球部優勝の思い 原田 米俊  
熱球賛歌 忘れ得ぬ歓喜の思い出 木村 昌之  
あの日、感動の思い出 原 董  
「飯田ながひめ高校」の奇跡 堀口 英二  
忘れられない記憶 赤羽 悦子  
◇1032 (62-5) 2014.5 A5 50p 550円  
《考古学特集》  
口絵 恒川遺跡群の正倉建物 坂井 勇雄  
科野にみる古墳中期の鉄鏃 桐原 健  
特別な母の顔を持つ縄文中期土器  
—高森町吉田本城遺跡出土顔面  
把手 神村 透  
国指定史跡 恒川官衙遺跡の概要 下平 博行  
東山道と伊那郡家 北村 安裕  
「恒川官衙遺跡」の国指定史跡に  
寄せて 小島 稔  
恒川清水について思うこと 今村 作衛  
恒川遺跡に思いを寄せた先輩方  
—信濃毎日新聞特集記事から 小林 正春  
平成25年 下伊那考古学年報 小林 正春  
◇1033 (62-6) 2014.6 A5 50p 550円  
口絵 浪合神社勅使参向の碑建碑  
式参列を伝える富岡鉄斎の書翰 今牧 久  
下伊那の町村札・商品札(1) 伊坪 達郎  
樽木運材にかかわった信州代官の  
動向—磐田市秋鹿家文書 松澤 保  
江戸時代における三遠南信地域の  
人々の交流—新野村に移住して  
きた住民を通して 塩澤 元広  
上郷小学校の校歌作曲者 桜井 誉

人(鼎・加苗)について 中島 正韶  
各町村史学会の動き 豊丘史学会  
の総会／毛賀史学会の総会／下  
條史学会の総会

#### ◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2  
TEL0265-78-6719 年5000円  
◇687 (58-4) 2014.4 A5 40p 500円  
《伊那の石工と石造物 特集号》  
伊那地域の石造物の石工たち 竹入 弘元  
高遠石工守屋貞治の石仏  
—伊那市以北 清水 満  
『伊那路』に掲載された伊那谷石  
工関連の論考  
高遠石工守屋家三代百年の足跡現  
地見学会—貞七～孫兵衛～そし  
て貞治 上伊那郷土研究会  
石仏写真展での感想  
高山の植物(18) コイチヨウラン  
南アルプスで見かけた植物(6) 田中 茂  
文化短信 早春の妖精・カタクリ 吉田 保晴  
古文書の窓(116)  
家出人尋出につき請書 春日 博人  
師匠の背中(2)より(66)  
「見た」「見られた」 若林 徹男  
会員の著書紹介 『伊那の勘太郎』  
—ある信州教育の回想 大槻武  
治著 信州教育出版社刊 編集部  
◇688 (58-5) 2014.5 A5 40p 500円  
《南アルプス国立公園50周年記念特集号》  
南アルプス国立公園50周年に寄せ  
て 春日 博実  
南アルプスが国立公園となるまで  
の経緯 矢澤 静二  
大正期の南アルプス自然調査記録  
を読んで(1)—自然研究10年の

歩みを中心に 春日 博人  
矢島忠三郎氏の東駒ヶ岳登攀録を  
読んで 山岸 貢  
『尊王攘夷水戸浪士始末』にもあ  
った松島止宿の宿割り 矢澤 喬治  
日本の子育て(9)  
かわいい子には旅をさせろ 大槻 武治  
井月句からの子どもスケッチ(2)  
—井月カレンダーより 太田 光子  
高山の植物(19) オオヒョウタン  
ボク 南アルプスで見かけた植  
物(7) 田中 茂  
文化短信 『落原拾葉』に見る南  
アルプスに関わる記録 伊藤 一夫  
◇689 (58-6) 2014.6 A5 40p 500円  
阪本天山勒銘石記念碑と小出の人  
々 唐木 勉  
東春近村の、大正時代の2人の政  
治家「野溝伝一郎」と「戸田由  
美」 北原 昌弘  
大正期の南アルプス自然調査記録  
を読んで(2)—赤石山系植物実  
地調査の日録を中心に 春日 博人  
上伊那えびす講—辰野町宮木地区  
の代参を中心に 北原 利雄  
日本の子育て(10)  
子どもの喧嘩に親が出る 大槻 武治  
高山の植物(20) レイジンゾウ  
南アルプスで見かけた植物(8) 田中 茂  
古文書の窓(117) 「御廻状写帳」  
から—高札と江戸回米 三浦 孝美

#### ◆伊那民俗

柳田国男記念伊那民俗学研究所  
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655  
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
年3000円 1990年創刊  
◇96 2014.4 B5 8p

表紙 祝儀物を扱う店／飯田町の  
葉屋の店内 松上 清志  
飯田町に伝わるすまいの知恵—マ  
チ家の調査からわかってきたこ  
と 松上 清志  
入門講座第Ⅱ期 柳田国男入門  
(第2～3回) 福田アジオ所長講  
演要旨 第2回「山人・山民の  
民俗学」(2013年12月17日) 今井 啓  
吹雪の事念仏を訪ねて  
—飯田市上久堅久保 今井 啓  
書評  
『天狗の走り路—伊那谷民俗の  
旅—』塩澤一郎著 川辺書林  
今井 啓  
『日本の心を伝える 年中行事  
典』野本寛一編 岩崎書店 北原いずみ

◆伊那民俗研究  
柳田国男記念伊那民俗学研究所  
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655  
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
年3000円 1990年創刊  
◇22 2014.5 A5 124p  
小特集 財団法人民俗学研究所の  
時代  
特別寄稿  
民俗学研究所解散の前後 酒井 卯作  
特別インタビュー 歴史学者  
石井進氏に柳田国男について  
聞く 篠原徹／福田アジオ  
解説 財団法人民俗学研究所の  
時代 福田アジオ  
書誌・年譜研究ノート  
柳田国男『故郷七十年』のテク  
ストとしての問題 飯澤 文夫  
柳田国男新年譜作成作業と『故  
郷七十年』一年譜新事項と「故

郷七十年」校正原稿資料 小田 富英  
調査ノート 天龍村坂部の九月の  
祭と神子入り—霜月神楽を支え  
る神子の習俗 櫻井 弘人  
レポート 時空を紡いで—「柳田  
國男と山崎珉平・矢田部良吉」  
を受けて 田中 正明  
訂正 「柳田國男と山崎珉平・矢  
田部良吉」 島村 利雄  
伊那民俗学研究所  
活動報告 (2013.4～2014.3)

◆上田盆地 上田民俗研究会  
〒386-0014長野県上田市材木町1-2-47  
上田市立図書館内 TEL0268-22-5999  
1959年創刊  
◇42 2014.3 A5 82p  
結婚式と宗教 益子 輝之  
婚姻の民俗 酒井 佐  
自宅座敷で婚礼(昭和三十年頃ま  
での結婚式) 長岡 克衛  
料理屋の結婚式 宮本 達郎  
生活改善と公民館結婚式  
『浦里村報』『川西時報』から 丸田ハツ子  
神科地区の公民館結婚式 川上 元  
塩尻村における慶事控帳にみる明  
治期の結婚 佐々木清司  
雄蝶雌蝶の思い出 香山 裕  
結婚式の思い出 宮澤かほる  
結婚式の披露宴の料理 田原 ケイ  
—仕出し店からみた変遷 関 二三雄  
天気の話からみた上田の気象  
表紙写真 大正・昭和の結婚式記  
念写真(上田市塩川 田中純子  
さん提供)

◆史学 義仲 木曾義仲史学会  
〒390-1401長野県松本市波田5904-5

千村清文方 TEL0263-92-6815  
年3500円 1999年創刊 shigakukai.hyu.jp  
◇15 2014.4 A5 115p  
今井弘幸前会長のご逝去を悼む 松原 重雄  
写真でつづる 今井弘幸前会長と  
ともに歩んだ当会の15年  
今井弘幸前会長遺稿  
木曾義仲悲劇／隠岐へ旅して  
義仲と行動を共にした源義広 梅田 賢一  
駒王丸(義仲)の乳母夫兼遠と知ら  
れざる嫡子兼貞の存在 井上 正明  
ひとくちメモ  
弓の清水(富山県高岡市)  
地名根々井(根井)由来の一考察 根井立比古  
「木曾の石高事情」概要 高坪 守男  
木曾義仲及び、義仲にまつわる歴  
史的伝承地は詩歌としてどのよ  
うに詠まれているか(2) 楯 英雄

◆信濃 信濃史学会  
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607  
TEL0263-36-1785 年8400円  
www.shinano-shigakukai.jp  
◇771 (66-4) 2014.4 A5 80p 900円  
五世紀に観る科野の政情 桐原 健  
「右大將家善光寺御隨兵日記」の  
成立とその背景(上) 石川 勝義  
信州塩田平の風穴 橋詰 洋司  
研究の窓 童画家 武井武雄の生  
家について 武井 新彦  
史料紹介 『下河田検地帳』二点  
(下)—真田信幸の沼田領文禄二  
年検地 丸島 和洋  
◇772 (66-5) 2014.5 A5 80p 900円  
「松本城の世界遺産登録推進事業」  
の現状と課題 青木 教司  
埼玉古墳群と『記紀』との照合一  
無文字文化の代表を世界遺産に

柳沢 賢次  
犬養毅と南北朝正閏問題(上)  
—内田周平宛書簡を中心に 桂木 恵  
「右大將家善光寺御參詣隨兵日記」  
の成立とその背景(下) 石川 勝義  
書誌紹介 三上徹也著『縄文土器  
ガイドブッカー—縄文土偶の世界  
—』 桐原 健  
◇773 (66-6) 2014.6 A5 78p 900円  
《隣県特集号  
隣県地方史学界の動向—平成25年(2013)》  
富山県地方史研究の動向  
古川知明／松山充宏  
／尾島志保／森俊  
山梨県地方史研究の動向  
野代恵子／西川広平／高橋修  
新潟県地方史研究の動向  
石原正敏／浅井勝利／前  
嶋敏／渡部浩二／田邊幹  
群馬県地方史研究の動向  
深澤敦仁／森田真一／丑木幸男  
岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓  
埼玉県地方史研究の動向  
石坂俊郎／新井浩文／実松幸男  
長野県地方史研究の動向  
櫻井秀雄／福島正樹  
山崎会理／田玉徳明

◆長野 長野郷土史研究会  
〒380-0905長野市七瀬南部14-7  
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊  
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/  
◇294 2014.4 A5 48p 700円  
新出・加舎白雄書簡  
—安永九年十二月の動向 矢羽 勝幸  
抱月・須磨子の遺したもの  
—芸術座再評価へ 石川 利江  
明治30年代に知られていた日本の

スキー—五稜郭・田口尋常高等  
小発見の教科書 白田 明  
夏目漱石と信州(9)  
先祖は信州の夏目氏 中田 敬三  
連載コラム  
郷土史の視界(2) 信州人が書  
いたという『人国記』 小林 一郎  
長野と全国各地の繋がりに  
名古屋港善光寺の額装の善光  
寺縁起とお戒壇巡り 小林 玲子  
生きた町の歴史を知ろう(2)  
富岡製糸場、世界遺産へ 小林竜太郎  
出版 『実伝真田幸村』火坂雅志  
編、『善光寺名所図会』を歩く』  
善光寺街道協議会編  
◇295 2014.6 A5 48p 700円  
『義民茂左衛門一代記』の絵紙 久野 俊彦  
特集 善光寺参り絵解き図  
いよいよ始まる善光寺参りの絵  
解き 小林 玲子  
善光寺参り絵解き図に期待する  
もの 小林 一郎  
絵師として描写に込めた想い  
尾頭/OZ/山口佳祐  
善光寺参り絵解き図制作プロジ  
ェクトの会合とその後 小林 玲子  
善光寺参り絵解き図 制作工程  
尾頭/OZ/山口佳祐  
夏目漱石と信州(10)  
中村不折と岩波茂雄 中田 敬三  
七二会 古代へのロマン 太田 正彦  
連載コラム  
郷土史の視界(3) 仏都長野の往  
生伝『妙唱往生記』 小林 一郎  
長野と全国各地の繋がりに  
親鸞聖人直拝の専修寺の光  
三尊仏 小林 玲子  
生きた町の歴史を知ろう(3)

北陸新幹線延伸と善光寺参り  
絵解き図 小林竜太郎  
出版 『論集 戦国大名と国衆13  
信濃真田氏』丸山和洋編、『論  
集 戦国大名と国衆14 真田一  
門と家臣』丸山和洋編、『長沼  
の石造仏』長沼歴史研究会編・  
発行、『ナウマンゾウと一茶—  
北国街道とそれ以前の道—』野  
尻湖ナウマンゾウ博物館・一茶  
記念館編・発行、『藤田能登守  
信吉』志村平治著  
「長野」創刊号～第295号  
発行年月一覧

#### ◆長野県民俗の会会報

〒390-0851長野県松本市島内3427-45  
小原稔方 年5000円 1978年創刊  
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/  
◇36 2014.3 A5 76p  
森神信仰の周辺—ニソの杜と祝い  
殿・祝い神・先祖祭り 金田 久璋  
木に上る「はなし」—木に上るの  
には理由がある(2) 倉石 忠彦  
七夕人形と紙衣のルーツ 木下 守  
道祖神盗みの実相—長野県・中南  
信地方の事例より 小幡 麻美

#### ◆長野県民俗の会通信

〒390-0851長野県松本市島内3427-45  
小原稔方 年5000円  
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/  
◇241 2014.5 B5 8p  
パソコンで民俗地図を作る 福澤 昭司  
齋宮のいろは歌 桐原 健  
名号塔に見る松本市域における徳  
本上人の足跡(1) 木下 守

#### ◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜市大宮町2-18-1 岐阜公園  
内 TEL058-265-0010 1985年創刊  
◇86 2014.4 A4 8p  
企画展「タイムスリップ!大昔の  
暮らし」  
企画展「ものが語るみの・ひだの  
歴史」  
特集展示(2F総合展示内)  
「戦後復興と人々の暮らし」  
特集展示「瑞龍寺中興 隠山禅師」  
博物館ニュース 館藏品図録『提  
灯—資料選集—』を発刊/ため  
きの糸車スペシャルデイズ  
加藤栄三・東一記念美術館「加藤  
栄三・東一 花・はな展」  
加藤栄三・東一記念美術館「加藤  
栄三・東一の心に映った それ  
ぞれの鶏飼」  
平成25年度受贈資料/分館 加藤  
栄三・東一記念美術館の展示、  
特集展示、分室 柳津歴史民俗  
資料室の展示  
館蔵資料紹介 日本画「古い壺」  
加藤東一(1916~1996)

#### ◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-2-1  
岐阜県図書館内 TEL058-275-5111  
年2800円 1973年創刊 www.library.pref.  
gifu.jp/dantai/kyosilen/k\_index.htm  
◇121 2014.3 B5 28p  
都市としての高山と飛騨高山まち  
の博物館 牛丸 岳彦  
信長が岐阜城攻略の拠点としたの  
は何処か—軍立の場としての聖  
徳寺 鬼頭 勝之  
関市下之保の大字地名由来 土屋 一

岐阜県における学齢児童に対する  
就学支援 昭和初期(元年~10  
年頃)を中心に 黒田 隆志  
上木屋甚兵衛 新島からの手紙  
(上)—士・農・工・商に高下御  
座無く候 林 格男  
明和治水と長良川 木村 稔  
書窓の風  
岐阜 岐阜城信長居館跡出土の  
金箔飾り瓦 内堀 信雄  
東濃『山なみ遙か石ほとけの道  
中馬の里』から「岐阜県で活  
躍した石工たち」を調査を 桃井 勝  
郷土関係新刊書目録(106)  
郷土関係逐次刊行物文献目録(105)

#### ◆美文会報 美濃文化財研究会

〒509-0124岐阜県各務原市鷯沼山崎町9-  
101 横山住雄方 TEL058-384-1983  
◇519 (14-4) 2014.4 B5 8p  
天文前期の仁沢宗彦と大縣神社・  
定福寺 横山 住雄  
明治15年の木曾川流送の「諸荷物  
通送証券」一枚 安藤 弘文

#### ◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所  
〒438-0086静岡県磐田市見付3532  
TEL0538-32-3546 2007年創刊 年2000円  
www4.tokai.or.jp/~child-c-j/  
◇84 2014.5 A4 6p 300円  
混乱の千本釈迦念仏 吉川 祐子  
◇85 2014.6 A4 4p 300円  
山梨県甲州市の「一之瀬高橋の春  
駒」見物記 高橋 健一

#### ◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836

静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室  
年4000円

◇427 2014.4 B5 4p 100円  
4月例会レジュメ 日本はなぜ開  
戦に踏み切ったか 「両論併記」  
と「非決定」 森山 優

米軍による「富士山接収」をめぐ  
って 小池 善之

2月例会の小池報告から  
紹介 『静岡県史』資料編29

近現代八(富士山静岡空港) 川上 努  
◇428 2014.5 B5 4p 100円

5月例会レジュメ 戦後静岡県に  
おける戦没者慰霊一占領期から

1960年代まで 千地 健太  
会報(第39号)原稿を募集します

『しずおかの女たち 第8集 特集  
市原正恵の残したもの』 大塚佐枝美

◇429 2014.6 B5 4p 100円  
富岡製糸場と静岡藩出身者 樋口 雄彦

下田区裁判所刑事裁判資料(1877  
~1881年)を読む 橋本 誠一

新刊紹介 『福田町史資料編VI  
近世・近現代(続)』 川上 努

#### ◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-6-101  
web.thn.jp/s-folklore/

◇151 2014.4 A4 6p  
平成26年度 総会・大会案内/第

2回 2月例会 研究発表・卒論  
発表会報告

私の記憶の中の民俗一昭和25~40  
年の志太郡相川村 油井 正明

シリーズ食(27) 甘口がんも 外立ますみ  
静岡の民俗語彙・方言短信

ドンボ/サカイボリ 外立ますみ

#### ◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2  
富士市立博物館内 Tel.0545-21-3380

1965年創刊

◇68 2014.4 B5 143p

表紙解説

富士山と山部赤人の歌碑 加藤 昭夫

巻頭言 富士山の世界文化遺産登

録に思う 加藤 昭夫

吉原宿と江尻宿の比較研究 渡辺 誠

甲子講顛末記 吉村 貴彦

昔の富士山表登山口 和田 嘉夫

生活の中の数学(1) 渡邊 照好

平維盛伝承(富士宮市)に関する一

考察 松葉屋幸則

愛鷹山の野馬と牧 矢崎 巖

比奈古郡系図の研究

一古郡加嶋代官の祖 高田 國義

『富士郡田子浦村誌』を書いた鈴

木長太郎氏 加藤 昭夫

六地藏六角灯笼の考証 石川 健三

満蒙開拓青少年義勇軍 富士小隊

に関する資料(3) 加藤 善夫

道祖神入門編(3) ふるさとの道

祖神・富士宮編 松野 紀一

会議(総会・理事会・事務局会議・

各専門部等)の活動報告 渡辺 政夫

#### ◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1

Tel.052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇242 2014.4 A5 24p

社頭だより 記念講座「ヤマトタ

ケルと熱田神宮」

#### ◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会

〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1

刈谷市中央図書館内 Tel.0566-25-6000

1980年創刊

◇35 2014.3 A5 101p

文化講演会1 五條における天誅組

一 二日間の新政府 舟久保 藍

文化講演会2

村上文庫資料の魅力 高木 浩明

西中神明社南遺跡について 伊藤 利和

幕末刈谷藩 洛西上嵯峨出兵 三ツ松 悟

野田八幡宮神主 榊原宣安 山田 孝

「天誅組と刈谷」2004~13年 鈴木 哲

松本奎堂辞世の歌の秘密 鈴木 哲

新美南吉 徒然考 酒井 豊

刈谷偉人伝(4) 森銚三と森三郎

兄弟一ふるさと刈谷で生まれた

固い絆 竹中 兼利

稲垣光子さんを偲んで 竹中 兼利

市内研修会 熊地区安養寺・熊野

神社を中心に 竹中 兼利

県内研修会 吉良の文化財・遺跡

めぐり一東条城跡・華蔵寺・正

法寺古墳・国宝金蓮寺弥陀堂 長瀧 秀雄

平成25年度の歩み・平成26年度予

定

#### ◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会

〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜

字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内

Tel.0569-65-2880 1966年創刊

◇97 2014.5 A5 84p 500円

表紙解説

岩屋中之院俳句碑の刻印 高田 祐吉

昭和35年 篠島・日間賀島の植物

一鷹羽専八さん・大河内章さん

の卒業論文より 森田 博文

権田耕平編輯『遊符』(仮書名)一

南知多の内容を中心に(明治~

大正初期の図会・写真集紹介3)

永田 文夫

明治28・29年 知多郡味噌醬油醸

造業の南知多 大岩 隆

日露戦争(明治三十八年戦役)(2)

一内海町からの出生兵士の記録

より 松本 亀男

兵隊二年(2) 内田 辰男

ハルマヘラ島従軍記 余話 内田 白花

南知多町の挨拶運動について(2)

一挨拶放送の抜粋 内田 恒助

幡豆神社 南知多町誌

本能寺の変

一日記からその経緯を探る 安原 俊実

豪商前野小平治の忘れ形見「紫か

たばみ」 大岩 義昌

三井氏 花のお江戸へ大旅行

「三井家文書」天保拾四年 江

戸行 旅中日記帳 卯七月九日

出 三井新太郎より 永田 久則

知多地名譚(4)

松と地名こもごも 加藤喜代吉

南知多の人 海上交通の発展に尽

くした人々 中村 祥

#### ◆年報 中世史研究 中世史研究会

〒464-8601名古屋市中種区不老町

名古屋大学文学部日本史学研究室気付

Tel.052-789-2228

◇39 2014.5 A5 200p

治承・寿永内乱期の戦時体制と平

宗盛 前田 英之

承久の乱後の京都と近衛家実

一 九条道家政権復帰の前提 井上 幸治

戦国期美濃国における後斎藤氏権

力の展開 石川 美咲

鳥羽金剛心院領ノート 遠藤 基郎

南北朝期における書状形式の軍勢

催促状に関する一考察 松本 一夫

発給文書にみる戦国期六角氏の権

力編成 新谷 和之  
戦国期斯波氏の基礎的考察 谷口 雄大

◆文化誌 碧 碧の会

〒446-0013愛知県安城市東別所町戌新畑1-53 河村方 TEL0566-76-0204 2001年復刊  
◇32 2014.5 B5 30p 500円  
攪拌・泡立て器について 粕渕 宏昭  
思い出すまに 八重田和久  
特集「河村和男・砂村洋さんを偲ぶ」  
亡き夫を偲んで 河村恵美子  
祖父・河村和男を偲ぶ 人見 創太  
弔 辞 米川 五郎

◆蓬 左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市東区徳川町1001 TEL052-935-2173 1980年創刊  
housa.city.nagoya.jp  
◇88 2014.3 A4 8p  
平成26年4月12日～5月25日 展示  
室1・2 徳川美術館 春季特別展 歿後250年記念 徳川宗春  
平成26年5月31日～7月13日 展示  
室1 尾張徳川家の若君・姫君  
／展示室2 名古屋まつりと山車揃え  
平成26年7月16日～8月31日 展示  
室1・2 蓬左文庫・徳川園新装オープン10周年記念 大曾根御殿と徳川光友  
平成26年9月3日～9月28日 展示  
室1 墨の美術一黒の世界／展示室2 第一次長州征伐と尾張藩

『尾張名所図絵』と『清須総図』 木村 慎平  
也有と宗春 交錯する人生 松村 冬樹

表紙 尾張戴公御家訓(温故知新)  
江戸時代(18～19世紀)写

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25 TEL0567-37-0441 年5000円  
◇571 (54-3) 2014.5 B5 8p 600円  
新刊紹介 高志路第391号 特集:  
新発田市滝谷新田共同探訪  
新潟県民俗学会  
群馬・駒岩の獅子舞 石川 博司  
みどりの糸 井上 隆弘  
ユネスコ無形文化遺産保護条約  
「代表一覧表」の2015年サイクルの提案書(提出)文化庁  
表紙写真のことは 吹浦祭り  
山形県飽海郡遊 5月4～5日 渡辺 良正

◆皇學館史学 皇學館大学史学会

〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704  
皇學館大学文学部国史学科研究室  
TEL0596-22-6456 1986年創刊  
kokushi.kogakkan-u.ac.jp  
◇29 2014.3 A5 67p  
「明王贈豊太閤冊封文」をめぐって 荊木 美行  
『続日本後紀』と年中行事 多田 圭介  
彙報 皇學館大學史學會平成25年度活動報告

近 畿

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団

〒520-0044大津市京町4-3-28 滋賀県厚生会館 TEL077-522-8369 年2520円  
1977年創刊 www.shiga-bunshin.or.jp  
◇147 (38-2) 2014.4 B5 92p 584円  
《特集 現代・滋賀の歌》  
「琵琶湖就航の歌」に魅せられて 飯田 忠義

近江商人の気風がにじんだ節と囃し、歌と踊りで一体感味わう

江州音頭 松本 敦三  
6月の一、今津は就航の歌一色の町に 小学生から高齢者まで湖を慈しむ心伝える 琵琶湖就航の歌 村井 佳子  
親しめる半面、唄いこなすのにウデがある そこが魅力 淡海節 二柳 啓蔵  
小中学生対象に唄の学習塾 民謡の全国大会で歌われる 鈴鹿馬子唄 宇野万里子  
「懐かしのわがまち ふるさとのうた」  
郷土の歌を合唱 近江八幡市でふるさとの歌を歌う集い／伊香郡の歌／歌碑を巡って琵琶湖を回る  
四季をめぐる健康食 春編  
食事から健康長寿をめざして  
インタビュー・湖と生きる(6)  
音楽ユニット ～Lefa～ (北川陽大・河野弘行) 植田 耕司  
天下人「信長」の実像(2) 自筆と右筆 人間味あふれた自筆の感状 高木 敏子  
元気な商店街その魅力(4) 古民家を改修して子育て世代を応援 魅力的な町づくりで活性化を図る 能登川共盛会協同組合  
新連載 シリーズふるさと遊彩(1) 番場 田中陽一郎  
談話室(15) 大輪のバラの魅力 國枝バラ園(守山市) 國枝武夫  
滋賀文化事情 緊急報告  
伊吹山「入山料」導入へ 編集 室  
近江人物伝(19) 花登笹 30年間

で執筆した脚本総数6000本 木村 至宏  
近江の水をめぐる(6)  
結(ゆい)の水、集いの水 石川 亮  
わたしと湖国(5) 湖北の観音信仰、県域で広がるアール・ブリュット 生田ちひろ  
歴史文書は語る 県政史料室から(11) 彦根測候所と筒井百平 災害データから黒点まで幅広く観測 前原あやの  
北から南から  
元気よく百人一首かるた取り合う 門野 昇二  
虎御前山城跡で信長の調略を考える 山田 勝彦  
「鬼はしり」が時を越え地域に息づく 野口 観道  
大津市田上に伝わる伝統の味「菜の花漬」 赤尾 和美  
薪ストーブ、おくどさん  
昔暮らしを楽しむ 熊谷 もも  
発酵食品のパワー求めて行列 清水 貴子  
白い恋人たち、今シーズンも 長井 泰彦  
ニュースの小箱  
現代滋賀ブランド(14)  
ロングトレイル県境歩き 山本 武人  
おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(13) 旧東海道(1) 三雲から 旧石部宿 加藤 賢治  
◆民俗文化 滋賀民俗学会  
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5  
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊  
sigaminzoku.fc2web.com  
◇607 2014.4 B5 12p 400円  
七と十一の文化(14) 名古屋地下鉄東山線のドリンク剤宣伝シール 長谷川博美

修身教材としての「申甲石少年物語」がもたらした効果 大喜多紀明  
 庶民(近江)の生活と民俗(4)一八 幡祭りの松明・太鼓の渡御 菅沼晃次郎  
 巨石の湖上運搬について 粕測 宏昭  
 子どもに名前を付けること・今昔 西浦 左門  
 ふらすこ 兼康 保明  
 旗玉(はただま)について 粕測 宏昭  
 「鉛筆削り」の道具の変遷について 粕測 宏昭  
 「押切り」について 粕測 宏昭  
 一伊吹山文化資料館所蔵 粕測 宏昭  
 村の構成を視る 田中 春二  
 ◇608 2014.5 B5 12p 400円  
 香川県からの入植と集落の成立 粕測 宏昭  
 一宮崎県児湯郡都農町松原 大喜多紀明  
 縁起棚資料 関 啓司  
 庶民(近江)の生活と民俗(5)一八 幡祭りの松明・太鼓の渡御 菅沼晃次郎  
 続・近江の石灰岩製中世石造美術 粕測 宏昭  
 一石材研究ノート(2) 兼康 保明  
 説経を聞く白蛇 兼康 保明  
 彦根城イロハ松の菰巻きについて 粕測 宏昭  
 彦根城表御殿の「天光室」のトユ 粕測 宏昭  
 について 粕測 宏昭  
 不思議な木箱について 粕測 宏昭  
 司馬遼太郎記念館 訪問記 粕測 宏昭  
 ◇609 2014.6 B5 12p 400円  
 霊仙山とお池をめぐる「山の考古学」からの視点(1) 兼康 保明  
 中世の葬送儀礼一旗か襖か 関 啓司  
 北沢・西明寺の特殊宝篋印塔 粕測 宏昭  
 一東近江市北沢所在 兼康 保明  
 庶民(近江)の生活と民俗(6) 粕測 宏昭  
 一びわ湖の鮎となれずしの伝承(1) 菅沼晃次郎

埧堀(るつぼ)について 粕測 宏昭  
 貴美栄婆さんの世間話(1) 粕測 宏昭  
 一京都府南丹市 西浦 左門  
 異郷訪問譚の往路と復路での長さのの違いについて 大喜多紀明  
 ◆史迹と美術 史迹美術同致会  
 〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内  
 TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊  
 ◇844 (84-4) 2014.4 A5 36p 916円  
 佐川田喜六昌俊について(3) 粕測 宏昭  
 一佐川田喜六宛書簡について 村上 泰昭  
 日本の塔百選(24) 粕測 宏昭  
 淡路千光寺三重塔 中西 亨  
 信長の常夜灯一天正三年銘「往来安全」灯籠 加藤 繁生  
 第993回例会 神戸西方の戦災・震災を耐えた文化財を訪ねる 八田 洋子  
 ◇845 (84-5) 2014.5 A5 36p 916円  
 応神紀小考(上) 田寺 英治  
 日本の塔百選(25) 本興寺三重塔 中西 亨  
 江戸六地藏の鋳物師、太田駿河守 粕測 宏昭  
 藤原正義(3)一出自を追う 石塚 雄三  
 第994回例会 粕測 宏昭  
 金沢市内の文化財と庭園 品角阿止美  
 ◆地名探究 京都地名研究会  
 〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15  
 糸井通浩方 TEL0774-44-7636  
 年3000円 2003年創刊  
 www.geocities.jp/Kyotochimei/  
 ◇12 2014.4 A4 120p  
 巻頭言 二つで一、一つで二つ 粕測 宏昭  
 一数えられる最古の聖書(性書) 『古事記』 古田 金彦  
 追悼文 追悼 谷川健一氏を偲び

「露草」を考える 古田 金彦  
 講演 イザベラ・バードが記した日本の地名と言葉一旅行記の翻訳に求められること、特に言葉・地名の誤訳・通訳に関わって 金坂 清則  
 贅野の池を考える 粕測 宏昭  
 一その所在地をめぐる 齋藤 幸雄  
 歌枕「衣手の森」 粕測 宏昭  
 一山城国を中心に推測する 梅谷 繁樹  
 京都盆地の災害地名 綱本 逸雄  
 「長岡」は「名が岡」が語源一国語をないがしろにしては「長岡京」の歴史は解けない 古田 金彦  
 山名「大江山」、丹後定着への道 糸井 通浩  
 弥陀次郎川考 小寺 慶昭  
 「黒部」地名の一考察 高口 定雄  
 池尾一『今昔物語集』巻第二十八「池ノ尾ノ禪弥内供ノ鼻ノ語第二十」をめぐる 梅谷 繁樹  
 「先斗町」地名考 補遺 杉本 重雄  
 記録 平成25(2013)年度京都地名研究会・活動報告  
 ◆ノートル・クリティーク 歴史と批評  
 ノートル・クリティーク編集委員会  
 〒662-8505兵庫県西宮市岡田山4-1 神戸女学院大学文学部 河西秀哉研究室気付  
 2008年創刊 notre-critique.com  
 ◇7 2014.5 A5 78p 1000円  
 戦後史のなかの被爆者像一ポピュラー文化におけるその定着と変容を中心に 山本 昭宏  
 インタビュー 昭和一桁世代の南洋移民経験と沖縄戦後闘争一有銘政夫氏に聞く 成田 千尋  
 書評  
 「沖縄問題」からの離脱一富山一

郎著『流着の思想』を読む 大野 光明  
 基地社会における土地からの引き剥がしと人々の移動一鳥山淳著『沖縄/基地社会の起源と相克 1945-1956』 持木 良太  
 ◆立命館平和研究  
 立命館大学国際平和ミュージアム紀要  
 〒603-8577京都市北区等持院北町56-1  
 TEL075-465-8151 2000年創刊  
 www.ritsume.ac.jp/mng/er/wp-museum/  
 ◇15 2014.3 A4 93p  
 核兵器に挑戦する憲法論一アメリカ立憲主義の再構成・再論 浦田 賢治  
 日本平和学会と平和博物館の連携と可能性 安齋 育郎  
 平和博物館実践への社会教育的アプローチ一住民の学習に根ざす平和博物館実践の再定位 栗山究/阿知良洋平/日高昭子  
 慶祥の平和学習 山口 太一  
 歴史・平和教育における「二次受傷」をどう考えるか一立命館大学国際平和ミュージアムにおける平和教育の現状と可能性 村本邦子/芳賀淳子  
 平和ガイドの平和教育的実践活動一ヒロシマ ピース ボランティアの事例研究 源氏田憲一  
 紛争転換の方法 SABONA の学校教育における一実践一より良い関係性を構築するための取り組み 室井美稚子  
 ◆立命館大学国際平和ミュージアムだより  
 〒603-8577京都市北区等持院北町56-1  
 TEL075-465-8151 1993年創刊  
 www.ritsume.ac.jp/mng/er/wp-museum/

◇61 (21-3) 2014.3 A4 24p  
 スポット ミュージアムの所蔵品  
 (58) 『踊る人々』  
 巻頭つれづれ 初代館長・加藤周  
 一さん没後5周年 安齋 育郎  
 館長だより 三角型の力学構造の  
 永続性 スリランカの古代溜池  
 文明から学べるもの モンテ・カセム  
 ここが見どころ 地階展示：沖縄  
 における核模擬爆弾 山根 和代  
 運営委員リレー連載 国際平和ミ  
 ュージアムの課題と今後の展望  
 一社会へのアピールだけではなく、  
 構成員へのアピールも 加藤 雅俊  
 ミュージアムおすすめの一冊 ハ  
 ナ・アーレント著 大久保和  
 郎ほか訳『全体主義の起源』全  
 3巻(みすず書房 1972年、1974  
 年) 加國 尚志  
 ミニ企画展 開催報告(2013年10  
 月～2014年2月)

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425  
 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円  
 www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇316 2014.4 B5 14p  
 和泉の倭寇 廣田 浩治  
 2013年度 夏の研修旅行「明智大  
 正村、岩村重伝建地区と岩村城  
 跡、瑞浪超深地層研究所」(下) 勝矢 寛雄  
 熊野古道の旅(第20回)  
 熊野古道紀伊路(2) 北山 理  
 和泉の中世城郭(29) 井田 寿邦  
 ◇317 2014.5 B5 12p  
 八木弥太郎法達の系譜と位置(上)  
 堀内 和明  
 熊野古道の旅(第20回)

熊野古道紀伊路(3) 北山 理  
 和泉の中世城郭(30) 井田 寿邦  
 ◇318 2014.6 B5 14p  
 近世前期の土地「越ス」作業  
 一和泉国佐野村の場合(1) 井田 寿邦  
 八木弥太郎法達の系譜と位置(下)  
 堀内 和明  
 主人と熊野古道 小山 光子  
 熊野古道「第二〇弾」に思う 水脇美智代  
 和泉の中世城郭(31) 井田 寿邦  
 何?、これ! (RU)

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2 アンテ  
 ィークショップ一兵内 TEL06-6931-1081  
 年5000円 1984年創刊  
 osakarekikon.cocolog-nifty.com

◇356 (31-4) 2014.4 B5 8p  
 大阪歴史懇談会 創立30周年 会  
 誌「歴史懇談」第28号 投稿受  
 付中!

3月例会報告(第331回) 演題「伝  
 統こけしと木地師一木地師は漂  
 泊民か」中澤祐一氏 (磯崎)  
 古文書講座「借金口上覚」より 寺井 正文

◇357 (31-5) 2014.5 B5 8p  
 巻頭言「妖怪図・幽霊図」(3)  
 「皿屋敷のお菊さん」 井川 光正

4月例会報告(第332回) 演題「モ  
 ンゴル大草原石碑探索行20年一  
 チンギスハンとその子孫たちの  
 足跡をたどって」松田孝一氏 (井川)  
 会員講座(第14回) 演題「妖怪の  
 読み方」和久敦也氏 (井川)

特集 追悼 石川道子先生  
 故 石川道子先生の思い出 田村 紘一  
 石川道子先生を偲んで 中澤 祐一

◇358 (31-6) 2014.6 B5 8p

巻頭言「妖怪図・幽霊図」(4)  
 「清姫」 井川 光正  
 5月例会報告(第333回) 演題「松  
 江藩の成立と松江城」田村 紘  
 一氏 (中澤)  
 第4回古文書苦楽部  
 「手紙」の翻刻 寺井 正文

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家  
 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921  
 年5000円 1981年創刊  
 www.geocities.jp/kakenkyou/

◇57 2014.4 B5 96p 1500円  
 近江の伊庭氏の系譜と祭祀 宝賀 寿男  
 関東取締出役安原燾作について 安原 繁俊  
 珍姓のルーツ(22) 中田みのる

真説津軽為信物語(後の5)一大石  
 内蔵助の高祖母共近衛卿の落胤  
 か、時慶卿記の真実 佐藤 博  
 肥前の相良氏について(4) 相良 一夫

墓を訪ねて三千基(3) 東京都渋  
 谷区広尾の祥雲寺(2) 馬原 浩一  
 薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話  
 刀鍛冶の里(5) 第5章 奥州炎

上 浪平 博司  
 『記紀』の「神名表記」について 川村 一彦  
 表紙家紋「丸に違い丁字」 馬原 浩一

◆かいつか文化財だより テンプス

貝塚市教育委員会  
 〒597-8585大阪府貝塚市畠中1-17-1  
 TEL072-433-7126 1996年創刊

◇53 2014.5 A4 8p  
 千石堀城跡の発掘調査報告  
 文献から見た千石堀城  
 孝恩寺の仏像一菩薩(2) 虚空蔵  
 菩薩 重要文化財 木造虚空蔵

菩薩立像 1軀  
 古絵図をひも解く  
 年貢の納めどき  
 古文書講座「江戸時代の山の利用  
 と争論」/古文書講座44(通算20  
 7回～211回)開催のお知らせ テ  
 ーマ「江戸時代の年貢と村入用」  
 貝塚市の風景—感田神社の環濠

◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家  
 1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921  
 年5000円 2002年創刊  
 www.geocities.jp/kakenkyou/

◇48 2014.4 B5 8p  
 壮大な夢 馬原 浩一  
 家系研究協議会 平成26年度春の  
 例会報告「黒田館兵衛を大いに  
 語る」安居隆行氏、須貝隆弘氏、  
 馬原浩一氏 (馬原)

家研協たより/家系研究協議会次  
 回例会予定  
 珍名さんいらっしゃい 番外編  
 「あまちゃん」と「軍師館兵衛」  
 の意外な関係? 馬原 浩一

◇49 2014.4 B5 8p  
 河童がくれた「お宝」(1) 和田 寛  
 河童がくれた「お宝」(2) 和田 寛  
 河童がくれた「お宝」(3) 和田 寛

◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327  
 TEL072-251-2586 年2400円  
 ◇359 2014.4 A5 18p 200円  
 河童がくれた「お宝」(1) 和田 寛

◇360 2014.5 A5 18p 200円  
 河童がくれた「お宝」(2) 和田 寛  
 ◇361 2014.6 A5 24p 200円  
 河童がくれた「お宝」(3) 和田 寛

◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11

椋本進方 TEL0721-52-3394  
年3000円 1979年創刊

◇56 2014.4 B5 126p  
今、郷土を考える 浅井 五郎  
墨池先生山中氏と三日市宿 松尾巴留美  
河内における天誅組 松本弘(裕之)  
村人達が辿った伊勢参拝の足跡—  
市村新田村・伊勢講の記録より  
岩根 昭男  
嬉の磐座についての一考察—宇礼  
志荘の四至勝示石である可能性  
伏井 邦彦

蕪坂の女性の西国三十三度行者供  
養塔について—和歌山県海南市  
下津町小畑所在 玉城 幸男  
江戸後期の南河内地方の教育につ  
いて—特に藩校・寺子屋を中心  
にして 松本弘(裕之)  
鬼住村研究—なぜ鬼住村を研究す  
るのか 工房鬼住・中筋喜春(喜昭)  
天誅組150周年・河内長野 椋本 進  
報告 第14回知ったはりまっか?  
河内講座 椋本 進  
平成25年度 事業報告 井上元良/杉田定嗣  
郷土研究会創立50周年記念・100問  
委員会の活動報告 松本弘(裕之)  
河内長野市文化遺産活用事業実行  
委員会(文化庁支援)事業(平成  
25年度) 椋本 進  
河内長野市文化連盟事業報告(平  
成25年度) 椋本 進  
記念事業委員会報告(平成25年度)  
安原 幹也

◆近畿文化 近畿文化会  
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13  
上本町YUFURA 7階  
TEL06-6775-3686 年2200円

◇773 2014.4 A4 8p 300円  
大和神社のちゃんちゃん祭 武藤 康弘  
大和の梵天・帝釈天 関根 俊一

◇774 2014.5 A4 8p 300円  
近鉄奈良線一〇〇年の足跡を訪ね  
て 石田 成年  
画壇の住まい 矢ヶ崎善太郎

◇775 2014.6 A4 8p 300円  
山添村の仏像 神田 雅章  
美濃南部の縄文遺跡 松田 真一

◆左海民俗 堺民俗会  
〒593-8307堺市西区平岡町268-20  
下谷佐吉方 TEL072-274-1479 年3000円

◇145 2014.5 B5 8p  
《特集 ふるさと》  
ふるさと懐古 下谷 佐吉  
ふるさとは四つ 川村 淳二  
私のふるさと 濱田美代子  
ふるさと 大森 治  
大東亜戦争と戦後の時代(3)  
大学院進学のところ 生駒 道弘

例会報告  
12月例会報告 河内長野市の高  
野山街道周辺を歩く 山崎 琢磨  
1月例会報告  
三輪神社初詣・三輪山登拝 生駒 道弘  
2月例会報告 貝塚を歩く 山口 邦雄  
3月例会報告  
高取町のお雛祭り 下谷 悦子

◆城だより 日本古城友の会  
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28  
平川大輔方 TEL06-6652-4511  
web1.kcn.ip/kojyo\_tomonokai/  
◇544 2014.4 B5 22p  
但馬 出石城、有子山城を探訪し  
ます(5月・第607回例会のご案内)

内)／6月・第608回例会の予告  
／セミナーなどのご案内／受贈  
図書・資料

3月・第605回例会の報告 丹波  
亀山城と周辺の中世城館 森田 又一  
鳥瞰図 丹波笑路城(作画 川端  
義憲氏)  
会員通信  
広島城と支城亀居城へ行きました  
た 水品 弘樹  
文献からの側射施設「だし」の  
こと 石田 泰信  
大名陣屋とその村その町(第二  
集) 6 播磨山崎陣屋 上田 正和  
新聞記事紹介  
◇545 2014.5 B5 22p  
聚楽第跡とその周辺を探訪します  
(6月・第608回例会のご案内)／  
7月・第609回例会の予告／特別  
見学会のご案内 東六甲採石場  
「甲山刻印群」を探訪します／  
セミナーなどのご案内／受贈図  
書・資料

4月・第606回例会の報告 尾張  
名古屋城本丸御殿と古渡城を訪  
ねて 栢木 隆  
会員通信  
美作岩屋城を訪ねて 川端 義憲  
大名陣屋とその村その町(第二集)  
7 播磨三日月(乃井野)陣屋 上田 正和  
新聞記事紹介  
◇546 2014.6 B5 22p  
尾張 岩崎城、末森城、清須城を  
探訪します(7月・第609回例会  
のご案内)／8月・第610回例会  
の予告／事務局から／セミナー  
等のご案内／受贈図書・資料  
5月・第607回例会の報告 但馬

鯉山城、有子山城、出石城 藪西 旭  
出石城・有子山城 鳥瞰図  
(川端義憲氏作画)  
会員通信  
美作岩屋城を訪ねて(承前) 川端 義憲  
大名陣屋とその村その町(第二  
集) 8 播磨三草陣屋 上田 正和  
新聞記事紹介

◆撰津市市史編纂だより (明)  
撰津市総務部市史編さん室  
〒566-0023撰津市正雀4-9-25 撰津市民  
図書館内 TEL06-6319-0587 2012年創刊

◇2 2014.4 A4 4p  
伊能忠敬の神崎川測量 片山 早紀  
中世前期の淀川流域にみる水上交  
通 曾我部 愛

◆つどい 豊中歴史同好会  
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11  
山口久幸方 TEL06-6857-4959  
月1000円 1988年創刊  
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/  
◇315 2014.4 B5 14p  
九州島における四・五世紀の—様  
相(3)—肥前(3) 宇野 慎敏  
大阪大学総合博物館企画展 野中  
古墳と「倭の五王」の時代 小川 滋  
◇316 2014.5 B5 22p  
豊中歴史同好会創立25周年記念シ  
ンポジウム  
事例報告 応神・仁徳天皇時代  
のよなか 陣内 高志  
講演3  
仁徳陵古墳時代の空間構成 一瀬 和夫  
3月度現地見学 玉手山古墳群と  
松岳山古墳を訪ねる 小川 滋  
◇317 2014.6 B5 20p

豊中歴史同好会創立25周年記念シンポジウム 講演2 五世紀の政治拠点は河内か大和か 西川 寿勝  
椿井大塚山古墳と周辺の史跡を巡る 古高 邦子  
第26回定期総会報告

◆歴史考古学 歴史考古学研究会  
〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16  
奥村隆彦方 TEL072-331-6679  
年3000円 1978年創刊

◇68 2014.4 B5 79p

口絵 鳥根県大田市の八幡宮経筒・納札／大阪府指定重要文化財 寛弘寺神山墓地石造五輪塔  
鳥根県大田市の八幡宮経筒・納札の銘文 鳥谷 芳雄  
旧福知山市の石造美術 篠原 良吉  
寛弘寺神山墓地五輪塔 奥村 隆彦  
近江八幡市の中世建立「三界萬霊」碑 池本良一／篠原良吉／松永修輔  
キリシタン考古学の到達点 一入門編 今野 春樹  
「橋板橋」のあらまし 多田 準二

◆撰播歴史研究 撰播歴史研究会  
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12  
TEL079-442-0658 1986年創刊  
◇63 2014.3 B5 6p  
東播磨のトウヤにおける氏神奉斎について 關口 洋介  
「祓」と滅罪—『源氏物語』の「須磨」「明石」の巻を通路として 熊谷 保孝

◆西宮文化協会会報  
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17  
西宮神社内 TEL0798-33-0321

◇553 2014.4 B5 8p

平成26年度定例総会 記念講演会  
近世有力寺社と門前住民—西宮と藤沢の事例から 志村洋氏  
『西宮神社御社用日記』について 松本 和明  
マヤ文明とアステカ文明を訪ねる  
メキシコ紀行(2) 二宮 健  
「西宮」保存箱、玉手箱(4)  
—情報公開課資料より 豊田 みか  
月々の言葉 田邊 竹雄  
平成26年(4月～6月) 美術館・博物館等展示の御紹介  
◇554 2014.5 B5 8p

5月行事 「竹内志朗 テレビと芝居 手書き文字・講演と展示」御挨拶 山下 忠男  
西宮文化協会役員(平成26年度・27年度)  
平成25年度事業報告／平成26年度事業計画(案)  
「西宮」保存箱、玉手箱(5)  
—情報公開課資料より 豊田 みか  
◇555 2014.6 B5 8p

6月行事 文化講演会「愛新覚羅溥儀と嵯峨浩」—西宮、浩の祖先中山家、そして次女婿生の事など  
マヤ文明とアステカ文明を訪ねる  
メキシコ紀行(3) 二宮 健  
「西宮」保存箱、玉手箱(6)  
—情報公開課資料より 豊田 みか  
明治天皇行幸所  
旧岩倉邸 六英堂(西宮神社内)

◆歴史と神戸 神戸史学会  
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4  
田中印刷出版内 TEL078-871-0555  
年3000円 1962年創刊

◇303 (53-2) 2014.4 A5 49p 600円

《特集 大正期の神戸教育史》  
わが神職累代の記(1) 曾祖父までのこと ひげの神主さんは、馬に乗って— 上村 武男  
『平生鈞三郎日記』にみる神戸の旧制中等学校 永田 實  
大正期、兵庫県下の中学校受験競争をめぐる 中野 佳和  
大正期神戸の教育課長本荘太郎—神戸市の小学校舎拡充計画と校長人事刷新 湯田 拓史  
新聞地域版を読む

◆帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要  
〒631-0062奈良市帝塚山7-1-1  
TEL0742-32-5708 2000年創刊

◇16 2014.3 B5 139p

《赤田光男教授退職記念号》  
献呈の辞 源城 政好  
赤田光男教授略歴・主要著作目録  
三代で支えた阿仁町根子の配置売薬—本マタギ佐藤仁三郎から受け継がれた懸帳簿と行商道具 池端 夏実  
西蓮寺の来迎信仰について 加藤 綾香  
造花考—祭礼における造花について 江木 淳人  
鍛冶屋における信仰 守本雄一郎  
呪符厭魅考 西之宮康晃  
京都府木津川市加茂町観音寺の盆行事と先祖供養 高田 照世  
紀伊半島南部の漁民信仰  
—海神と漁撈神の諸相 裏 直記  
御津紙工における日蓮宗不受不施派信仰について 平松 典晃  
広島市佐伯区湯来町を中心とした「十二神祇」神楽の特徴について 吉本由梨香

学位論文要旨

生業技術と祭祀習俗の研究 裏 直記  
中国南北朝随唐陶俑の研究 小林 仁

◆日本文化史研究 日本文化史学会  
〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学  
奈良学総合文化研究所 TEL0742-48-8842  
1977年創刊

◇45 2014.3 A5 118p

南都の正月行事 赤田 光男  
銭弘俣八万四千塔の伝世について  
の新知見—京都・金胎寺塔と大阪・来迎寺塔 服部 敦子  
女性祭祀と巫女の諸相  
—南紀地方の巫女信仰 裏 直記  
平城京出土製塩土器集成  
—型式分類・産地推定・分布 河村 卓  
研究ノート 造花考—造花発生の起源について 江木 淳人

◆紀南・地名と風土研究会会報  
〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207  
桑原康宏方 TEL0739-22-0483  
年2000円 1985年創刊

◇53 2014.4 B5 22p

谷川健一先生の「地名は百科事典の索引」を読み解く 田中 弘倫  
兵生は兵主 吉川 壽洋  
絵葉書に見る熊野風景百年(4) 中瀬古友夫  
近野で出土した貝化石について 杉中浩一郎  
蟻通明神について  
—『枕草子』を通路として 橋本 観吉  
覚え書き(3) 紀伊熊野以外の王子社と参詣道 桑原 康宏  
表紙写真説明 万呂須佐神社の森(昭和40年代)／受贈誌

◆熊歴情報 熊野歴史研究会  
〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1

新宮市役所商工観光課 山本殖生  
TEL0735-23-3333 年3000円

◇193 2014.5 B5 2p

総会は5月23日／研修報告会／『紀南・地名と風土研究会会報』53号／『古座川風土記』／『熊野三山民俗文化財調査報告書』／平成26年度「歴史探訪サークル」開講／事務局より

#### ◆国際熊野学会会報

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

◇21 2014.4 B5 4p

古座の葬送儀礼と海外の埋葬制度

宮腰 榮一

#### ◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊  
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp

◇65 2014.3 A5 60p

《特集 岩橋千塚再考》

岩橋千塚古墳群の横穴式石室について

中村 貞史

考古特別史跡岩橋千塚古墳群

一岩橋発掘五〇年 富加見泰彦

黎明期の岩橋千塚調査とその背景

一大野雲外・徳川頼倫・南方熊

楠・ガウランド 武内 善信

研究

早魃による凶年引免

一文政六年を中心にして 廣本 満

御徒浪人について一紀の川市名

手市場・堀家文書より 白井 陽子

史料紹介 応永三〇年高野山領猿

河荘公方役注文断簡 小倉 英樹

動向 2013年度和歌山県内展覧会

情報

彙報 和歌山地方史研究会の活動

### 中国・四国

#### ◆郷土石見

〒697-0034鳥根県浜田市相生町2139-15  
児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊  
◇95 2014.5 A5 132p 1200円

表紙写真 清水谷精錬所跡（大田市仁摩町大田） 勝部 衛

百年前の浜田スケッチ(上)

一詩人伊良子清白日記 岩町 功

佐渡島へ渡った石見の漁師たち(2)

一それは四百年も昔 村上 英明

慶応2年(1868)の石見国 小林 俊二

「竹島」編入当時の日本人の領土認識 竹内 猛

中世から近世の濱原村・川戸村・瀧原村・信喜村・亀村・高山村(中) 小野 博之

近世・石見の銅製鉄を採る(6)

一幻の仁万製鉄所 児島 俊平

地方記者奮闘記「古里とともに」(2) 小川 重文

観聴随筆に見える注目すべき記事の抜粋について 和田 孝

恩人栗栖澤子先生の遺徳を偲びつつ一疎開先での保育園勤務にまつわる思い出 矢野 静枝

町から村から

忠魂碑の再建一わが町の碑 岡原 良夫

佐々田懋・服部之總顕彰会設立

総会について 中 政信

郷土のみなさまへ(以文会友) 岡田金次郎

資料

服部之総の人と生き方(1)一研

究再考 パーソナリティの視

点から 河野 純一

鳥根県邑智郡南町矢上・清水

屋本田植歌集(5) 田中 瑩一

#### ◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28  
光珍寺内 TEL086-222-2028  
年2000円 2002年創刊

◇50 2014.5 A4 10p

平成26年度宇喜多家史談会総会記念講演 宇喜多軍団の団結と分裂 柴田 一

明石掃部の名乗りについて(2) 小川 博毅

宇喜多秀家の所持した刀 皆木 欣耿

物語直家記伝 乙子の城 第21回

伴侶(6) 山重十五郎

会員サロン 第5回戦国の貴公子

宇喜多秀家☆フェス 奥田重紀子

平成26年度 宇喜多家史談会総会

報告 石渡 隆純

#### ◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺2-6-36  
村上岳方 TEL086-942-6156  
年1500円 1986年創刊

homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm

◇132 2014.5 B5 32p

応仁・文明の乱後の荘園支配の様相一備中国新美荘を事例として

渡邊 太祐

参加記

フォーラム・大規模自然災害に備える「災害に強い地域歴史文化をつくるために」に参加

して 金谷 芳寛

就実大学吉備地方文化研究所

2013年度歴史シンポジウム

「古代地域史フェスタⅢ一歴

史考古学の現在一」 加栗 貴夫

博物館・展示めぐり 2013年度

秋の特別展覧会を観覧して 辰田 芳雄

#### ◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14  
難波俊成方 年4000円  
okayamaminzokugakkai.web.fc2.com

◇212 2014.5 B5 16p

「岡山市沖新田地区民俗調査報告書 干拓地・政田の民俗」を読

んで 猪原 千恵

11月例会報告 11月例会発表要旨

御津紙工の不授不施派信仰につ

いて 平松 典晃

岡山周辺の木野山神社考 太田 健一

2月例会報告 2月例会発表要旨

『新修倉敷市史』編さん事業の

開始から歴史資料室の開設ま

で 山本 太郎

尾張津島天皇祭における造花

一その機能と動向について 江木 淳人

平成25年度・第43回岡山民俗学会

賞選考委員会について

平成25年度臨時役員会開催

平成26年度役員会(第1回)開催

平成26年度総会・研究発表大会報

告 総会報告

平成26年度記念講演内容について

平成26年度研究発表大会発表要旨

辛島新田の社日祭 河合 久和

祭祀空間からみる従属神信仰 井上 嘉子

日本の葉たばこ産地とたばこ神

社 加原奈穂子

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0813岡山市北区石関町2-1

TEL086-233-2505

◇133 2014.4 A5 14p  
 随想二題  
 分岐家財の保護と活用 黒田 龍二  
 あれから三十年  
 一岡山県が熱く燃えた日 山田 宗志  
 岡山の人物  
 宇喜多秀家の母・圓融院 大西 泰正  
 岡山の自然 春の野鳥 宮林 英子  
 岡山の文化財 岡山禁酒会館 小西 伸彦  
 わが町・わが村の自慢  
 倉敷管弦楽団(倉敷市)  
 ふるさとの思い出 宿場町・矢掛  
 に「町家交流館」(小田郡矢掛町)  
 会員日より  
 岡崎嘉平太記念館を訪ねて 新井 悟

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会  
 〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島  
 大学大学院文学研究科日本史学研究室内  
 TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊

◇290 2014.4 A5 56p 600円  
 パネルディスカッション  
 趣意書 芸備地方史研究会委員会  
 パネルディスカッション「今後の  
 地方史研究に求められるもの」  
 小栗康治／木村信幸／吉田正秀  
 ／林淳一郎／司会・石田雅春

2013年度 芸備地方史研究会大会  
 記事  
 研究発表要旨  
 因島村上氏の系譜 今井 豊  
 尾道商人と雲州御廻米御用 森本 幾子  
 近代における災害と救済―芦田  
 川洪水への対応から考える 平下 義記  
 厳島神社本殿における祭式行事  
 作法の特殊性と祭神移動につ  
 いて 中道 豪一  
 書評 板垣貴志著『牛と農村の近

代史一家畜預託慣行の研究―』平下 義記  
 動 向  
 歴史講座「広島県の歴史」の記録  
 新聞記事から(2010年1月～6月)  
 広島県の地方史研究  
 受贈図書目録  
 伊予史談会交流報告 石田 雅春  
 史跡をあるく 亀が首 渡邊 誠

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会  
 〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8  
 TEL084-953-6157 bingohistory.net

◇177 2014.4 A4 28p  
 進化する縄張図  
 一山手町の銀山城を例に 田口 義之  
 懐かし写真館／事務局日より(20  
 14年3月10日 毎日新聞備後版  
 より)  
 備後宮氏とその庶子家 木下 和司  
 福・山珍道中  
 古志・有地両氏間の境界係争地の  
 年代 矢田 貞美  
 調査報告 中世石造物の調査報告  
 古文書解説 「宝永八年沼隈郡神  
 嶋村萬差出帳」(2)  
 備後史談  
 干拓地に建てられた手城堂につ  
 いての考察 三好 勝芳  
 尾道酢と酢徳利について 岡田宏一郎  
 備後昔語り 昭和15年の城下町 田口 由実  
 郷土探訪  
 連載「川筋を訪ねて」(7)  
 失われた河川を辿って 種本 実  
 千田村の辻堂(四ツ堂) 根岸 尚克  
 例会報告  
 ぶら探訪拾八「笠岡を歩く」 河本 正二  
 2014年2月23日 徒歩例会  
 銀山城に登る 山岡 佑佳

宝山への道 大場 和宏  
 姫路線で上月城を訪ねる 河口八州郎  
 近世・近代史部会便り 近世福山  
 を読む 第11～13回要旨 高木 康彦  
 読者便り  
 総会に参加 会の発展を喜ぶ 末森 清司  
 大分便り  
 藤井能登守皓玄を思い返して 後藤 匡史

◆広島土史研究会会報  
 〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4  
 広まちづくりセンター内 TEL0823-71-0706  
 1998年創刊

◇119 2014.5 A4 32p  
 保存資料紹介「広甘藍(かんらん)  
 一件綴」農林水産課(呉市) 上河内良平  
 郷土が誇る人物評伝 玉木伊之吉  
 一広甘藍生みの親 小栗 康治  
 2014年度芸備地方史研究会大会の  
 ご案内 7月27日(日)呉市市民  
 センター「近代広島の音楽史構  
 築をめざして」 笠井今日子  
 2014年度芸備地方史研究会大会  
 開催要項  
 藤田家文書 第F J章(3)  
 広島土史研究会古文書部会  
 例会の主な感想／平成26年度 総  
 会案内／例会報告

◆広島民俗 広島民俗学会  
 〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24  
 岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊

◇81 2014.3 A5 80p 500円  
 (平成25年度総会・研究会  
 シンポジウム「鎮守の森を考える」)  
 基調講演 鎮守の森とは 尾多賀晴悟  
 鎮守の森を考える―神木と社叢 関 太郎  
 社寺のパワースポット 藤井 由美

鎮守の森を考える  
 一鎮守の森と神楽 三村 泰臣  
 第82回研究会を終えて 岡崎 環  
 東城地方の薬用植物 久岡 武美  
 廃校跡の便所の石碑 神田三亀男  
 地域の資料館について考える  
 一展示と聞き取り調査 松井今日子  
 地域学習で広がる民俗学の可能性  
 正本真理子／庄原市立比和中学校  
 『絵画・俳句・短歌・郷土の研究…  
 教師 民俗学七十八年のあしあ  
 と』刊行に寄せて 藤井 昭  
 新刊紹介 『中国・四国地方の神  
 楽探訪』(三村泰臣) 岡崎 環

◆みよし地方史 三次地方史研究会  
 〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂  
 2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753  
 1987年創刊

◇93 2014.4 A4 14p  
 明暦二年 備後国志和地村地平帳  
 の分析 立畑 春夫  
 史料紹介 行雲起請文 藤原 一三  
 上里氏が作った三次町 後藤千賀子  
 三良坂町の愛宕信仰 中畑 和彦  
 三次浅野藩に関わる家譜 長治公  
 生誕から三次浅野家廃絶まで、  
 110年間の人々(3) 富士原昌宏

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会  
 〒723-0062広島県三原市本町1-9-27  
 福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円

◇277 2014.4 B5 12p 100円  
 今月の各地 学制改革(旧市の新  
 制中学校の設立) 大谷 和弘  
 安芸草井氏の出自と系譜(3) 和氣 泰臣  
 植崎氏と三原(4) 大谷 和弘

◇278 2014.5 B5 12p 100円

今月の各地  
 縄文時代が示唆するもの 大本 静人  
 春のハイキング感想文  
 H26年度 春のハイキングに参  
 加して 土森 修  
 総工程約11kmのハイキングに参  
 加して 津島 敏子  
 小方島神社の創始者「国造景光」  
 を考える 大本 静人  
 ◇279 2014.6 B5 12p 100円  
 今月の各地 三原の土人形のこと  
 田邊 達雄  
 平成26年度総会並びに記念講演会  
 報告 鈴木 健次  
 榎崎氏と三原(完結編) 大谷 和弘  
 安芸草井氏の出自と系譜(4) 和氣 泰臣  
 八階 見晴史 病床狂語(1) 備後 浮城

◆史窓 徳島地方史研究会  
 〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井  
 1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806  
 ◇44 2014.3 A5 112p 1389円  
 天明・寛政年間の住吉新田の開発  
 一伊沢亀三郎を中心とした開発  
 史の検証をかねて 井上 伸一  
 検地帳と知行絵図の比較による村  
 落の空間構造と土地支配一阿波  
 国美馬郡郡里村嘉永四年検地帳  
 と知行村絵図を中心として 羽山 久男  
 阿波山間部の名と名連合一東端山  
 における住人集団・肝煎・給人  
 丸山 幸彦  
 史料紹介  
 絵葉書「徳島市役所全景」を読  
 む一徳島市役所庁舎の変遷を  
 めぐって 小川 裕久  
 阿南市那賀川町工地的花崗岩製  
 丁石について 西本 沙織

書評 四国中世史研究会・戦国史  
 研究会編『四国と戦国世界』 森脇 崇文  
 史窓のひろば  
 歴史資料保全ネットワーク・徳  
 島(徳島史料ネット)の活動 徳野 隆  
 第6回 四国地域史研究連絡協議  
 会香川大会「船からみた四国」  
 の開催 徳野 隆  
 徳島県地方史研究文献目録  
 (2012年10月～2013年9月)  
 活動記録 2012年10月～2013年9月

◆伊予史談 伊予史談会  
 〒790-0007愛媛県松山市堀之内  
 愛媛県立図書館内 1915年創刊  
 ◇373 2014.4 A5 51p 695円  
 河野通清・通信の挙兵再考 山本 高志  
 愛媛の銅山王矢野莊三郎と其の製  
 錬技術の系譜 十亀 幸雄  
 「伊予」と「愛媛」の語源 合田 洋一  
 嘉永六年六月の長浜番所の船手形  
 について(2) 坂本 均  
 報告 第6回四国地域史研究連絡  
 協議会(香川大会)参加報告 永井 紀之  
 新刊紹介 山内讓著『海賊衆来島  
 村上氏とその時代』 編集部  
 郷土その日その日 編集部(袖山俊夫)  
 例会記事 第1183回～第1185回

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院  
 〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ  
 ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊  
 ◇121 2014.4 A5 220p 1250円  
 巻頭言 銅鐸出土の状況から構築  
 する古代の新世界  
 邪馬台国は、銅鐸王国へ東遷した  
 饒速日の命、北九州から畿内へ

安本 美典  
 漢の印刷からみた「漢委奴国王」  
 蛇紐金印 高倉 洋彰  
 梅原末治論(中)一モノを究めよう  
 とした考古学者の偉大と悲惨 穴沢 味光  
 海の民 宗像(8)最終回  
 一玄界灘の守り神 太神 美香  
 ブッダへの道(7)一法顕が見た五  
 世紀初頭のアジア 河村 哲夫  
 世界遺跡巡り(3)  
 コロッセオ(円形闘技場) 井上 修一  
 九州古代紀行(23) 軍師官兵衛を  
 祭る光雲神社を往く 加藤 哲也

◆年報 太宰府学 太宰府市市史資料室  
 〒818-0132福岡県太宰府市国分4-9-1 太宰  
 府市文化ふれあい館内 太宰府市総務部情  
 報・公文書館推進課 TEL092-921-2322  
 2007年創刊 dasaifu.mma.co.jp  
 ◇8 2014.3 A4 92p  
 九大崇福寺瓦の史料的価値とその  
 年代観に関する一考察  
 岩田和也/大屋綾乃

資料紹介  
 『宇佐詣記』  
 山口敏幸/豊島幸子/寶亀道聰  
 『宇佐詣記』翻刻 中田敏子/山口敏幸  
 栗原家資料『英華帖』について  
 朱雀信城/藤井祐介  
 報告 太宰府市公文書館設立につ  
 いて 藤田 理子  
 文献目録 菊池氏関係文献目録  
 川添昭二/朱雀信城  
 資料目録 宮原家文書目録  
 市史資料室日誌

◆浜木綿 五島文化協会  
 〒853-0052長崎県五島市松山町604-10

筑田俊夫方 TEL0559-74-2667  
 ◇97 2014.5 A5 124p  
 巻頭言  
 前会長 的野圭志氏を偲ぶ 筑田 俊夫  
 主役は町民  
 一顯原退蔵博士顕彰碑建立記 松原 剛  
 「活動の記録」より(2013年9月～  
 2014年2月) 片山 圭弘  
 五島歳時記 方言(五島弁) 武羅井 高  
 「ヤサ子」 石田ちとえ  
 きゆう翁珠玉の随想  
 きゆう資料の里帰り(2) 編集部  
 「石城会」追想シンフォニー(序  
 章・明治・大正・昭和・平成・  
 無終章) 才津 玉樹  
 史料・遺跡にみる古代の五島(3)  
 一五島人の祖先は南方渡来の耳  
 族か 櫻井 隆  
 夭折の文学青年・八尾巧一明治末  
 に文集を編集発行した先人 内海 紀雄  
 潮の目  
 ある日・ある時スクラップ

◆国見物語 国見町郷土史研究会  
 〒872-1401大分県国東市国見町伊美2300-  
 1401 国東市教育委員会 国見分室  
 TEL0978-82-1115 年1000円 1981年創刊  
 ◇33 2014.4 B5 104p 1000円  
 巻頭言  
 寺社に神仏習合の歴史を学ぶ 末綱 巖  
 古里の火祭り「善神王祭」 末松洋一郎  
 野上一族とキリシタン遺跡 廣末九州男  
 私のふるさと 河村 安  
 田中社由来記(末綱杵一遺稿) 末綱 巖  
 古文書に見る大分の地震・津波 平井 義人  
 寺川家の人々「三浦梅園と寺川英  
 庵」 寺川驥一郎  
 大蔵姓 小串氏の研究(13) 小串 信正

姫島ジオパークの魅力をどう伝えるか 木野村孝一  
 国見歌舞伎について 信原 英治  
 遠い記憶と身近な記憶 末綱 巖  
 上香々地・真玉の歴史と文化財を訪ねて 末松洋一郎  
 郷土史研究会・史談会のつどいに出席して 武多 洋子  
 市内歴史探訪の記録 広 報 部  
 近代史を学ぶ一台湾を旅行して 永井 輝生  
 コラム 赤根のお祭り 永井 輝生

◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会  
 〒880-8520宮崎県宮崎市船塚1-1-2  
 宮崎公立大学 大賀研究室気付  
 TEL0985-20-2000 年3000円 1993年創刊  
 ◇29 2014.3 B5 41p  
 広開土王碑「宮崎県総合博物館本」の研究 武田 幸男  
 講演記録『古事記』を読むとは 大館 真晴  
 2013年度宮崎公立大学卒業論文要旨 新知拝領分家をめぐると本分家関係に関する一考察—薩摩藩と佐土原藩の事例を通して 東 圭一郎

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会  
 〒892-0815鹿児島市易居町1-2 ソーホー  
 かがしま21号 有機茶専門店川野茶舗内  
 TEL099-225-3235 年2500円 1980年創刊  
 ◇26 2014.3 B5 100p  
 《さつま町特集号》  
 表紙解説 蒨(まぶし) 牧島 知子  
 口 絵  
 「ふるさと薩摩の館」の民具(養蚕その他) 牧島 知子  
 さつま町の田の神石像から 井上 賢一  
 序『鹿児島民具』第26号刊行に よせて 小島 摩文

炭俵編み機・田の神・十五夜の大草履と大箒—さつま町の里山文化 井上 賢一  
 さつま町の茶民具と茶業の変遷 川野 博志  
 県内たった二例の龍の天井画 橋口 尚武  
 さつま町の養蚕・食生活と民具 牧島 知子  
 さつま町の共浴場 牧 洋一郎  
 さつま町の民具調査から 有村 澄子  
 燭台・竹ワク(田植え定規)・屋根裏部屋 伊地知裕貴  
 宮之城町の竹の話題二つ 濱田 甫  
 さつま町の馬聞書 小島 摩文  
 さつま町の河川漁法とその漁具 徳留 秋輝  
 さつま町中津野の「氏神様」・「水神様」と氏神祭り 渡山 恵子  
 「さつま町の民具」見て歩き 下野 敏見  
 研究ノート 南九州市知覧町後岳の民具から 松元孝義/下野敏見  
 さつま町の民具共同調査実施概要  
 例会発表要旨(2011年~2013年)  
 会誌『鹿児島民具』既刊号目次(第16号以降)

◆季刊 沖縄 沖縄協会  
 〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9  
 エー・ゼットキョウビル5階  
 TEL03-5803-2341 1996年創刊  
 homepage3.nifty.com/okinawakyokai/  
 ◇46 2014.4 A4 52p  
 第164回沖縄問題研究会 米軍基地をめぐる戦後史—沖縄と日本との関係を中心として 平良 好利  
 亜熱帯沖縄の木や森や里山(5) 育み育まれる里山のえにし(中) 新里 孝和  
 硫黄島島—大地(ウフジ)と離(ハナレ)の琉球史(6)最終回 高良 倉吉  
 第35回沖縄研究奨励賞

受賞記念講演  
 沖縄における環境保全型ウコン栽培技術及びウコン品種開発に関する研究  
 モハメド・アムザド・ホサイン  
 先史琉球の土器と社会に関する研究 伊藤 慎二  
 戦後沖縄と米軍基地 平良 好利  
 「緑のふるさと協力隊」に参加して 藤原 佐智  
 沖縄協会だより/沖縄覚書  
 戦後おきなわ写真館(1) 嘉納 辰彦

◆宮古郷土史研究会会報  
 〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8  
 下地和宏気付 TEL0980-72-9963  
 1977年創刊  
 ◇202 2014.5 B5 8p  
 5月定例会レジュメ 『御嶽由来記』の「こいちゃ」について 下地 和宏  
 6月定例会レジュメ 宮古のグスク時代に関する一考察 久貝 弥嗣  
 5月定例会の案内/6月定例会の案内  
 与那ばら軍(いうさ)—終結の時期をめぐって 3月定例会を終えて 下地 和宏  
 宮古島市文化財 WEB 公開システム運用開始 新城 宗史  
 発掘調査速報  
 尻並第二遺跡発見の埋葬人骨 久貝 弥嗣  
 『宮古島市総合博物館紀要』第18号 寺崎 香織  
 特別展示「伊良部島・下地島の生きもの展—生物多様性調査プロジェクトの調査報告—」 砂川 史香  
 『宮古島市総合博物館収蔵目録—歴史資料編—』発行 砂川 史香

「憲法と平和を語る」つどい 今年も「九条の碑」の前で「アピール」 仲宗根將二  
 『琉球・島の宝』創刊号発行  
 民間の総合的文書館の建設へ 仲宗根將二  
 第39回定期総会開かれる 事務局  
 に新城・砂川・寺崎加わる 久貝 弥嗣  
 『宮古研究』第12号発行 下地 利幸  
 来間泰男著『グスクと按司』上・下巻 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆仙台市博物館の資料レスキュー活動  
 —東日本大震災後の取り組み  
 仙台市博物館編・刊(〒980-0862 仙台市青葉区川内26 TEL022-225-3074) 2014年3月  
 A4 95頁  
 東日本大震災後の歴史資料の被災状況調査や被災資料のレスキュー活動など、仙台市博物館の取り組みについて総括する報告書。緒言(遠藤俊行)/活動報告 資料レスキュー活動の初動と他組織との連携、仙台市博物館主体の資料レスキュー活動/事例報告 仙台市立荒浜小学校、仙台市立中野小学校、仙台市立東六郷小学校、荒浜の浄土寺、種次のS家、三本塚のS家、荒浜のS家、上杉のY家、一般財団法人斎藤報恩会、荒井のX家、出花のO家、栞江のK家、岩切のS家、中田のK家、六丁の目のE家、岩切のI家、朴沢のY家、根白石のK家、資料整理一覧/普及活動 展示、報告発表/資料レスキュー活動日誌抄  
 ◆土と文字が語る仙台平野の災害の記憶  
 —仙台平野の歴史地震と津波 増補改訂版  
 仙台市博物館編・刊(〒980-0862 仙台市青葉区川内26 TEL022-225-3074) 2014年3月(2013年3月初版) A4 18頁  
 東日本大震災による被害、その後の被災資料

レスキューの活動などもふまえ、被災ミュージアム再興事業助成を受けたパンフレット。遺跡や史料に残る主な地震災害の記録／震災の歴史 弥生時代の津波の痕跡、貞観11年の地震と津波、慶長16年の地震と津波、近世の地震と津波、近代移行の地震と津波、地震・津波と伝承、津波が呼び覚ました「土地の記憶」・荒浜、津波が呼び覚ました「土地の記憶」・蒲生／東日本大震災が史跡に与えた被害1～3／東日本大震災における仙台市博物館の資料レスキュー活動／仙台市でレスキューされた歴史資料／歴史資料が見つかったら

#### ◆福島県歴史資料館収蔵資料目録45

県内諸家寄託文書39

福島県歴史資料館編・刊(〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193) 2014年3月 B5 26頁

昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した資料目録の44冊目として、8件の寄託文書の目録を収録する。序(遠藤俊博)／上田伸吾氏寄贈文書(2点、福島市)／加藤茂家文書(23点、福島市)／草野清五郎家文書 その2(6点、福島市)／佐藤二郎家文書 その2(2点、福島市)／宍戸篤氏寄贈文書(17点、福島市)／長尾家文書(13点、福島市)／平石区有文書(37点、福島市)／長谷部家文書 その2(94点、南会津郡只見町)

#### ◆高萩歴代領主+マンガで見る高萩四英傑

高萩市教育委員会編 高萩市市長室(〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1 TEL0293-23-7320) 2014年1月 B6 152+93頁 700円

高萩地方を治めた古代から江戸時代までの14名の人物像を紹介した『高萩歴代領主』(2013年1月、B6、198頁)と、初代松岡城主 戸沢政盛ほか高萩三英傑の生涯をマンガで描いた『マンガで見る戸沢政盛公物語』(原康隆画、2013年2月、B6判、51頁)・『マンガで見る高

萩三英傑』(原康隆・黒沢貴子画、2009年、A5判、106頁)とを合本した高萩市市制施行60周年記念出版。

〔高萩歴代領主〕発刊にあたって(草間吉夫・菅波洋平)／発刊に寄せて(戸沢奎三郎)／多珂国造建御狭日命／頼朝の有力御家人 宇佐美左衛門尉祐茂／高萩地方を176年間支配した大塚氏／初代松岡城主 戸沢政盛／第2代水戸藩附家老 中山信正／第3代水戸藩附家老 中山信治／第4代水戸藩附家老 中山信行／第5代水戸藩附家老 中山信威／第6代水戸藩附家老 中山信敏／第10代水戸藩附家老 中山信敬／第11代水戸藩附家老 中山信惜／第12代水戸藩附家老 中山信守／第13代水戸藩附家老 中山信宝／第14代水戸藩附家老 中山信徴〔マンガで見る高萩三英傑〕 戸沢政盛(マンガ 戸沢政盛公物語、戸沢政盛公の略歴、業績とその姿、こらむ 第1回戸沢サミット in 高萩)／中山信吉(マンガ 中山信吉物語、松岡中山氏関係略年表、業績とその姿、中山氏歴代の業績、こらむ 第16代中山晋常)／長久保赤水(マンガ 長久保赤水物語、略歴、業績とその姿、地図以外の業績、こらむ 赤水の人生訓)／松村任三(マンガ 松村任三物語、略歴、業績とその姿、在りし日の松村博士、こらむ 松村博士の長男松村瞭)

#### ◆佐倉市史 考古編(本編・資料編)

佐倉市史編さん委員会・佐倉市編・刊(〒285-0038 千葉県佐倉市弥勒町78 佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当 TEL043-486-3478) 2014年3月 A4 本編440頁・資料編465頁

1964年から編纂事業が進められている『佐倉市史』の6冊目、考古編として、旧石器時代から中近世までの市域の遺跡・遺物を紹介。〔本編〕巻頭図版・発刊のことば(藤和雄)・凡例／佐倉と考古学(郷土景観と考古学、佐倉における考古学の歩み)／旧石器時代一最

古の狩人(黎明期の研究、旧石器時代の自然環境、狩人のくらし、道具の製作と使い方、旧石器時代から縄文時代へ)／縄文時代一土器を使う生活のはじまり(土器と弓矢の使用 草創期～早期中葉、定住生活の第一歩 早期後葉～中期前葉、食生活の多様化 中期中葉～後葉、華ひらく定住生活 後期～晩期)／弥生時代一農耕文化のはじまりと集落の様子(弥生文化の胎動と佐倉、弥生時代の集落景観、変動する社会)／古墳時代一前方後円墳の時代(弥生時代から古墳時代へ、集落の拡大と群集墳の形成、古墳の週末から律令期の様相)／奈良・平安時代一文字世界の幕開け(下総国と印旛郡の成立、人々のくらしと集落の展開、印旛地域の信仰と風習、遺構・遺物からみた佐倉地域の特色)／中～近世一北総の中心となった佐倉(莊園に根付いた武士たち、中世佐倉の宗教と印旛郡、佐倉千葉氏と中世郷村、佐倉城の時代、近代佐倉の始まり)／参考文献／索引／執筆者一覧／奥付〔資料編〕凡例／旧石器時代の解説、縄文時代の解説、弥生時代の解説、古墳時代の解説、奈良・平安時代の解説、中・近世の解説／主な遺跡 佐倉地区(遺跡分布図) 15遺跡、白井地区(遺跡分布図) 20遺跡、志津地区(遺跡分布図) 12遺跡、根郷地区(遺跡分布図) 16遺跡、和田地区(遺跡分布図) 7遺跡、弥富地区(遺跡分布図) 8遺跡／分析と集成について／付録 DVD 資料集成、分析報告

#### ◆品川地中探検記

品川区立品川歴史館編・刊(〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1 TEL03-3777-4060) 2014年2月 A4 28頁

平成26年2月8日～3月23日開催の企画展「品川地中探検記」をもとに、大森貝塚をはじめとする品川区内で発掘調査された主な遺跡の遺構や遺物を紹介する。ごあいさつ(佐藤成順)／プロローグ 地形と遺跡／最古の住人

は？一池田山北遺跡・居木橋遺跡／縄文前期の2つの集落一池田山北遺跡・居木橋遺跡／日本考古学史上最も有名な縄文時代の貝塚一大森貝塚／唯一の弥生時代の大規模集落一池田山北遺跡／品川にも古墳があった一仙台坂遺跡・梶原氏館跡・大井金子山横穴藩群／古代大井の様相一大井鹿島遺跡／考古遺物でみる中世の品川一御殿山石塔・梶原氏館跡／発掘された大名屋敷一仙台坂遺跡・池田山北遺跡など／エピソード 近現代の遺跡一仙台坂遺跡／コラム 蛮勇発掘、品川在住の文人一江見水蔭、大森貝塚遺跡庭園に行こう！

#### ◆新八王子市史 資料編6 近現代2

八王子市史編修委員会編 八王子市(〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3 八王子市総合政策部市史編さん室 TEL042-666-1511) 2014年3月 A5 975頁

昭和33年から43年にかけて編纂・刊行された『八王子市史』(上下・附巻)の後をうけて、市制施行100周年を記念して平成19年度から始まった『新八王子市史』(全14冊)の第3回。「資料編5 近現代1」(2012年3月)につづき、明治2年(1869)から平成15年(2003)までの市民や機関が所蔵する私文書を中心に644点を収録する。

口絵／刊行にあたって／監修のことば／凡例／総目次／細目次／総説

明治前期の八王子(解説、「維新」と「御一新」、文明化と地域、国家と地域社会)／明治中後期の八王子(解説、郡と町村の政治・行政、商業都市八王子と織物業、社会・生活と軍事、交通網の広がり)と都市インフラの整備)／大正期の八王子(解説、市制施行と郡村、八王子織物の工業化と村々、青年・婦人の活動と諸団体の結成、文化・娯楽と社会の状況)／昭和戦前期の八王子(解説、普通選挙の実施と無産運動、恐慌下の八王子と村々、大王子計画と武蔵陵墓地多摩陵、青年・婦人の活

動と市民・村民生活の諸相)／戦時体制下の八王子(解説、戦時行政と翼賛体制、国家総動員と戦後の生活、学校教育の再編、戦時下の各種団体と文化運動、出征・空襲・慰霊)／戦後復興期の八王子(解説、敗戦前後の景観、戦後改革と地域社会、新しい教育の芽生え、地域文化運動の高まり、経済復興と生活基盤の整備)／現代の八王子(解説、拡大する市域、市政の動向、産業経済の変容、地域社会の変容、教育の動向、社会・文化運動)口絵・写真典典一覧／あとがき／資料提供者及び協力者・協力機関一覧／市史編集専門部会近現代部会／市史編さん関係者一覧

◆人と樹木の民俗世界—呪用と実用への視角野本寛一・三国信一著 大河書房(〒102-0073 東京都千代田区九段北1-7-8 関山ビル3F TEL03-3288-3354)2014年1月 A5 289頁 4600円

樹木をめぐる多様な民俗について、呪用と実用の側面からアプローチする。先駆樹木の呪用民俗(三国信一)アカメガシワー呪利用の多面性、ヌルデ／樹木の实用民俗(野本寛一)桐一ヤマとサトを結ぶ、針葉樹—奥山針葉樹の恵み、桶と曲物／初出書誌一覧

◆歴史のなかの久高島一家・門中と祭祀世界 歴史民俗叢書

赤嶺政信著 慶友社(〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-48 TEL03-3261-1361)2014年2月 A5 454頁 9500円

本研究の課題と方法(本研究の課題と方法、歴史のなかの久高島)／久高島の家・門中と祭祀世界(久高島の家と地割制、久高島の祖霊観念・祖先祭祀と家の態様、久高島の門中の実態とその特徴、久高島の祭祀組織の特徴、久高島の村落の祭祀世界と門中)／久高島の祭祀と国家制度(イザイホウと国家制度、八月行事と国家制度、ナーリキ(名付け)と国家制度、門中化現象に視る久高島の社会史)／

本研究のまとめと展望／参考文献／附録「久高島江為御祭礼被遊 行幸候時 御規式之事」の史料紹介

◆厚木市史 民俗編(1) 生活記録集

厚木市教育委員会社会教育部文化財保護課文化財保護係編 厚木市(〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17 TEL046-225-2060)2014年3月 A5 774頁

『厚木市史』の第12回配本として、厚木市域における延宝4年(1676)から昭和50年(1975)までの庶民生活を記録した資料219点を収録する。口絵／序(小林常良)／民俗編(1)生活記録集の刊行によせて(神崎彰利)／凡例／厚木市域近世三十六か村及び明治二十二年～昭和三十年厚木市合併前一町七村一覧図／生業 農業記録、養蚕記録、その他の農業記録、電祭・風祭、農間渡世など、物産書上／家と普請 主屋普請、炭屋普請、井戸端、寺院普請、小堂普請、神社普請、家作売渡／人の一生 産育、婚姻、葬送、病気見舞など／信仰・伝承 寺社信仰(秋葉信仰、伊勢信仰、大山信仰、御嶽山信仰、身延山信仰、大雄山一心講)、民間信仰(稲荷講、庚申講、二十六夜講、徳本念仏講、念仏講、その他の信仰)、祭礼、道中記、俗信／芸能・娯楽 神楽、芝居、浄瑠璃など、相撲、競馬／参考文献／索引(編年別索引、語句註索引)

◆寒川町史調査報告書19 浜降祭日記(4)

寒川町史編集委員会編 寒川町(〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川町文書館 TEL0467-75-3691)2014年3月 B5

160頁 調査報告書第12集(2002年3月)、第14集(2004年3月)、第17集(2010年3月)に収録された明治14年から昭和14年までの浜降祭の記録に続き、「自昭和十五年至昭和十七年 浜降祭書類」「自昭和十八年 浜降祭書類」(寒川神社文書)の昭和15年から20年まで、戦時中の浜

降祭の日記や回議文書等を翻刻する。はじめに(木村俊雄)／解説 戦時中の浜降祭について(室室文雄)／昭和十五年 浜降祭日記／昭和十六年 浜降祭日記／昭和十七年 浜降祭日記／昭和十八年 浜降祭日記／昭和十九年 浜降祭日記／昭和二十年 浜降祭日記

◆大坂町奉行着任時間関係史料

大阪市史史料79 大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333)2014年1月 A5 137頁 1800円

東京大学法学部法制史資料室および埼玉県小川町立図書館戸田文庫に所蔵されている大坂町奉行の着任にあたっての公文書や心得書など、関係史料5点を翻刻・収録する。大坂町奉行在府中諸進達其外一件留、大坂町奉行着任取計向心得物／大坂町奉行引越旅中之

部、大坂御役所初心得方、大坂御役所御取次心得書／解説(松本望・内海寧子)

◆葬墓民俗用語集 歴史考古学叢書1 奥村隆彦著 アットワークス(〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-3 天満橋千代田ビル1号館 TEL06-6920-8626)2014年2月 A5 161頁 1600円

著者の永年にわたる葬と墓についての調査・採集・研究の成果をまとめた私家版『葬墓民俗用語集集成』(平成5年版)をもとに、193語にわたる民俗用語を収録した日本人の死生観に迫る用語集成。葬墓民俗用語集／死と死後の民俗用語(阿弥陀仏号、姥捨伝説、梢付塔婆、逆修・預修、十三仏信仰、曳覆曼荼羅、臨死体験)／解説 グレンツゲビート(境界領域)—奥村隆彦氏の学問的世界(小林義孝)

◆後記

10月27日の「朝日新聞」は第二社会面の半面を使って東日本大震災4年目を特集し、NPO法人「宮城歴史資料保全ネットワーク」理事長平川新氏からの聞き書き「地域史知り 前向き力に / 救出史料をまとめて刊行」、津波で浸水した福島県南相馬市萱浜地区で大根や芋がらなどを煮込んだ郷土料理「べんけい」を伝える「故郷の料理 絶やさぬ決意」、岩手県沿岸部で企業や経済団体などを対象に実施している「被災地研修ツアー」を紹介する「ひと・まち掲示板」を掲載。さらに同じ日の夕刊では、こちらも半面で、東京電力福島第一原発事故で被災した文化財を展示・保管する取組みをレポートした「福島原発20年以内から救出 被災文化財 復興の光に / 防護服着て2900箱運ぶ / 県立博物館でも展示」と、福島県内の除染で出た汚染土などを保管する大熊町、双葉町の中間貯蔵施設候補地にある埋蔵文化財保護運動を報じ「中間貯蔵施設候補地に60の埋蔵文化財 祖先の宝『残してほしい』 / 一里塚や役所跡 / 新遺跡発見の可能性 工事の情報は公開を / せめて記録には」を掲載した。いづれも深く考えさせられる記事であった。平川氏は、震災を経て地域との向かい合い方が変わり、史料救出の成果をどうやって地域に還元するか考えるようになったと述べる。企業が被災地を社員研修の場とするというのもいい話だ。また、前号の本欄で富岡町などを巡視したことを書いたが、放置されたままの立派な図書館施設を見てきただけに、同町、双葉、大熊三町の歴史民俗博物館から、県内外の博物館や大学関係者が、防護服を着て放射線を計りながら46日間かけて2900箱をも運び出したことには胸が熱くなった。こうした活動と史料が防災・減災と共に新たな地域づくりに活かされることを願って止まない。(飯澤)

地方史情報 122 2014年(平成26年)12月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>  
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137  
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757